

令和5年度

男女共同参画に関する
意識調査報告書

令和6年1月

阿賀野市

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 市民意識調査	
Ⅰ 回答者の属性	2
Ⅱ 男女の地域・家庭に対する考え方について	
問9 男女の地位の平等感について	5
問10 男女の役割分担意識について	13
問11 男性、女性の望ましい生き方について	20
問12 少子化の理由	23
問13 安心して子どもを産み育てるために必要なこと	24
Ⅲ 男女の職業生活に対する考え方について	
問14 就業状況	25
問15 職場の待遇	26
問16 就労経験	30
問17 退職理由	31
問18 現代社会の労働環境	32
問19 男性にとっての働きやすい環境づくり	35
問20 女性にとっての働きやすい環境づくり	36
Ⅳ 男女の人権について	
問21 セクシャルハラスメントの被害経験	37
問22 ドメスティック・バイオレンスの被害経験	38
問23 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談状況	39
問24 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談先	40
問25 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスを相談し なかった、できなかった理由	41
Ⅴ 男女共同参画社会に関する法制度等について	
問26 男女共同参画社会に関する法制度等の認知度	42
Ⅵ 阿賀野市での男女共同参画の推進について	
問27 男女共同参画の推進で市に期待すること	44
☆自由意見	46

第3章 児童・生徒意識調査

I 回答者の属性	5 1
II 性別役割意識に対する大人の影響について	
問2 「男だから、女だから」と言われた経験	5 2
問3 「男だから、女だから」と言われる内容	5 4
問4 「男だから、女だから」と言われる相手	5 6
問5 「男だから、女だから」と言われた影響	5 8
III 家庭における男女の役割分担について	
問6 家庭における男女の役割分担	6 0
IV 男女の平等感について	
問7 男性に生まれたことについて	6 5
問8 女性に生まれたことについて	6 7
V 将来について	
問9 将来の職業	6 9
問10 将来の人物像	7 3

第4章 職員意識調査

I 回答者の属性	7 5
II 男女の職業生活に対する考え方について	
問4 男性の育児休業・介護休暇の取得について	7 6
問5 育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向	7 9
問6 育児休業・介護休暇制度を利用する上で支障となること	8 2
問7 職場の待遇	8 3
問8 職場の待遇で実感すること	8 4
問9 職場の男女共同参画推進への取り組み	8 5
III 男女共同参画社会に関する法制度等について	
問10 男女共同参画社会に関する法制度等の認知度	8 6
問11 新潟県ハッピー・パートナー企業登録の周知度	8 8
IV 阿賀野市での男女共同参画の推進について	
問12 男女共同参画の推進で市に期待すること	8 9
☆自由意見	9 1

第5章 単純集計表

1. 市民意識調査	9 4
2. 児童・生徒意識調査	1 0 7
3. 職員意識調査	1 2 0

〔利用にあたって〕

- 1 調査結果の数値は原則として回答率(%)で表示し、%の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n＝と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- 2 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、各回答率の足し上げは100.0%を超える場合がある。
- 3 「無回答」とは、回答がなかったもの及び回答の判断がつかなかったものである。

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

男女共同参画社会に関する意識を把握し、阿賀野市男女共同参画プランの見直しや、今後の取り組みについての基礎資料とすることを目的に実施する。

2 調査の種類

調査名	調査対象
市民意識調査	市内に居住する満 18 歳以上の男女 3,000 人
児童・生徒意識調査	市内の小中学校に通う小学 5 年生、中学 2 年生
職員意識調査	阿賀野市役所職員（消防を含む）

3 調査方法

調査名	調査方法
市民意識調査	抽出方法：層化抽出法(比例配分法) 調査方法：WEB 上のフォーマットによる回答
児童・生徒意識調査	調査方法：WEB 上のフォーマットによる回答
職員意識調査	調査方法：庁内システムのアンケート機能による回答

4 回収結果

調査名	標本数 A	有効回収数 B	有効回収率(%) B / A
市民意識調査	3,000	475	15.8%
児童・生徒意識調査 (小学 5 年生)	323	314	97.2%
児童・生徒意識調査 (中学 2 年生)	300	255	85.0%
職員意識調査	462	408	88.3%

5 比較した前回調査

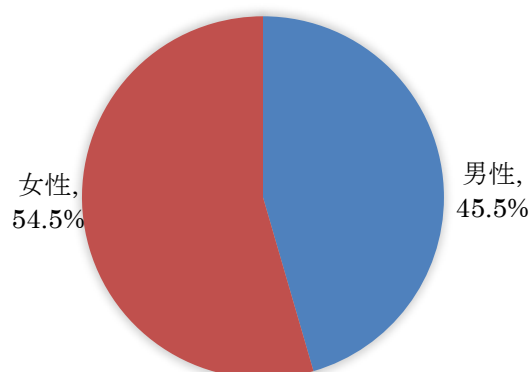
調査名	比較した調査名
市民意識調査	男女共同参画に関する市民意識調査（平成 30 年度）
児童・生徒意識調査	男女共同参画に関する児童・生徒意識調査（平成 30 年度）
職員意識調査	男女共同参画に関する職員意識調査（平成 30 年度）

第2章 市民意識調査

I 回答者の属性

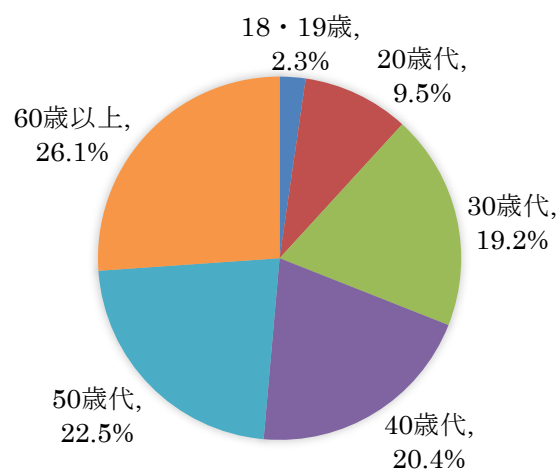
(1) 性別

	人数	割合
男性	216 人	45.5%
女性	259 人	54.5%
全体	475 人	100.0%



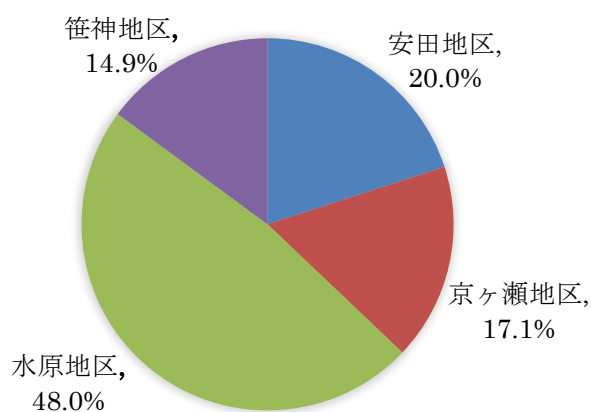
(2) 年齢別

	人数	割合
18・19 歳	11 人	2.3%
20 歳代	45 人	9.5%
30 歳代	91 人	19.2%
40 歳代	97 人	20.4%
50 歳代	107 人	22.5%
60 歳以上	124 人	26.1%
全体	475 人	100.0%



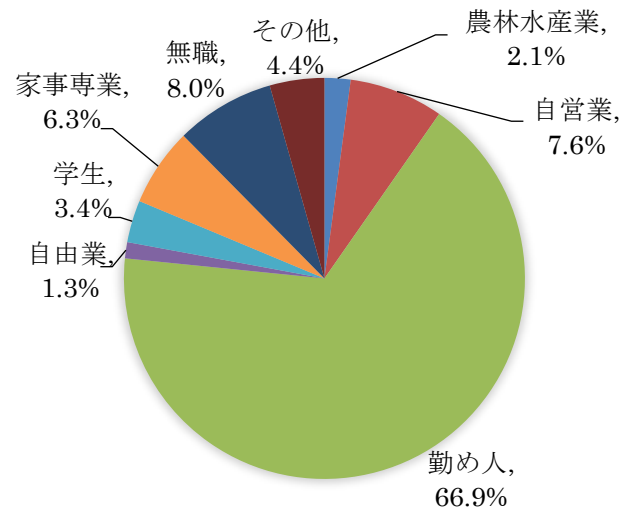
(3) お住まいの地域

	人数	割合
安田地区	95 人	20.0%
京ヶ瀬地区	81 人	17.1%
水原地区	228 人	48.0%
笹神地区	71 人	14.9%
全体	475 人	100.0%



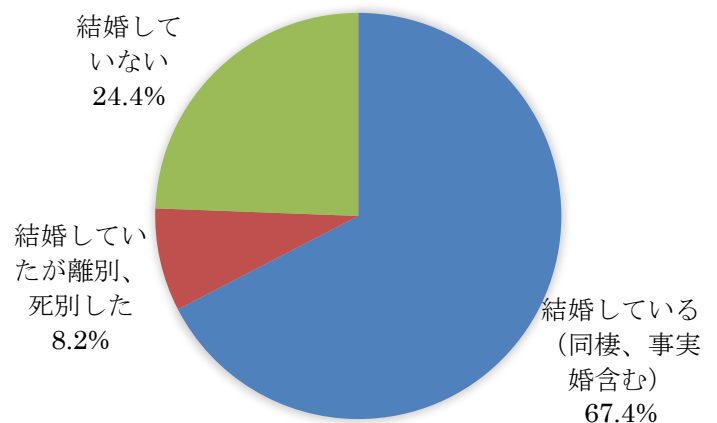
(4) 職業

	人数	割合
農林水産業	10 人	2.1%
自営業	36 人	7.6%
勤め人	318 人	66.9%
自由業	6 人	1.3%
学生	16 人	3.4%
家事専業	30 人	6.3%
無職	38 人	8.0%
その他	21 人	4.4%
全体	475 人	100.0%



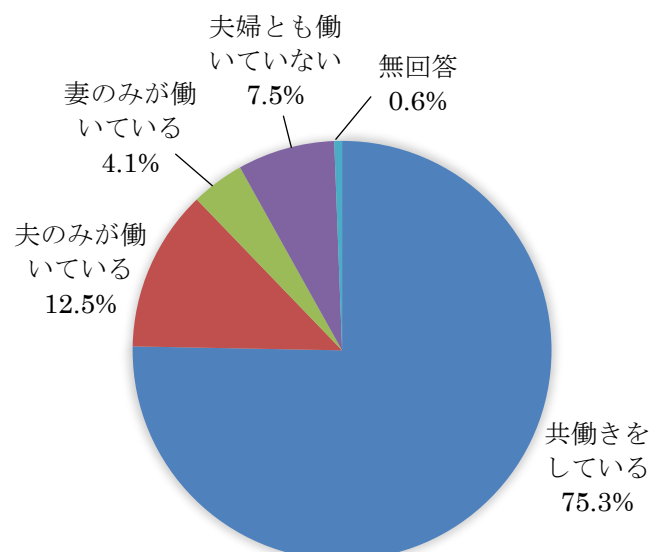
(5) 結婚の有無

	人数	割合
結婚している (同棲、事実婚含む)	320 人	67.4%
結婚していたが 離別、死別した	39 人	8.2%
結婚していない	116 人	24.4%
全体	475 人	100.0%



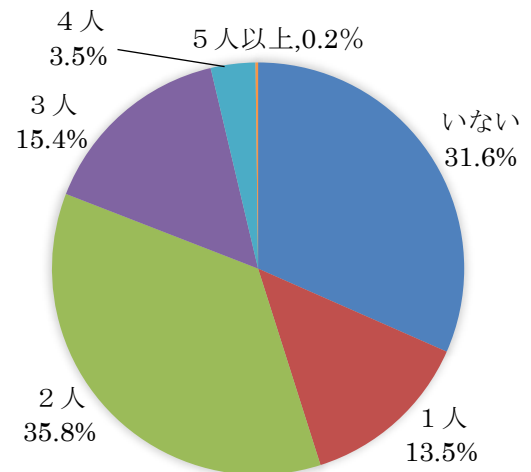
(6) 共働きの有無

	人数	割合
共働きをしている	241 人	75.3%
夫のみが働いている	40 人	12.5%
妻のみが働いている	13 人	4.1%
夫婦とも働いていない	24 人	7.5%
無回答	2 人	0.6%
全体	320 人	100.0%



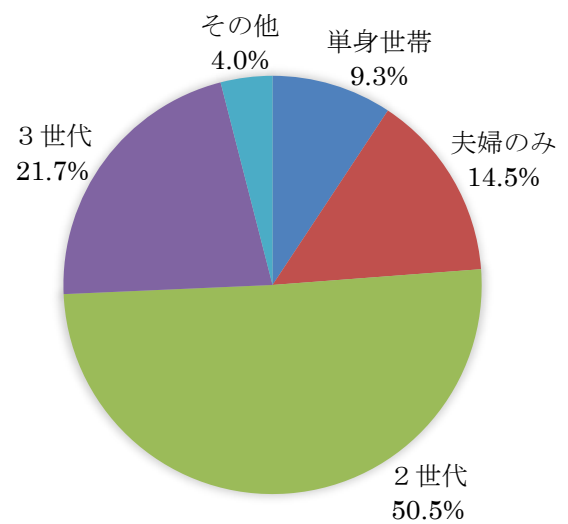
(7) 子どもの人数

	人数	割合
いない	150 人	31.6%
1 人	64 人	13.5%
2 人	170 人	35.8%
3 人	73 人	15.4%
4 人	17 人	3.5%
5 人以上	1 人	0.2%
全体	475 人	100.0%



(8) 家族構成

	人数	割合
単身世帯	44 人	9.3%
夫婦のみ	69 人	14.5%
2 世代	240 人	50.5%
3 世代	103 人	21.7%
その他	19 人	4.0%
全体	475 人	100.0%



Ⅱ 男女の地域・家庭に対する考え方について

問9 男女の地位の平等感について

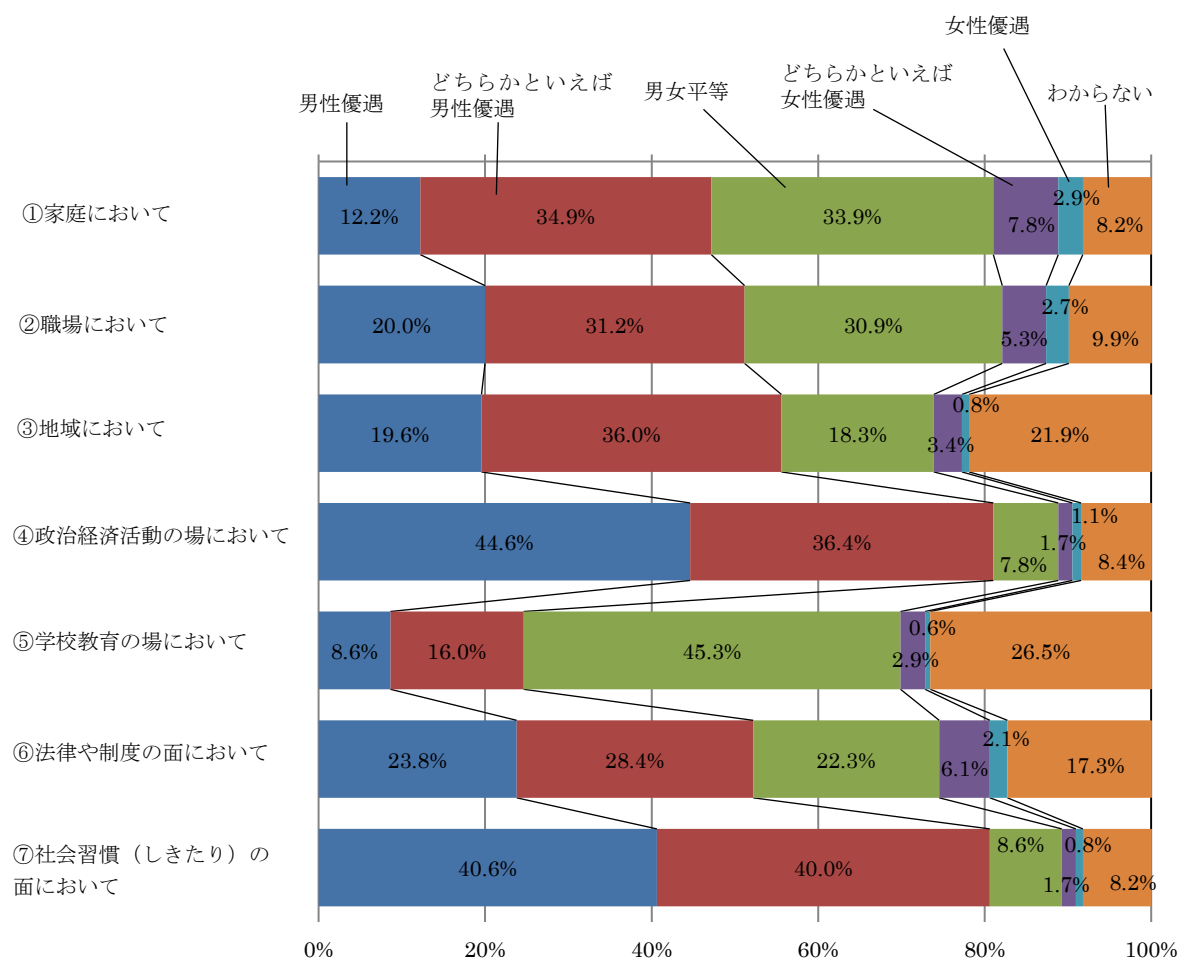
あなたは次のような項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれについて（ア）～（カ）の中から1つずつ選んでください。

【全 体】

男女の地位の平等感について、「男性優遇」は「政治経済活動の場において」が44.6%と最も高く、次いで「社会習慣（しきたり）の面において」（40.6%）、「法律や制度の面において」（23.8%）の順となっている。また、「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」を合わせた割合（以下「男性優遇（計）」と記す）では、「政治経済活動の場において」が81.0%と最も高く、次いで「社会習慣（しきたり）の面において」（80.6%）、「地域において」（55.6%）となっている。

「男女平等」は、「学校教育の場において」が最も高く45.3%となっている。

「女性優遇」「どちらかといえば女性優遇」を合わせた割合（以下「女性優遇（計）」と記す）で最も高いのは「家庭において」で10.7%となっている。



問9 男女の地位の平等感について

① 家庭において

【全 体】

「どちらかといえば男性優遇」が34.9%と最も高く、次いで「男女平等」が33.9%となっている。

【性 別】

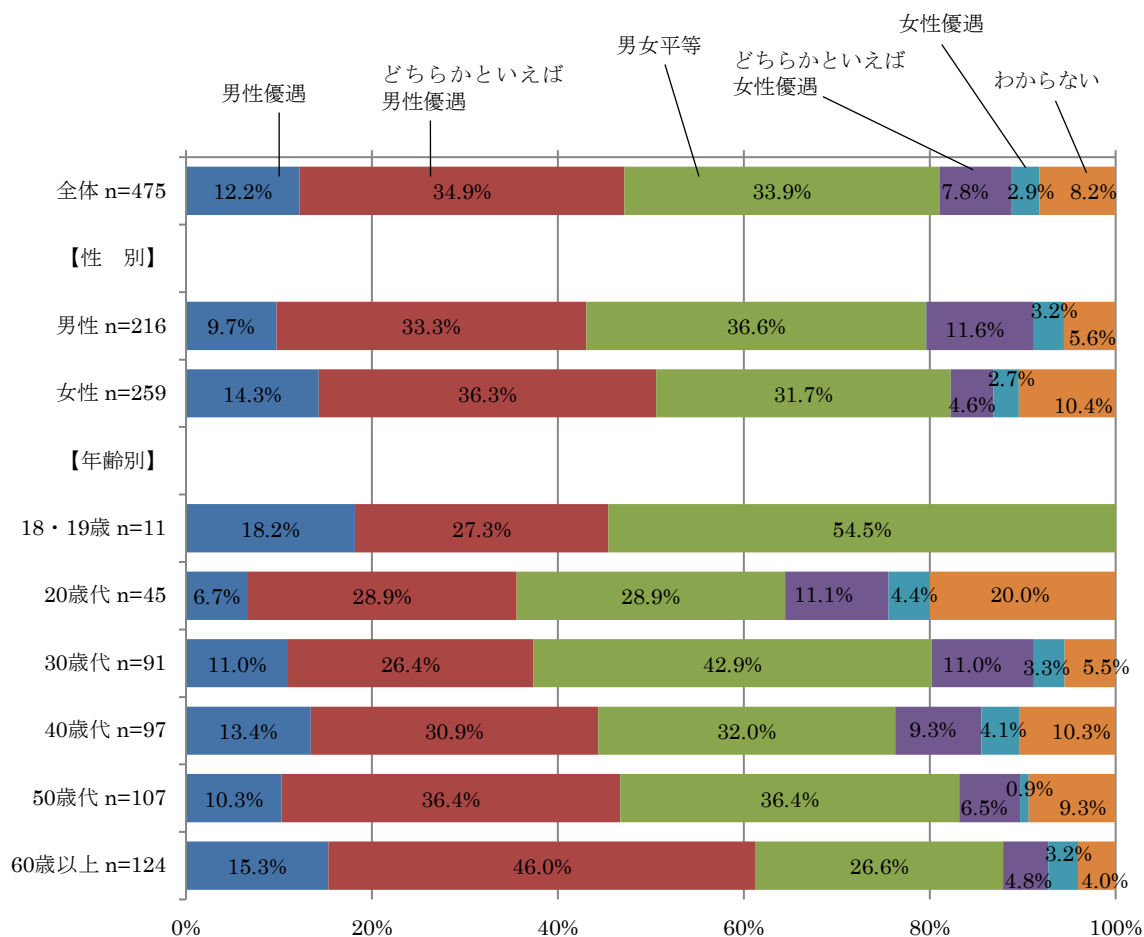
男性は「男女平等」が4.9ポイント、「女性優遇（計）」が7.5ポイント女性より高く
なっており、女性は「男性優遇（計）」が男性より7.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

「男性優遇（計）」は年齢が高くなるに従って高くなる傾向があり、60歳以上が61.3%と最も高くなっている。また、「女性優遇（計）」で最も高いのは20歳代で15.5%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて全体に大きな変化は見られないが、30歳代、50歳代、60歳以上では「男女平等」が増加している。



問9 男女の地位の平等感について

② 職場において

【全 体】

「どちらかといえば男性優遇」が31.2%と最も高く、次いで「男女平等」が30.9%となっている。

【性 別】

男性は「男女平等」が女性より2.7ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より5.4ポイント高くなっている。

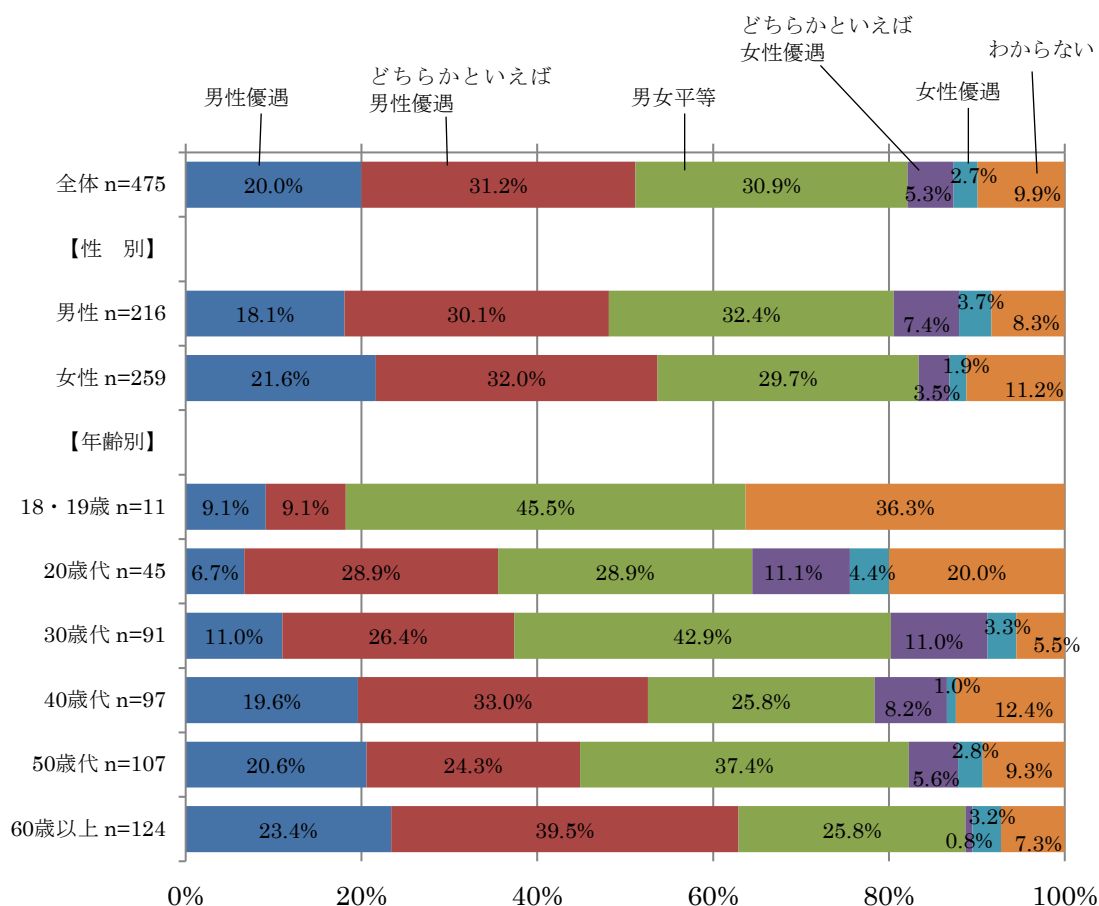
【年齢別】

18・19歳代、20歳代、30歳代は「男女平等」が最も高くなっている。

「女性優遇(計)」が最も高いのは20歳代で15.5%となっており、最も低い60歳以上の4.0%と11.5ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が4.3ポイント増加し、「女性優遇(計)」が1.2ポイント増加している。また、「男女平等」は前回とほぼ同率である。



問9 男女の地位の平等感について

③ 地域において

【全 体】

「どちらかといえば男性優遇」が36.0%と最も高く、次いで「男性優遇」が19.6%となっている。

【性 別】

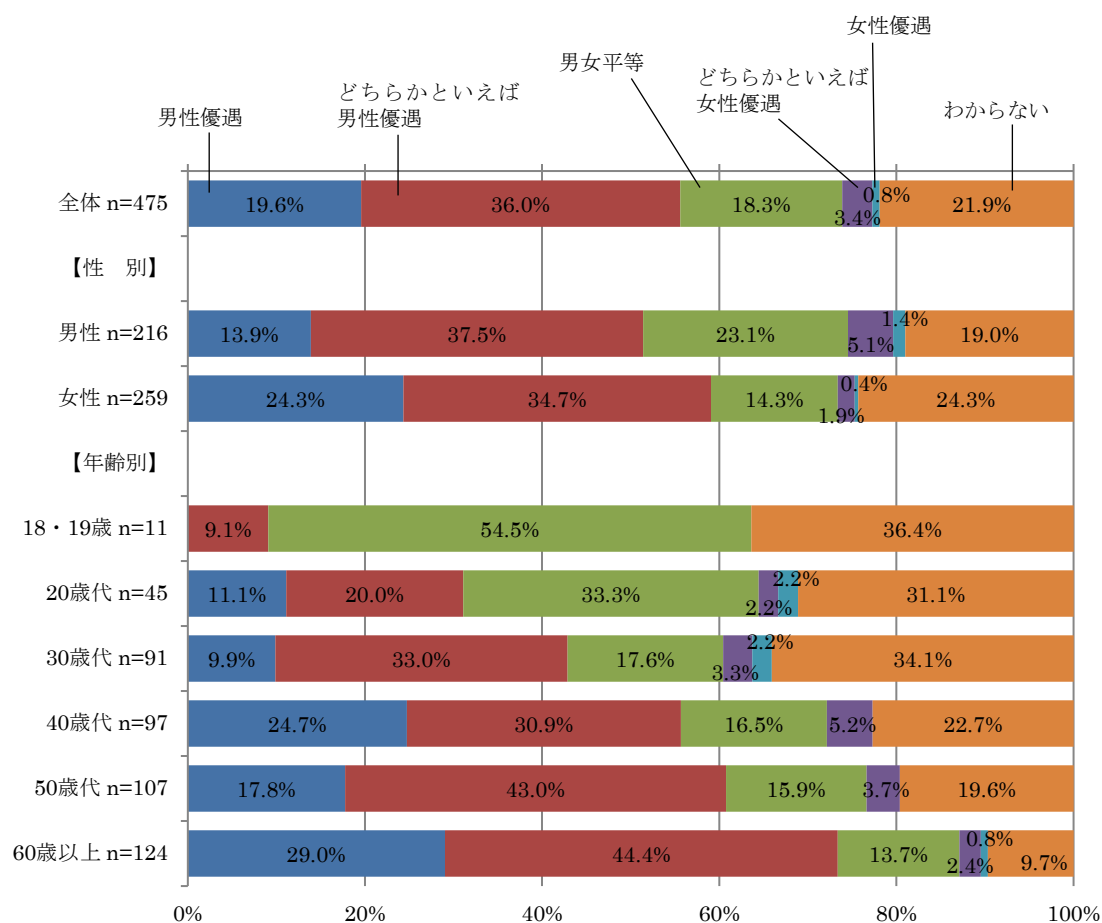
男性は「男女平等」が女性より8.8ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より7.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

「男女平等」は年齢が高くなるに従って低くなっており、これに対して「男性優遇(計)」は、年齢が高くなるに従って高くなっている。中でも「男性優遇」が最も高い60歳以上(29.0%)と最も低い30歳代(9.9%)では19.1ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が3.0ポイント増加した。また、「男女平等」が7.7ポイント減少している。



問9 男女の地位の平等感について

④ 政治経済活動の場において

【全 体】

「男性優遇」が44.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優遇」が36.4%となっている。

【性 別】

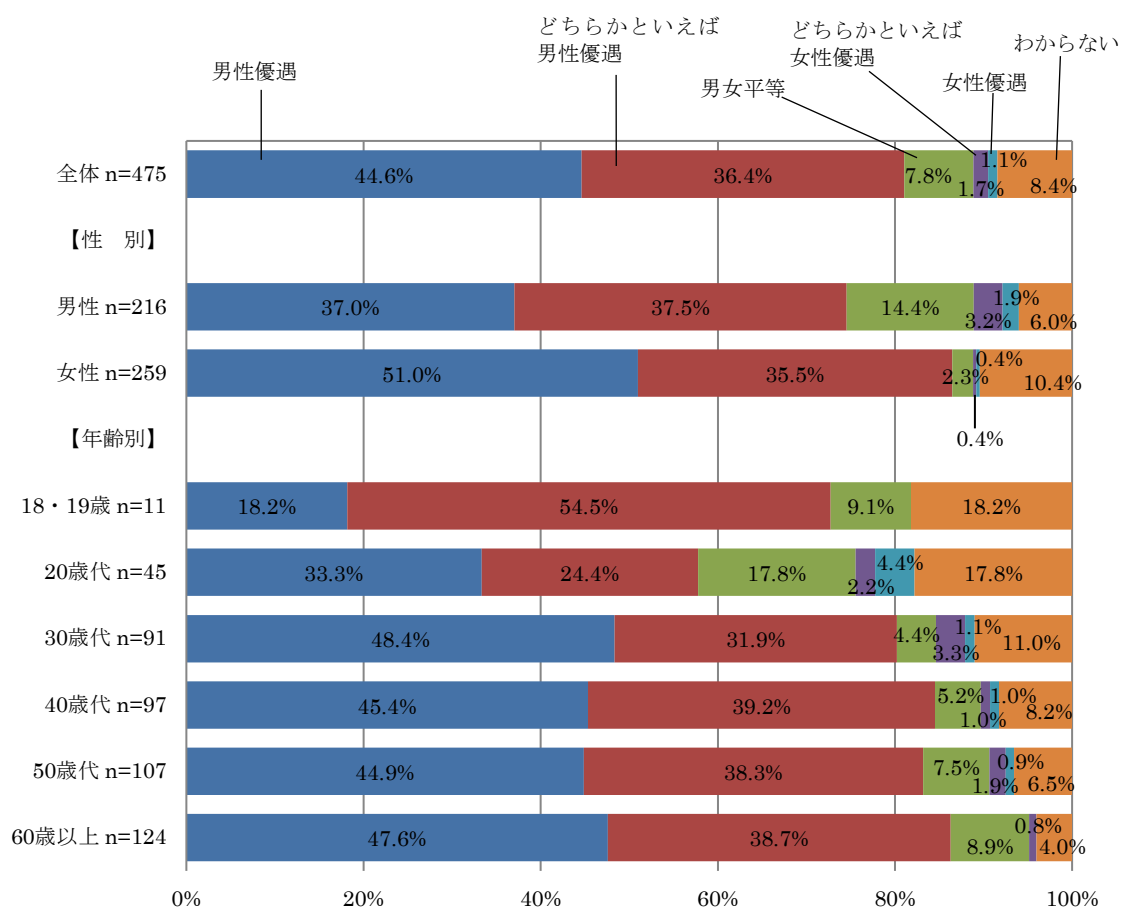
男性は「男女平等」と答えた割合が女性より12.1ポイント高くなっており、これに対して女性は「男性優遇(計)」が男性より12.0ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男性優遇(計)」が5割を超えており、60歳以上が最も高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が14.5ポイント増加し、「女性優遇(計)」が1.3ポイント増加している。また、「男女平等」が8.9ポイント減少している。



問9 男女の地位の平等感について

⑤ 学校教育の場において

【全 体】

「男女平等」が45.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優遇」が16.0%となっている。

【性 別】

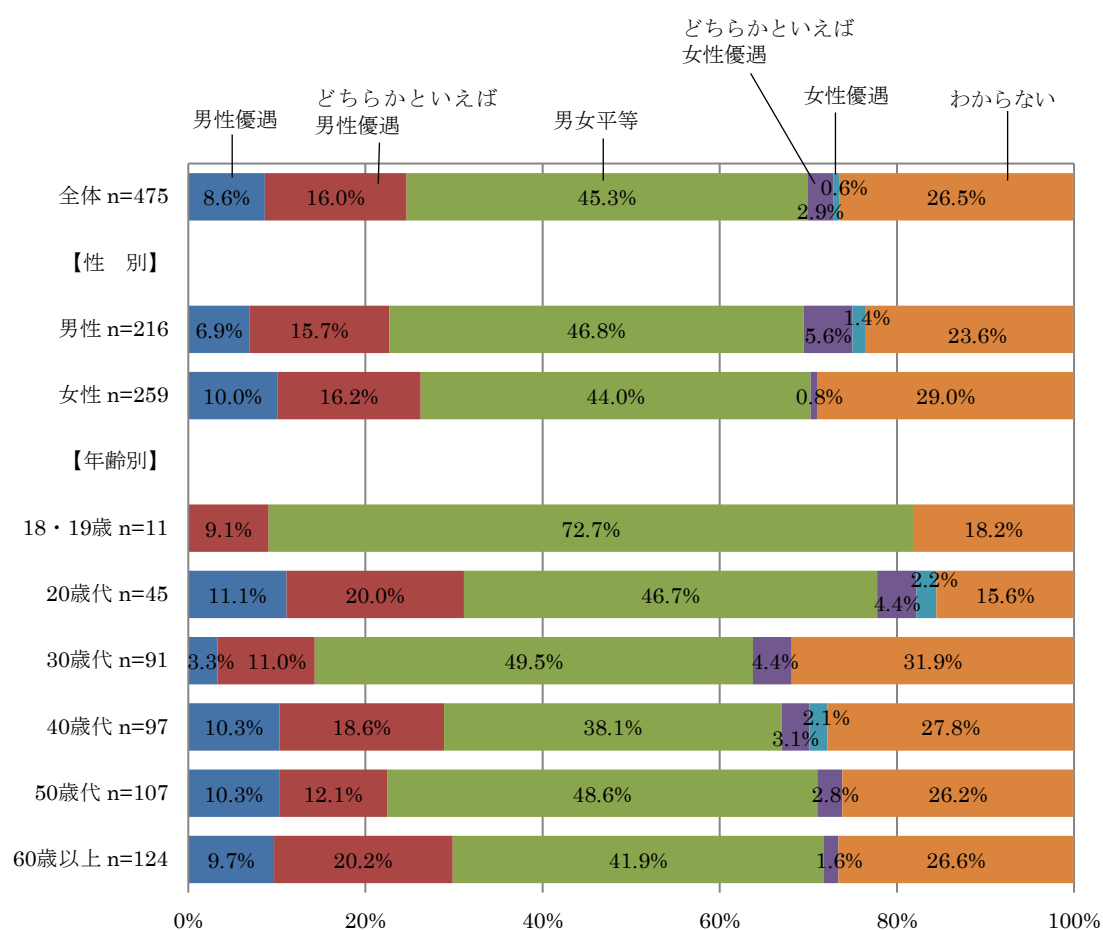
男性は「男女平等」が女性より2.8ポイント高くなっており、これに対して女性は「男性優遇(計)」が男性より3.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男女平等」と答えた割合が高いが、40歳代は38.1%と最も低くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が4.0ポイント増加、「女性優遇(計)」が1.1ポイント減少しており、「男女平等」が5.5ポイント減少している。



問9 男女の地位の平等感について

⑥ 法律や制度の面において

【全 体】

「どちらかといえば男性優遇」が28.4%と最も高く、次いで「男性優遇」が23.8%となっている。

【性 別】

男性は「男女平等」が16.8ポイント、「女性優遇（計）」が9.6ポイント女性より高くなっており、これに対して女性は「男性優遇（計）」が男性より14.2ポイント高くなっている。

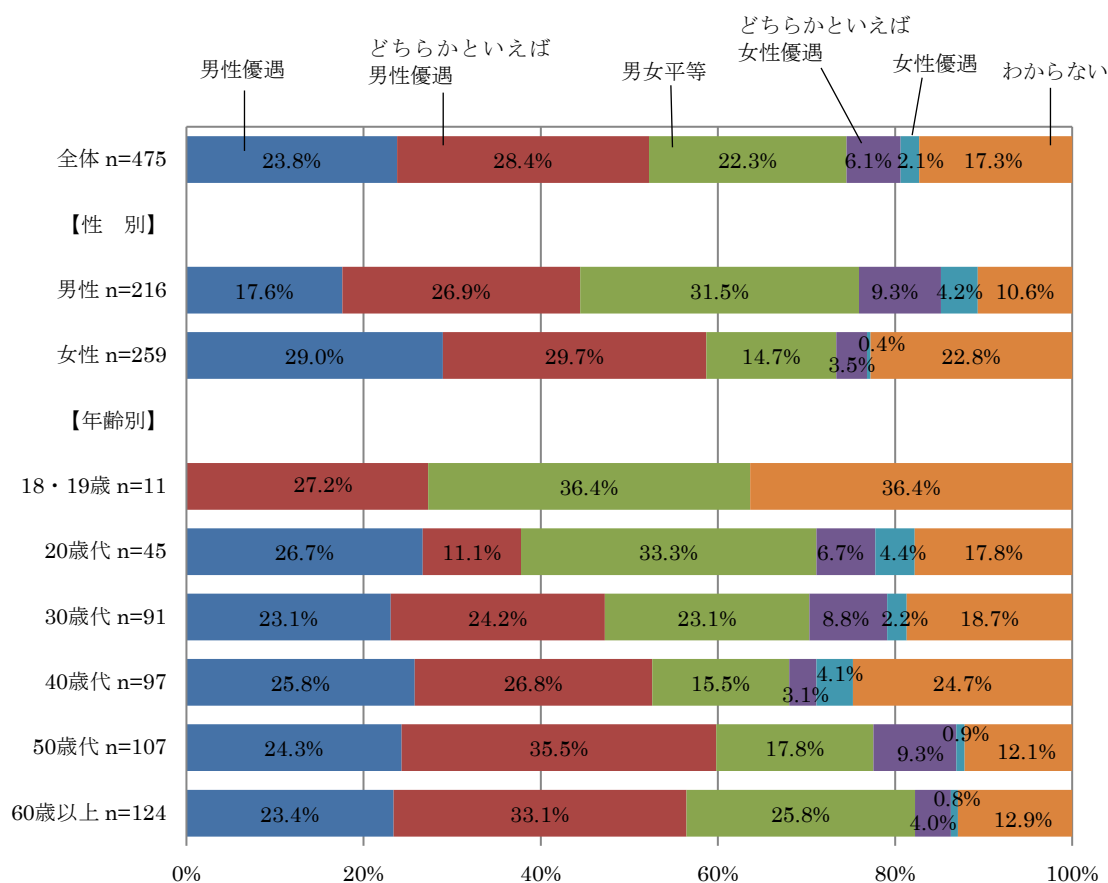
【年齢別】

年齢が高くなるに従って「男性優遇（計）」の割合が高くなる傾向がある。また、40歳代では「男女平等」が最も低くなっている。

「女性優遇（計）」が最も高いのは20歳代で11.1%である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男女平等」が9.7ポイント減少、「男性優遇（計）」が10.6ポイント増加、「女性優遇（計）」が2.0ポイント増加している。



問9 男女の地位の平等感について

⑦ 社会習慣（しきたり）の面において

【全 体】

「男性優遇」が40.6%と最も高く、次いで僅差で「どちらかといえば男性優遇」が40.0%となっている。

【性 別】

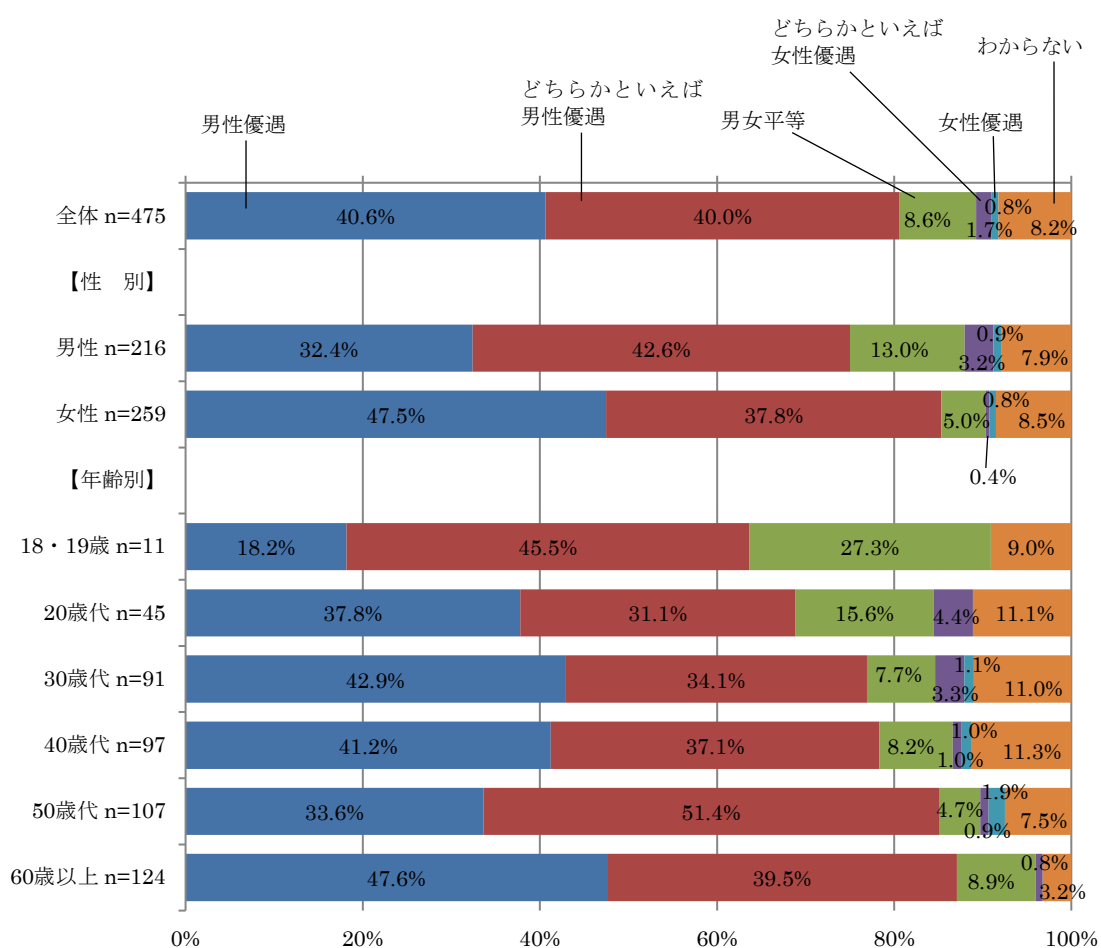
男性は「男女平等」が女性より8.0ポイント高くなっており、これに対して女性は「男性優遇」が男性より15.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男性優遇(計)」の割合が6割を超えており、年齢が高くなるに従って高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が8.2ポイント増加しており、「男女平等」が5.7ポイント減少している。



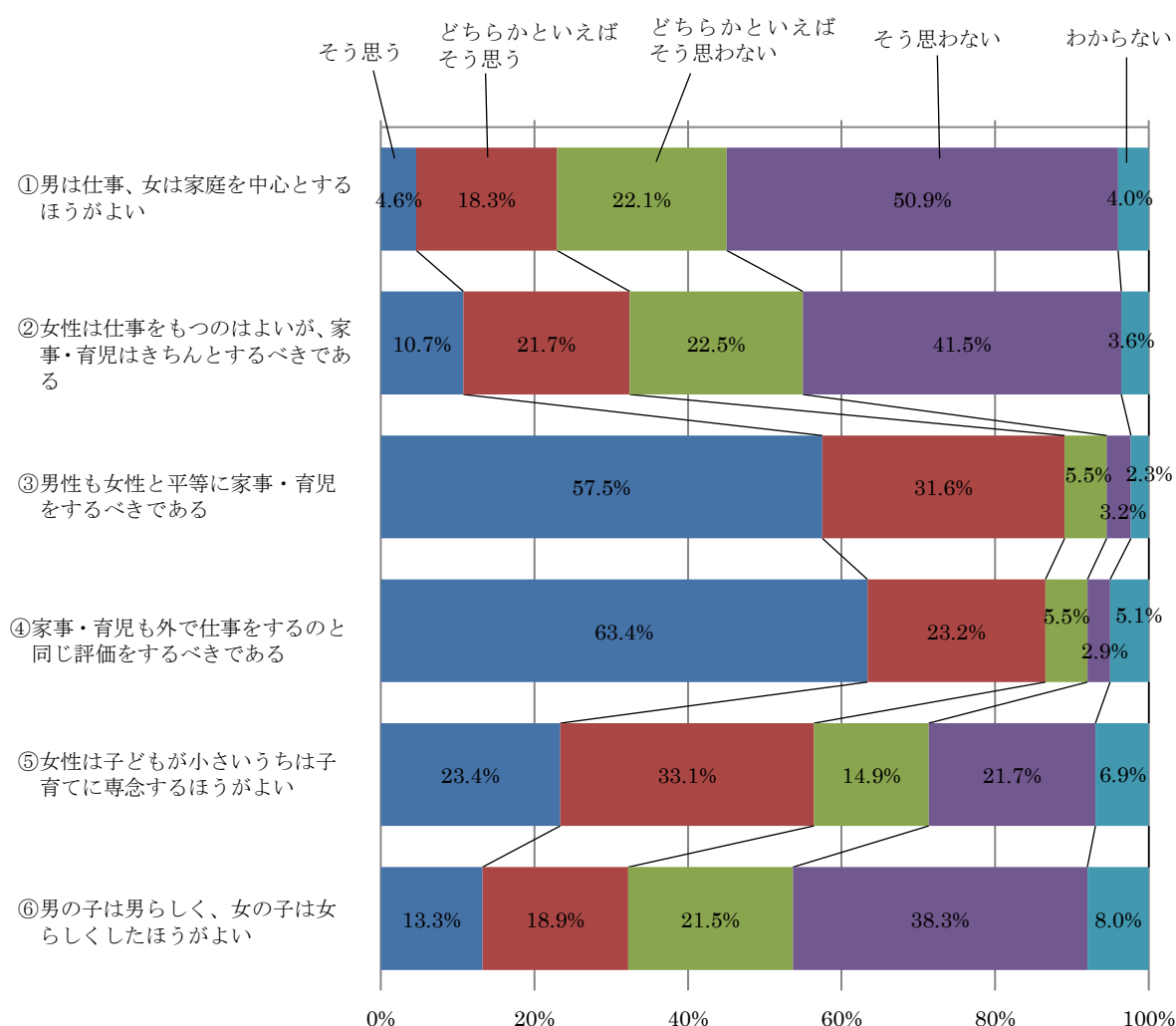
問 10 男女の役割分担意識について

あなたは次の項目についてどのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

【全 体】

男女の役割分担意識に対する考え方について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合（以下「そう思う(計)」と記す）で見ると、「男性も女性と平等に家事・育児をするべきである。」が89.1%と最も高く、次いで「家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである。」(86.6%)、「女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい」(56.5%)の順となっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的な割合（以下「そう思わない(計)」と記す）を見ると、「男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい」(73.0%)、次いで「女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである」(64.0%)が高くなっている。



問10 男女の役割分担意識について

① 男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい

【全 体】

「そう思わない」が 50.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.1%となっている。

【性 別】

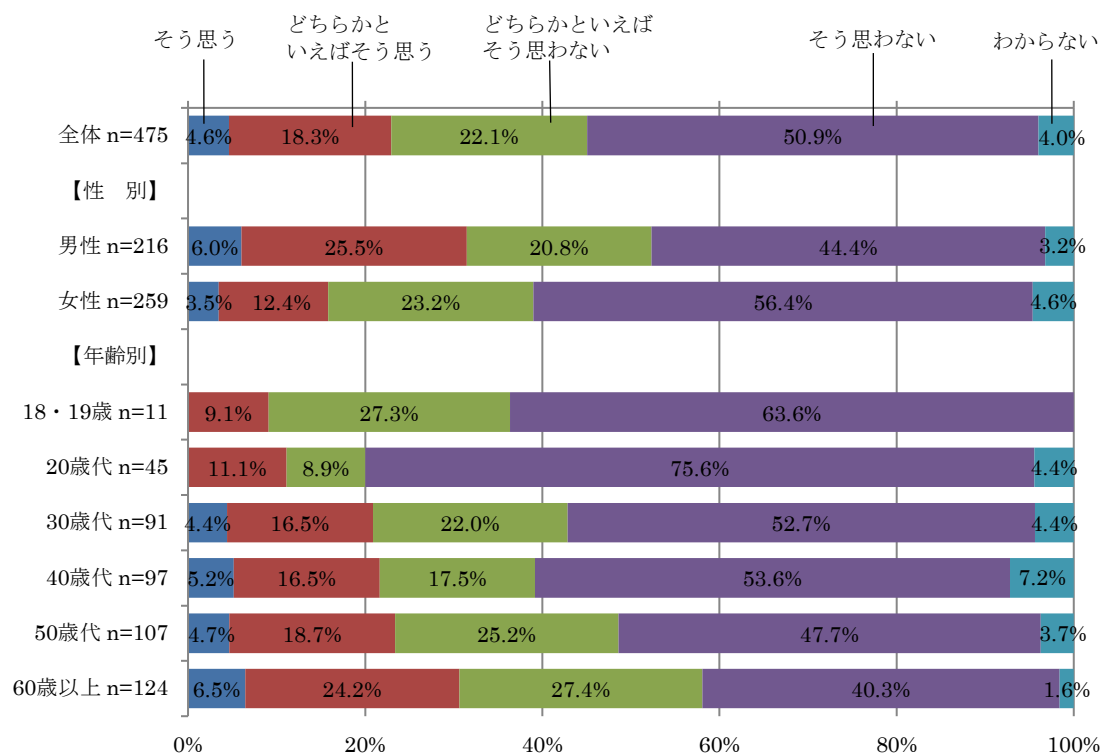
男女ともに「そう思わない(計)」の方が「そう思う(計)」より高くなっている。
「そう思う(計)」と答えた男性の割合は、女性より 15.6 ポイント高くなっている。

【年齢別】

すべての年代で、「そう思わない(計)」の方が「そう思う(計)」より高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「そう思う(計)」が 12.1 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 12.2 ポイント増加している。



問 10 男女の役割分担意識について

② 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである

【全 体】

「そう思わない」が 41.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.5%となっている。

【性 別】

男性は「そう思う(計)」が女性より 14.4 ポイント高くなっている。

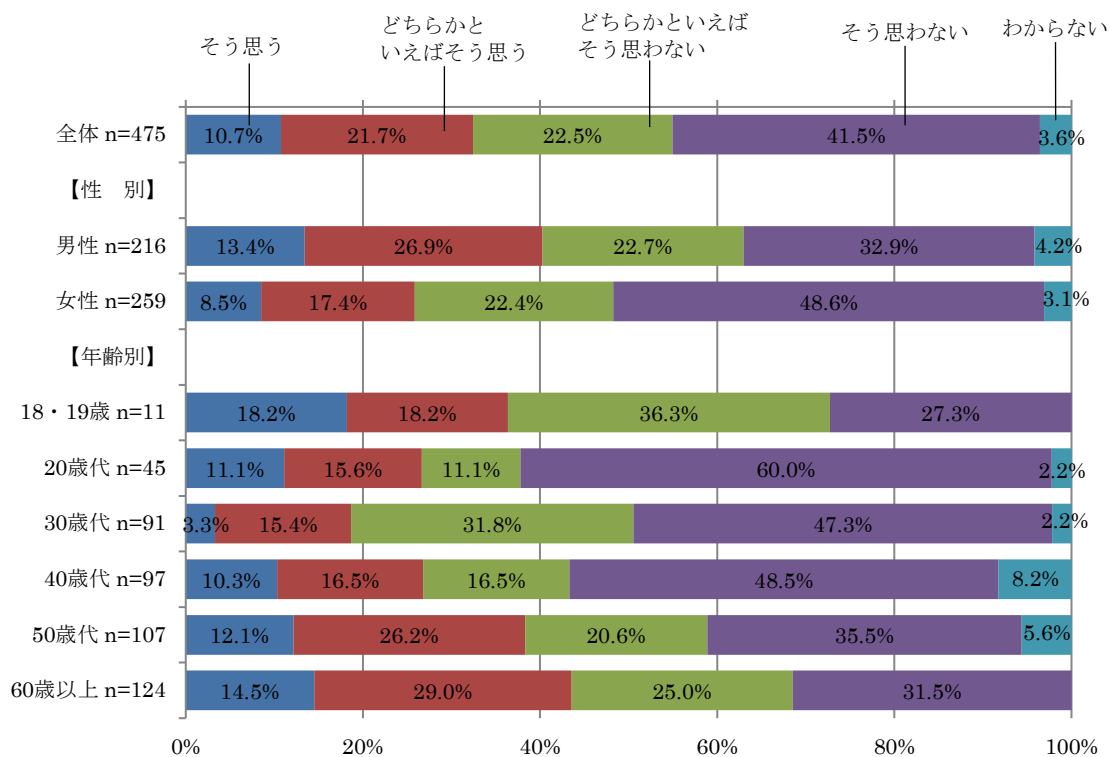
【年齢別】

年代を問わず「そう思わない(計)」が高くなっている。

「そう思う(計)」が最も高いのは 60 歳以上 (43.5%) で、「そう思わない(計)」が最も高いのは 30 歳代 (79.1%) である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う(計)」が 18.8 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 19.8 ポイント増加している。



問 10 男女の役割分担意識について

③ 男性も女性と平等に家事・育児をするべきである

【全 体】

「そう思う」が 57.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.6%となっている。

【性 別】

男性、女性ともに「そう思う(計)」が高くなっている。

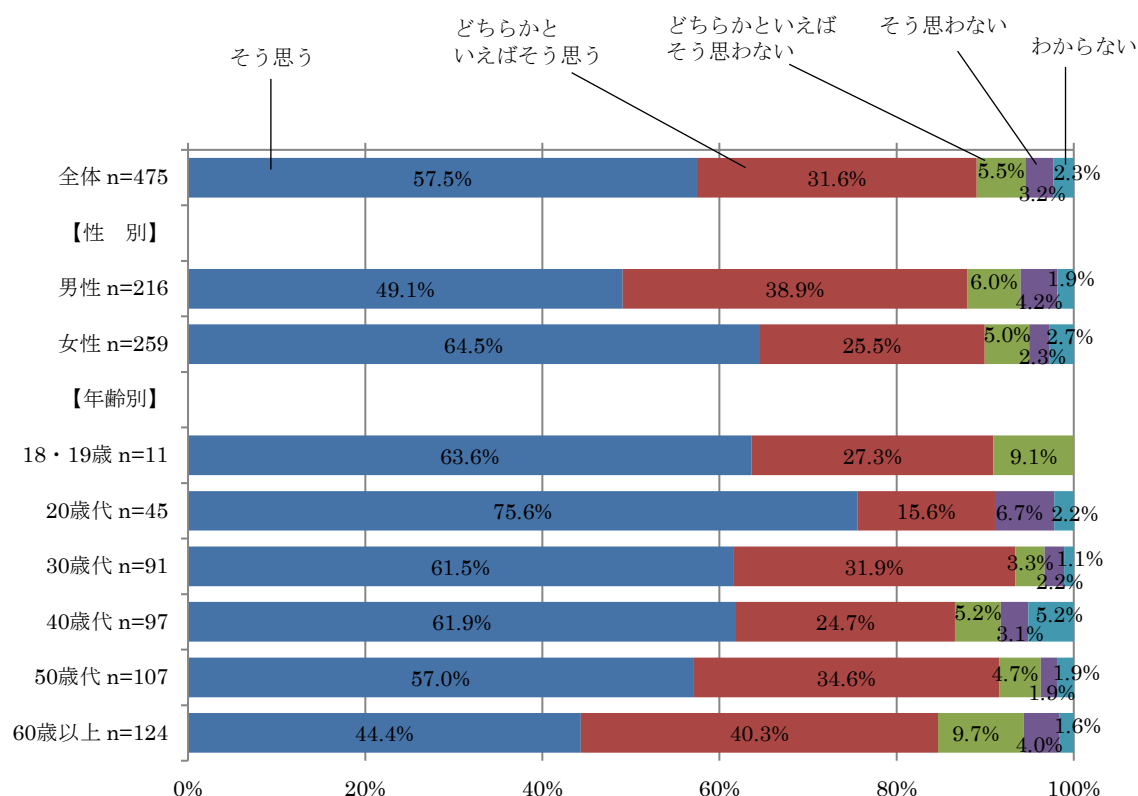
「そう思う(計)」では女性の方が男性より 2.0 ポイント高くなっており、中でも「そう思う」と答えた女性は男性より 15.4 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「そう思う」が最も高い 20 歳代 (75.6%) と最も低い 60 歳以上 (44.4%) では 31.2 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う(計)」が 9.7 ポイント増加し、「そう思わない(計)」が 7.4 ポイント減少している。



問 10 男女の役割分担意識について

④ 家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである

【全 体】

「そう思う」が 63.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.2%となっている。

【性 別】

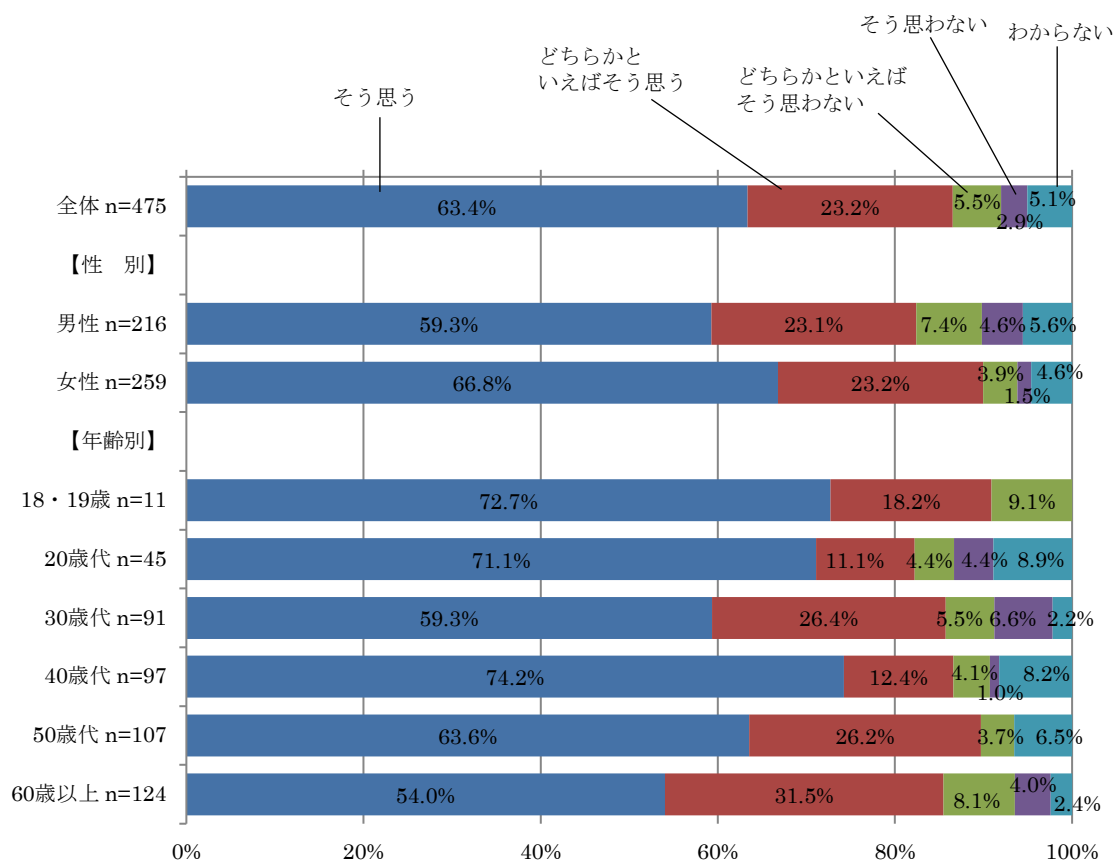
男性、女性ともに「そう思う（計）」が8割を超えており、その中でも「そう思う」と答えた女性は男性より 7.5 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「そう思う」が最も高い 40 歳代（74.2%）と最も低い 60 歳以上（54.0%）では 20.2 ポイントの差がある。ただし、「そう思う（計）」でみると 40 歳代（86.6%）と 60 歳以上（85.5%）では 1.1 ポイント差である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う（計）」が 2.2 ポイント増加し、「そう思わない（計）」が 1.1 ポイント減少している。



問 10 男女の役割分担意識について

⑤ 女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい

【全 体】

「どちらかといえばそう思う」が 33.1%と最も高く、次いで「そう思う」が 23.4%となっている。

【性 別】

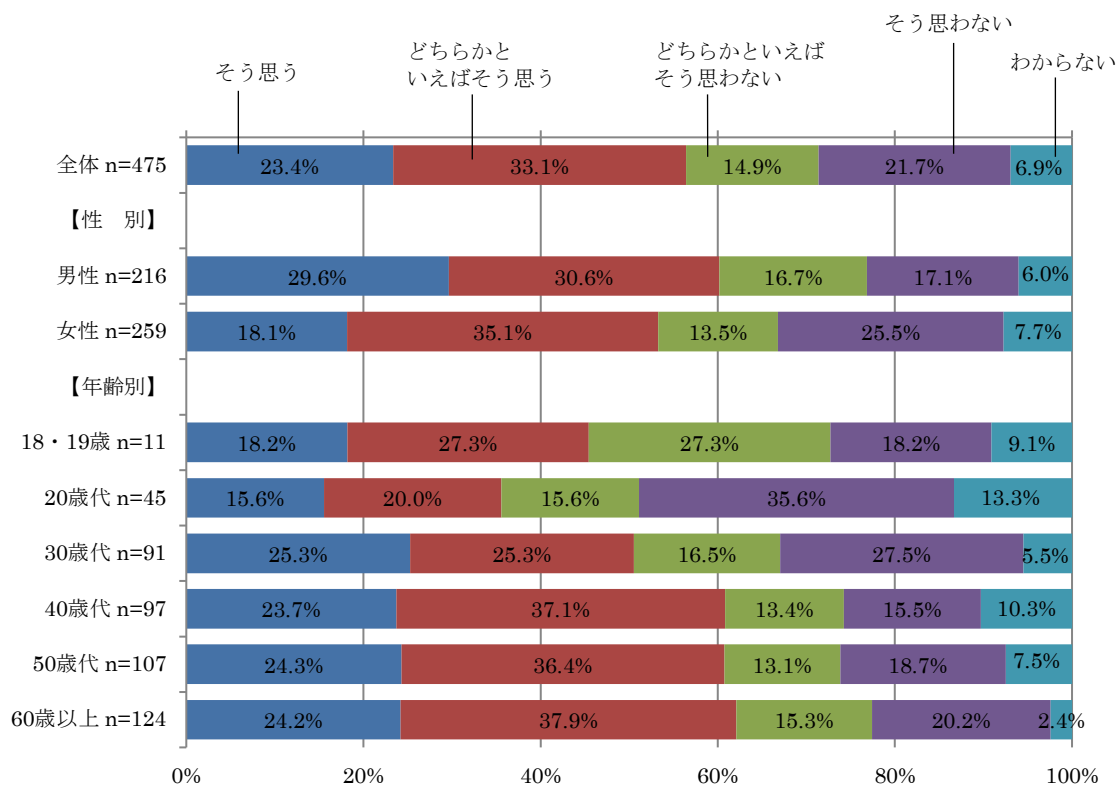
「そう思う(計)」と答えた男性は6割、女性は5割を超えており、男性の方が女性より 7.0 ポイント高くなっている。

【年齢別】

60 歳以上は「そう思う(計)」が高くなっているが、20 歳代は「そう思わない(計)」が比較的高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて「そう思う(計)」が 10.8 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 9.1 ポイント増加している。



問 10 男女の役割分担意識について

⑥ 男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい

【全 体】

「そう思わない」が 38.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.5%となっている。

【性 別】

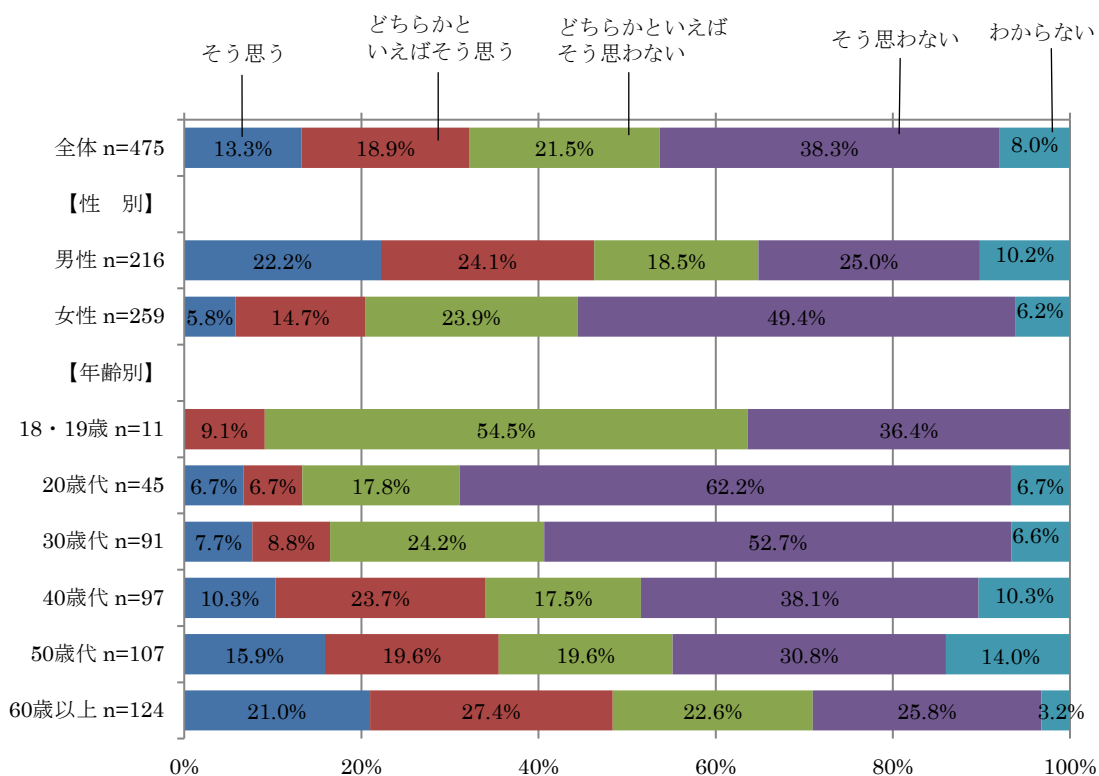
女性は「そう思わない（計）」が7割を超えているのに対し、男性は4割弱となっており、その差は29.8ポイントである。その中でも「そう思わない」は女性が男性より24.4ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢が高くなるに従って「そう思う（計）」の割合が高く、「そう思わない（計）」の割合が低くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う（計）」が15.8ポイント減少し、「そう思わない（計）」が15.5ポイント増加している。



問 1 1 男性、女性の望ましい生き方について

あなたは、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。①②のそれぞれについて、次の中から1つずつ選んでください。

① 男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

【全 体】

「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が 46.5%と最も高く、次いで「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」(31.6%) となっている。

【性 別】

「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が、男性、女性ともに最も高くなっている。

【年齢別】

「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」は、最も高い 20 歳代 (57.8%) と最も低い 60 歳以上 (40.3%) では 17.5 ポイントの差がある。

「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」は、最も高い 60 歳以上 (45.2%) と最も低い 20 歳代 (6.7%) では 38.5 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が 14.8 ポイント増加、「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が 21.3 ポイント減少しており、順位が逆転している。

問 1 1 男性、女性の望ましい生き方について

② 女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

【全 体】

「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が 48.0%と最も高く、次いで「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」(17.9%) となっている。

【性 別】

男性、女性ともに「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が最も高く、男性が 43.5%、女性が 51.7%となっている。次いで、男性が「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」(19.9%) で、女性が「仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる」(17.0%) となっている。

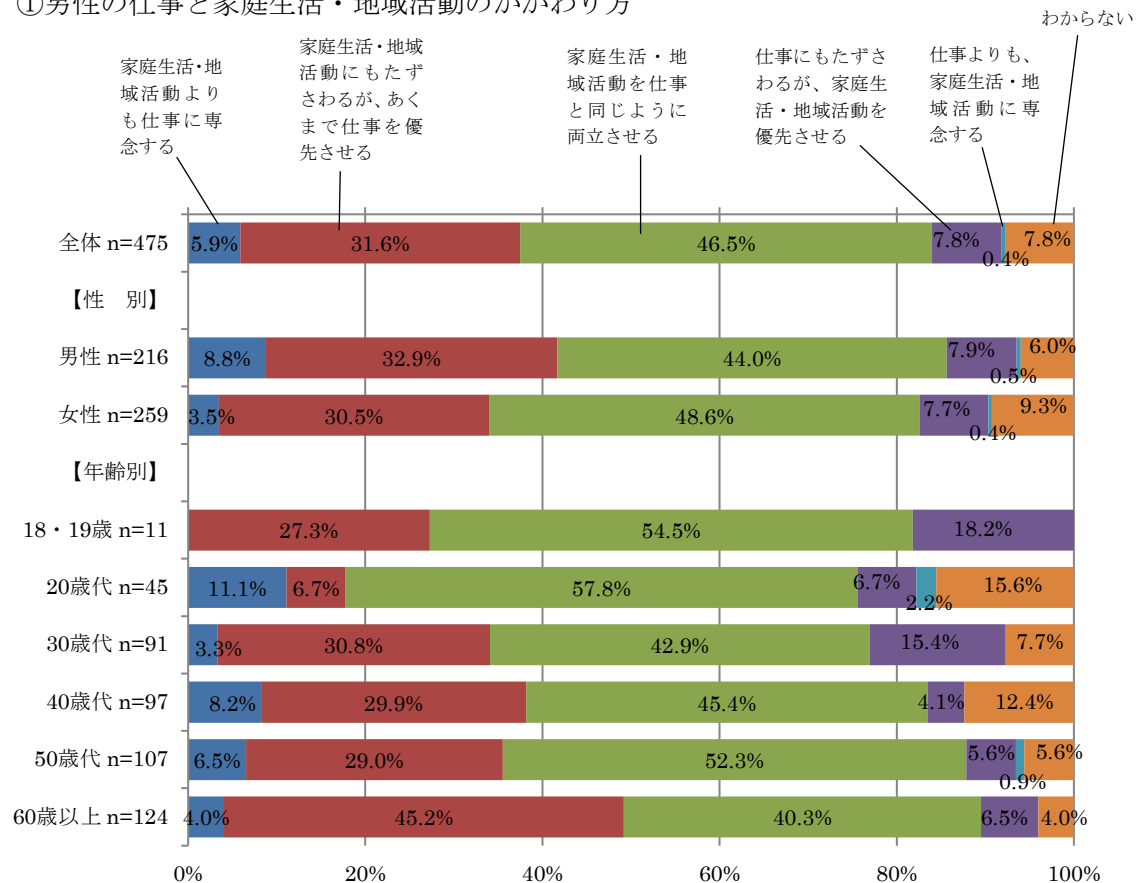
【年齢別】

「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」は、最も高い 20 歳代 (57.8%) と最も低い 40 歳代 (43.3%) では 14.5 ポイントの差がある。

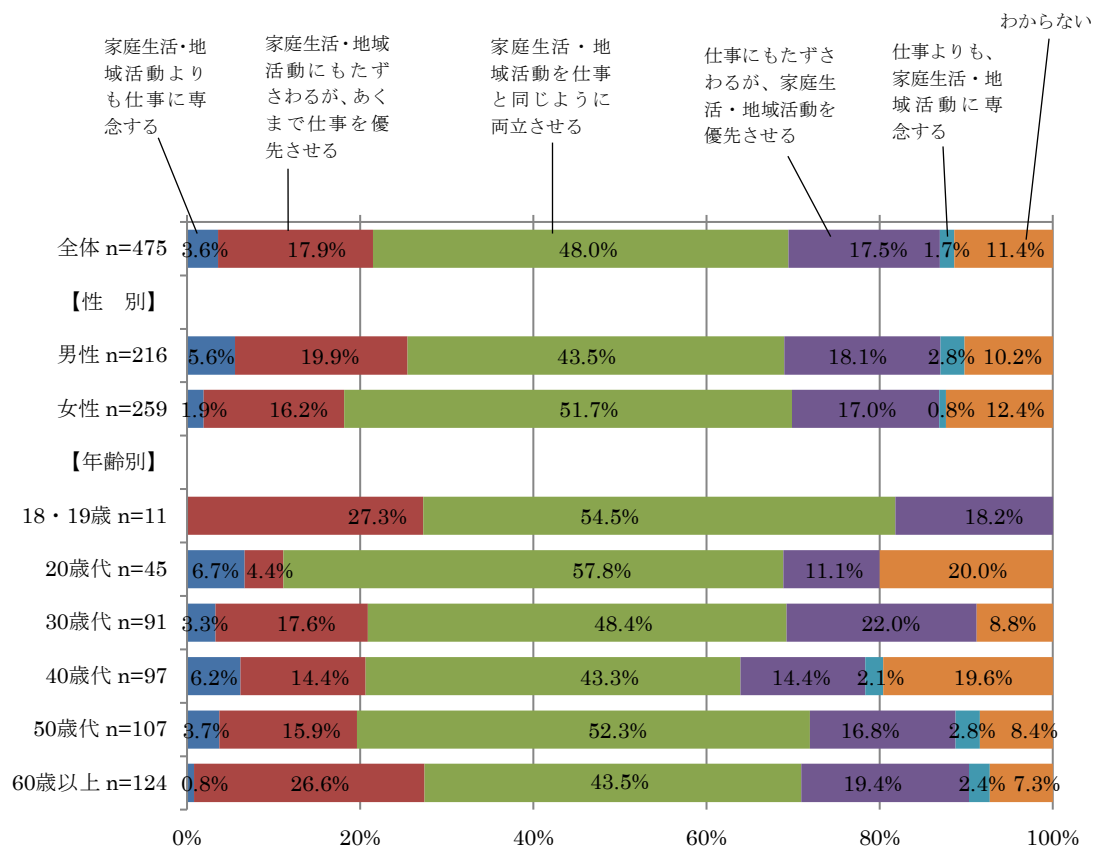
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が 14.2 ポイント増加、「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が 1.0 ポイント減少、「仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる」が 11.6 ポイント減少している。

①男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方



②女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方



問 1 2 少子化の理由

近年、少子化が進んでいます。その原因はどんなことだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

【全 体】

「子育てにかかる経済的負担が大きいから」が 72.2%と最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる環境が整っていないから」(57.5%)、「子どもを産み育てていく生活環境に不安があるから」(37.5%)の順となっている。

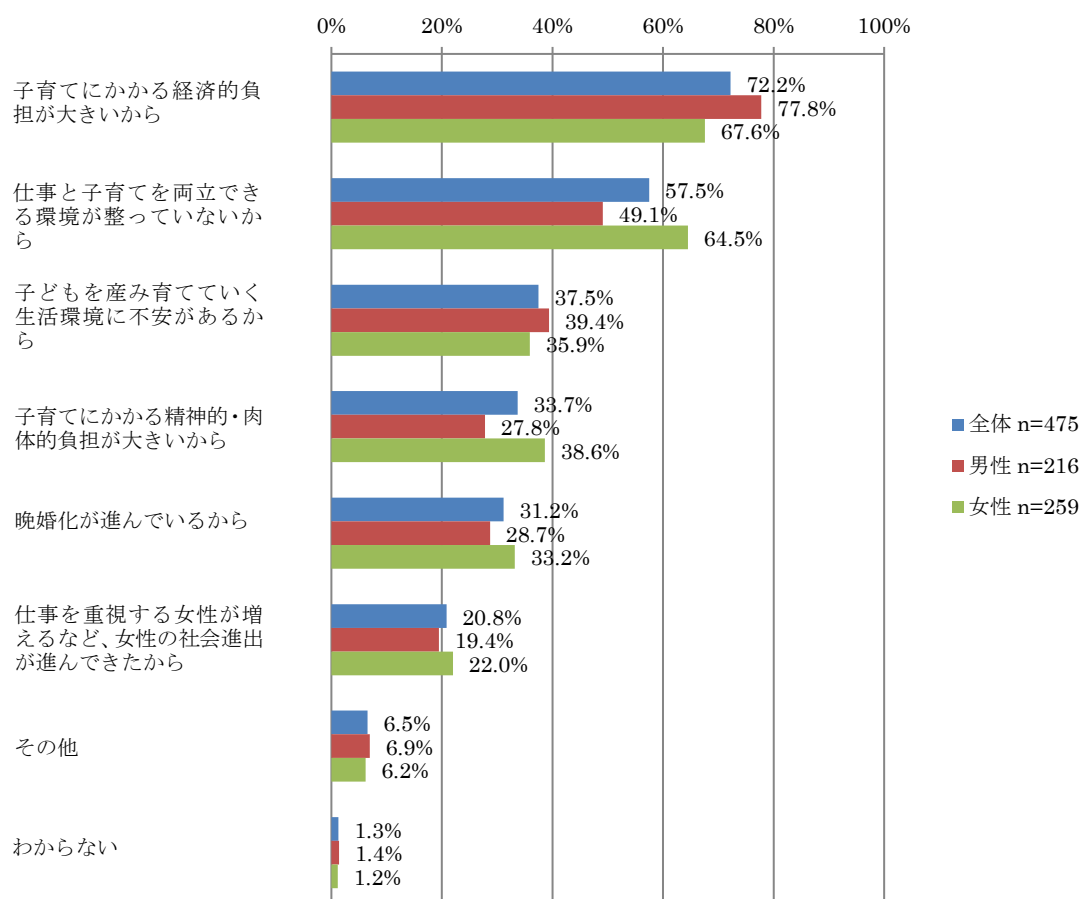
また、「その他」の記述の中で多かったものが、「結婚を望まない人が増えたから」「収入に不安があるから」という回答であった。その他に、核家族の増加、価値観の変化を指摘する意見もあった。

【性 別】

男性、女性を見ても、【全体】とほぼ同じ順である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「晩婚化が進んでいるから」が 12.8 ポイント減少し、「子育てにかかる精神的・肉体的負担が大きいから」が 5.9 ポイント増加している。



問 1 3 安心して子どもを産み育てるために必要なこと

安心して子どもを生み育てるためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

【全 体】

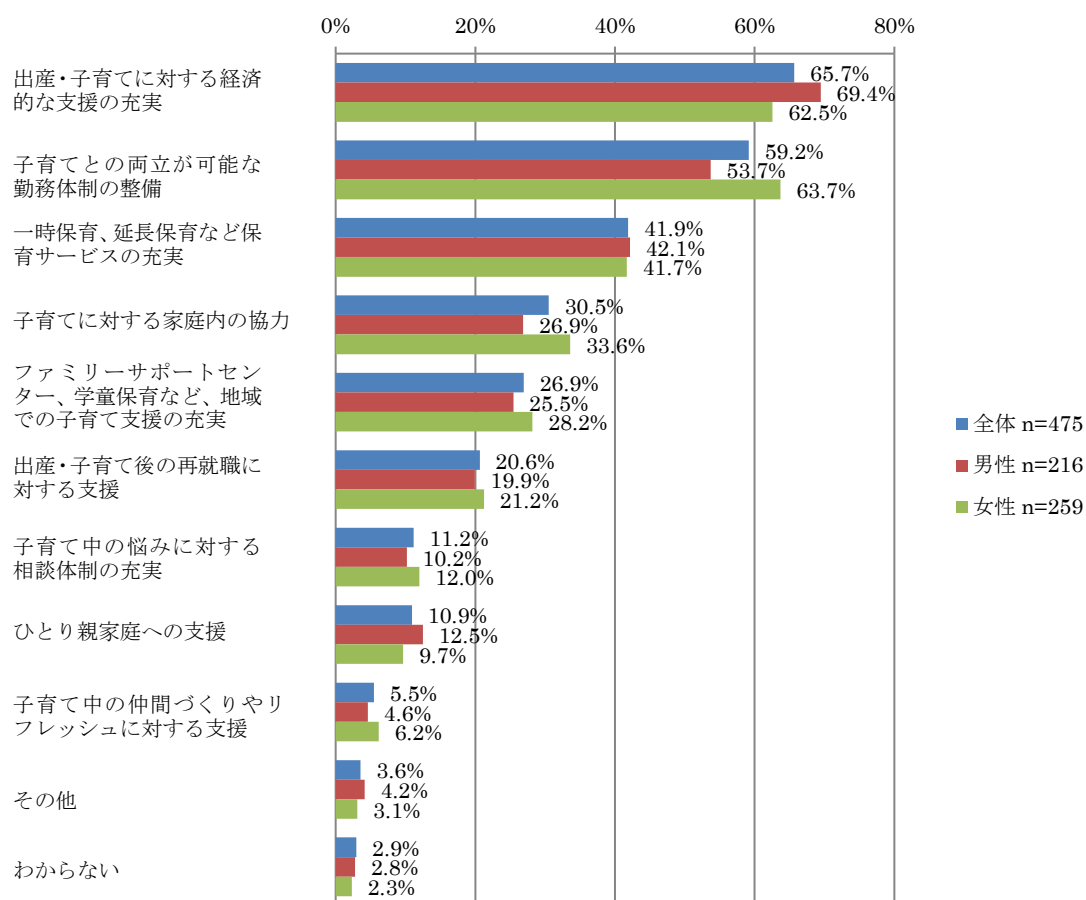
「出産・子育てに対する経済的な支援の充実」が 65.7%と最も高く、次いで「子育てとの両立が可能な勤務体制の整備」(59.2%)、「一時保育、延長保育など保育サービスの充実」(41.9%)の順となっている。

【性 別】

男性は「出産・子育てに対する経済的な支援の充実」、女性は「子育てとの両立が可能な勤務体制の整備」「子育てに対する家庭内の協力」が、男性と比べて特に高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、各項目の順位に変動はなかった。



Ⅲ 男女の職業生活に対する考え方について

問 1 4 就業状況

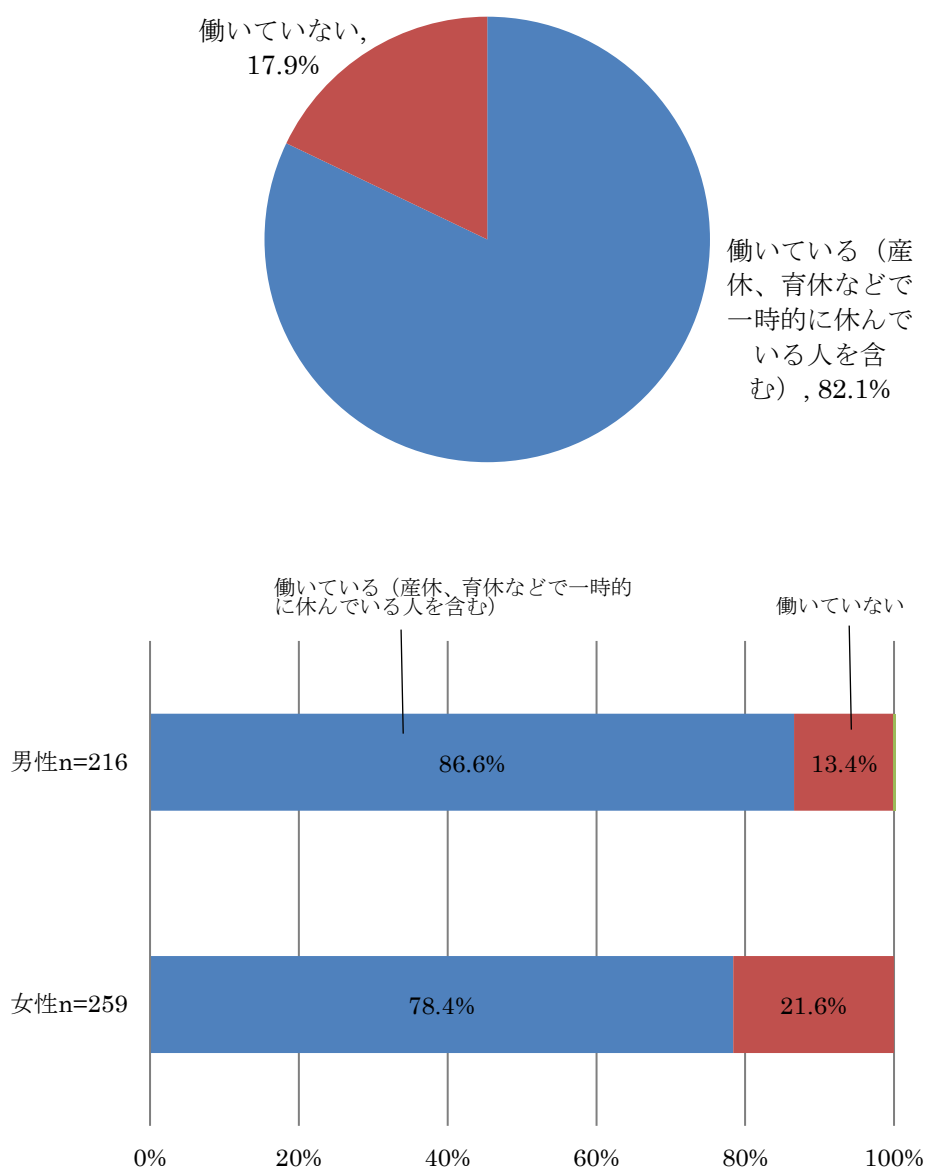
あなたは現在働いていますか。1つ選んでください。

【全 体】

現在の就業状態について、「働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む）」が82.1%、「働いていない」が17.9%となっている。

【性 別】

「働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む）」では、男性の方が女性より8.2ポイント高くなっている。



問 1 5 職場の待遇

〔 問 14 で「1. 働いている」と答えた方にお聞きします〕

あなたは職場において、次の項目で男女差別を感じることはありませんか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

【全 体】

職場の待遇について、「感じる」で見ると、「育児休業、介護休暇の取得」が 36.7%と最も高く、次いで「昇進・昇格」（34.9%）、「仕事の内容や人事異動・配置」（34.6%）の順となっている。

「感じない」で最も高いのは「定年」で 63.6%となっている。

【性 別】

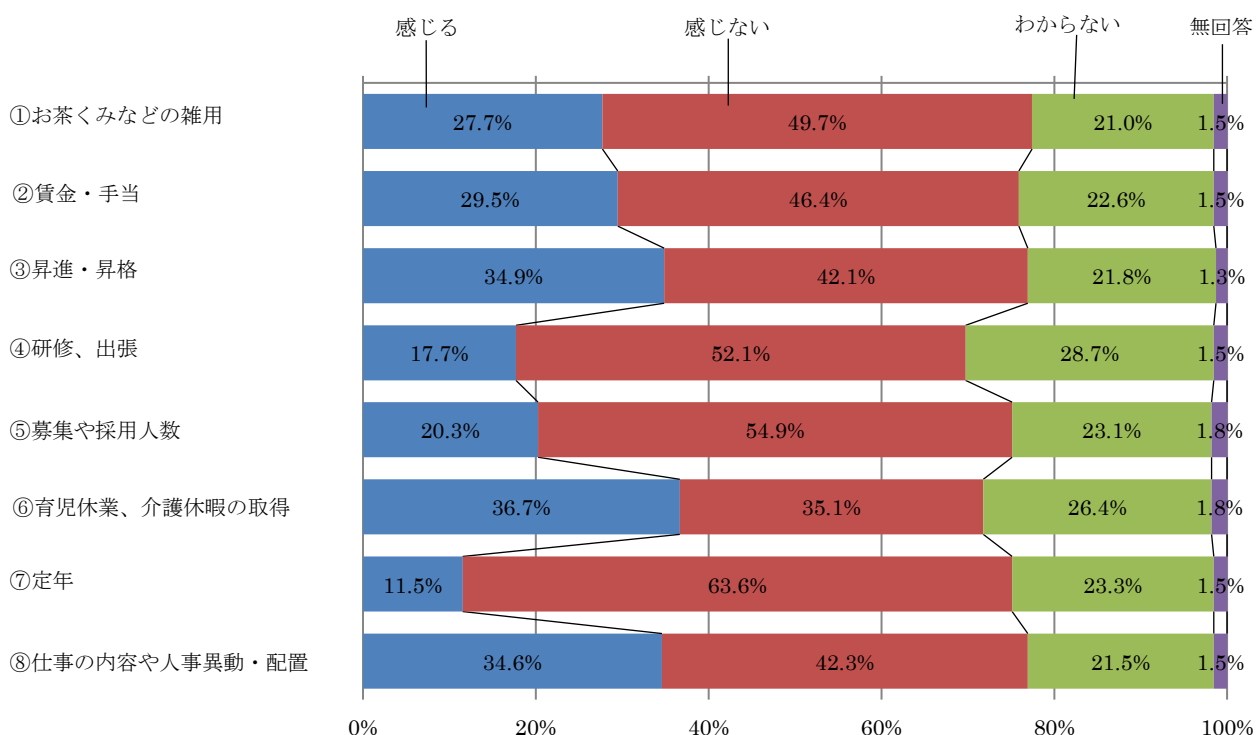
「感じる」と答えた割合について、「お茶くみなどの雑用」「賃金・手当」「昇進・昇格」「育児休業、介護休暇の取得」「定年」では女性の方が、それ以外の項目では男性の方が高くなっている。

【年齢別】

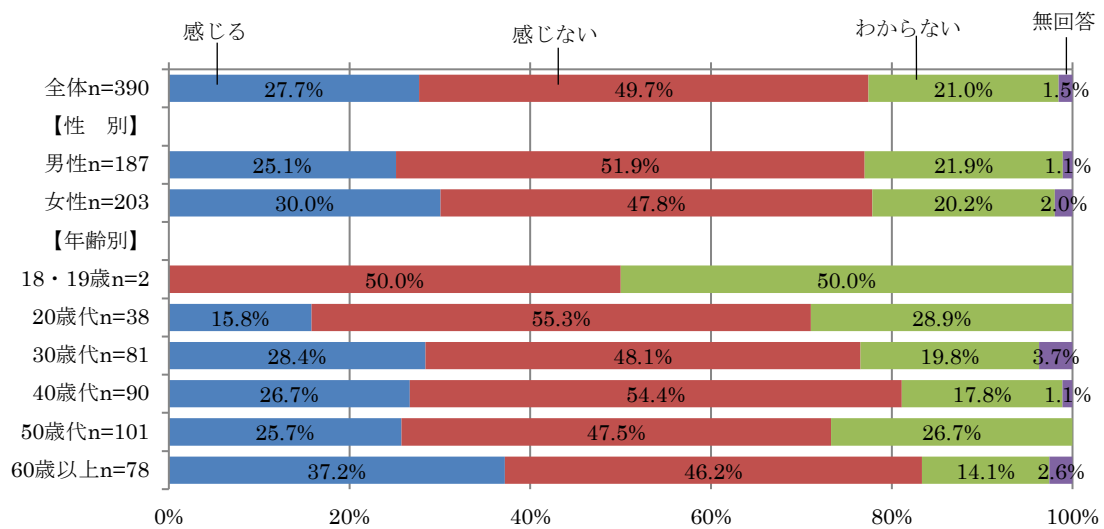
年齢が低くなるに従って、全項目で「感じない」とする割合が高くなる傾向があるが、項目によってばらつきがある。

【前回調査との比較】

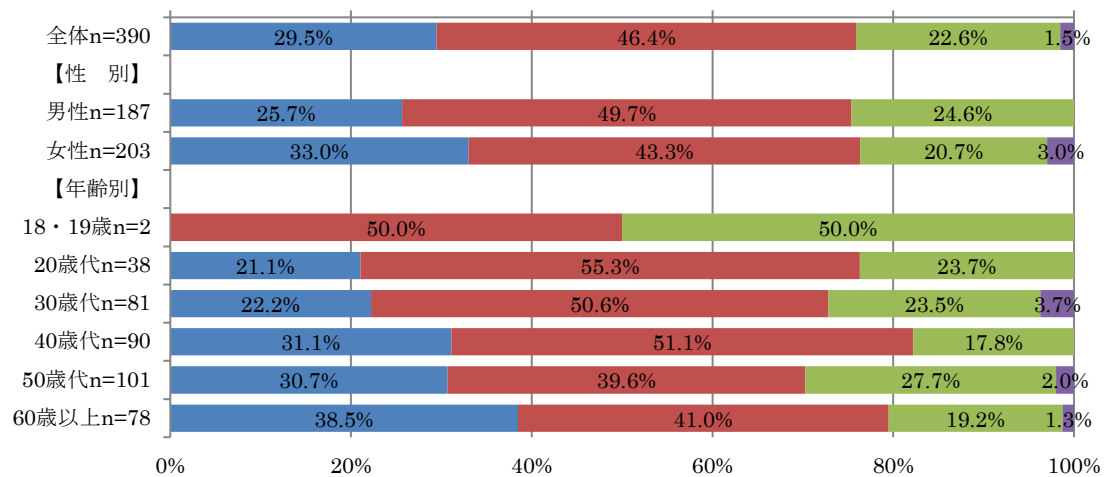
前回調査と比べて、全体で「育児休業、介護休暇の取得」で「感じる」が 1.4 ポイント増加、「仕事の内容や人事異動・配置」で「感じる」が 1.1 ポイント増加している。



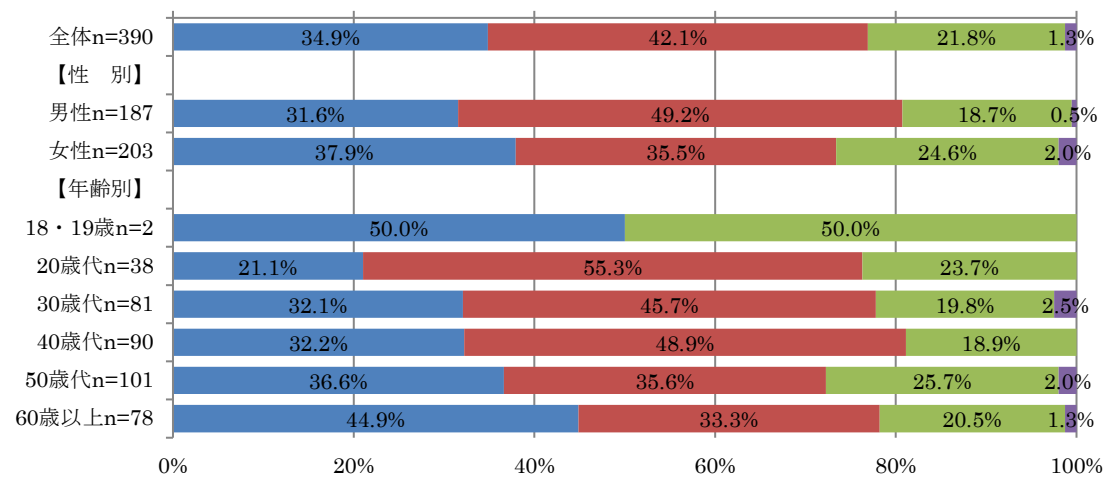
①お茶くみなどの雑用



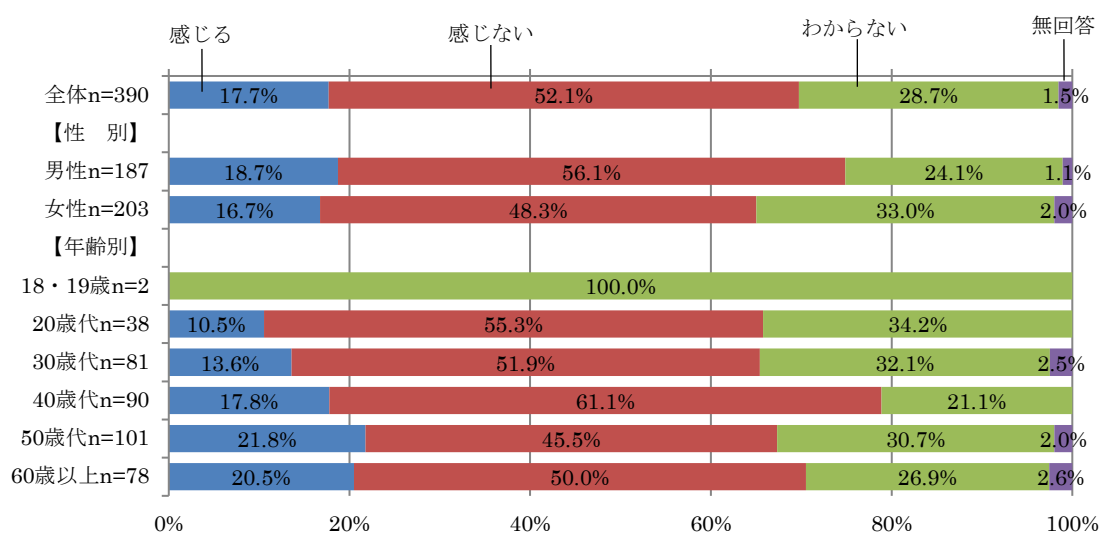
②賃金・手当



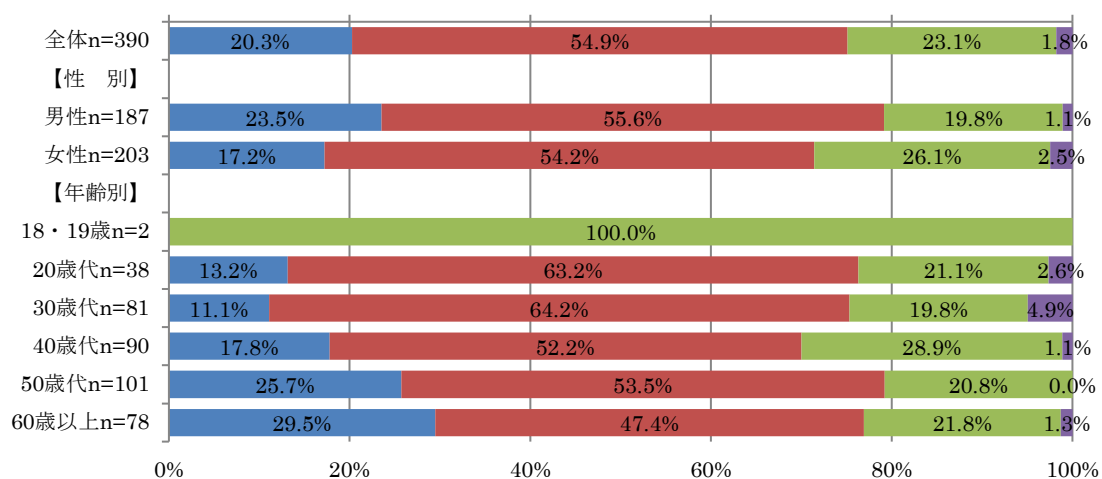
③昇進・昇格



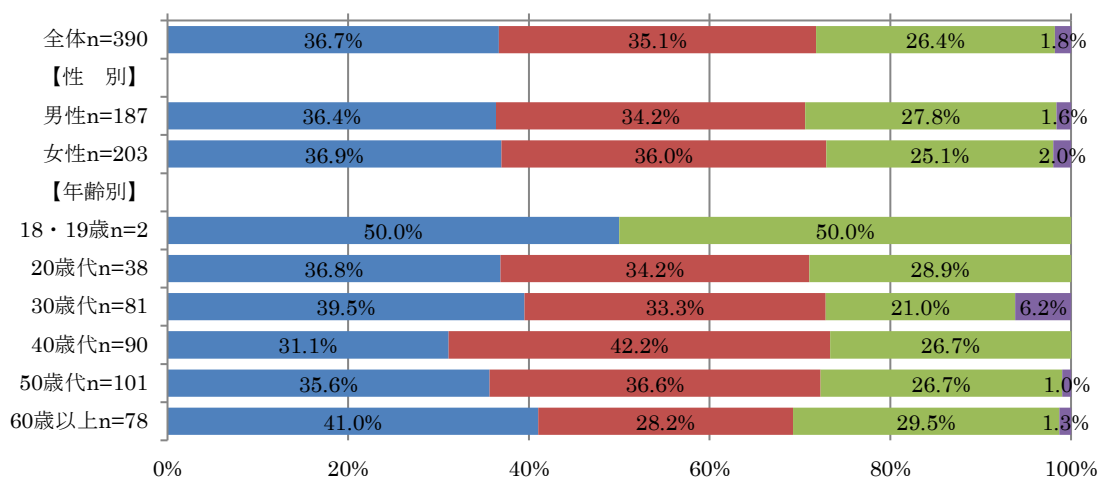
④研修、出張



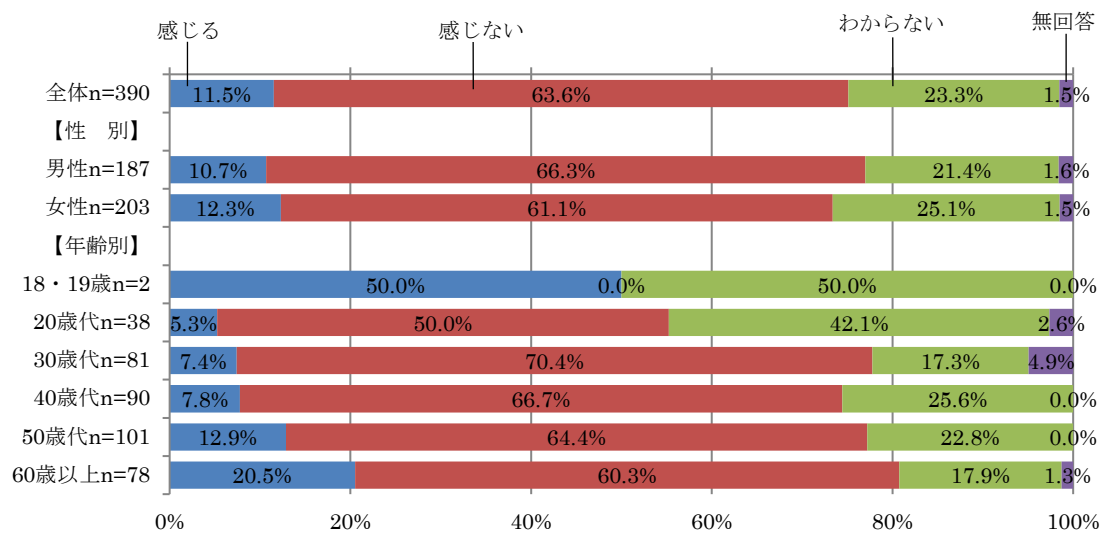
⑤募集や採用人数



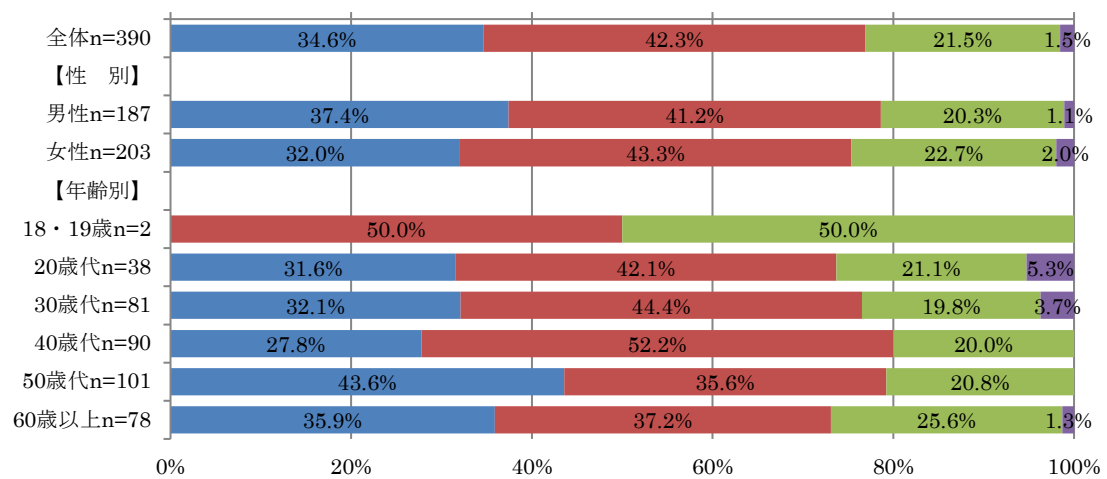
⑥育児休業、介護休暇の取得



⑦定年



⑧仕事の内容や人事異動・配置



問 1 6 就労経験

〔 問 14 で「2. 働いていない」と答えた方にお聞きします〕

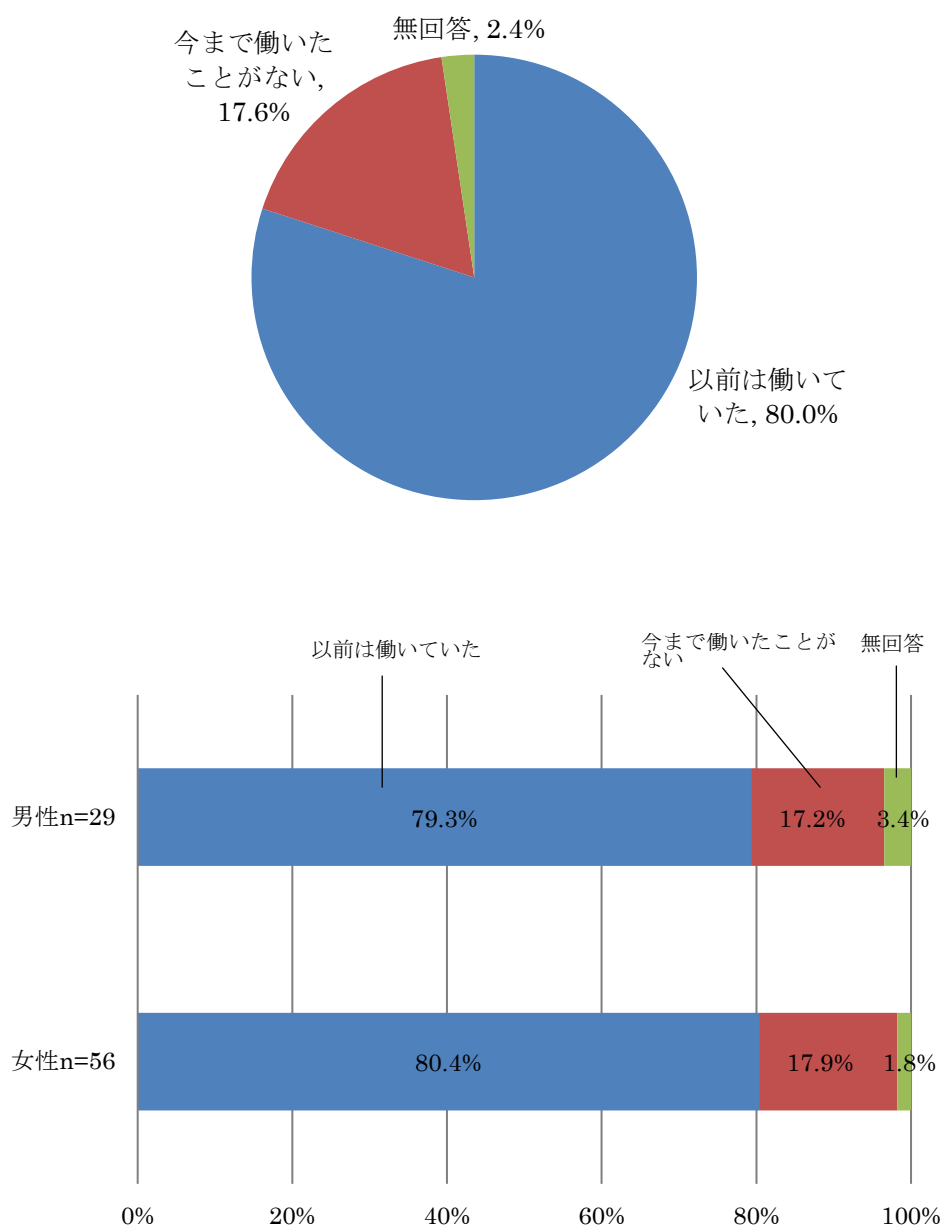
あなたは、以前働いたこと（パート、内職等を含む）がありますか。1つ選んでください。

【全 体】

就労経験について、「以前は働いていた」が 80.0%、「今まで働いたことがない」が 17.6% となっている。

【性 別】

男性、女性ともに「以前は働いていた」の割合が約 8 割である。



問 17 退職理由

〔問 16 で「1. 以前は働いていた」と答えた方にお聞きします〕

あなたが仕事をやめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【全 体】

退職理由について、「定年」が 33.8%と最も高く、次いで「健康上の理由」(23.9%)、「家族の看護や介護」(12.7%)の順となっている。

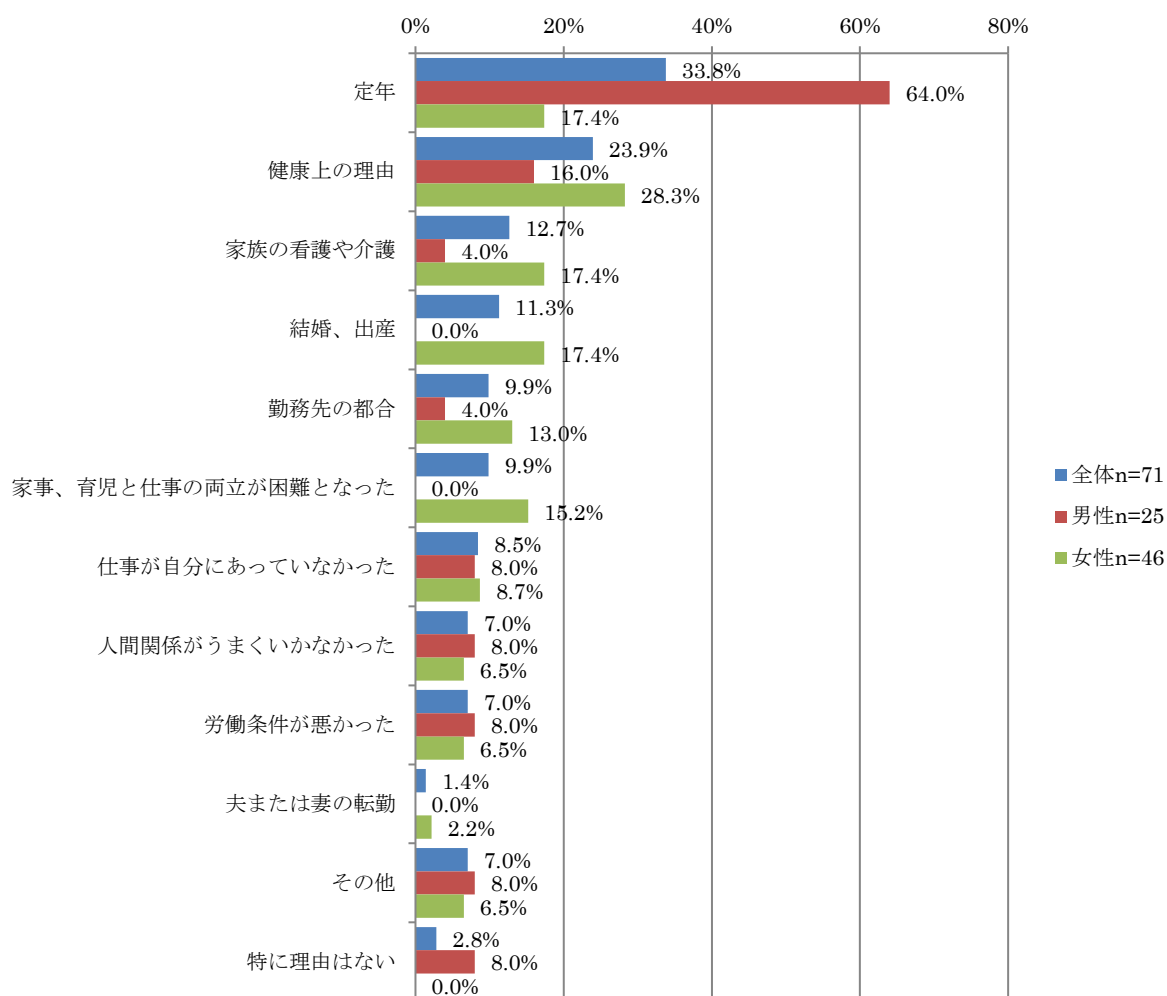
【性 別】

男性で最も多いのは「定年」(64.0%)、次いで「健康上の理由」(16.0%)となっている。

女性で最も多いのは「健康上の理由」(28.3%)、次いで「定年」「家族の看護や介護」「結婚、出産」(17.4%)となっている。

【前回調査との比較】

前回、全体で5番目に多かった「結婚、出産」が4番目になっている。



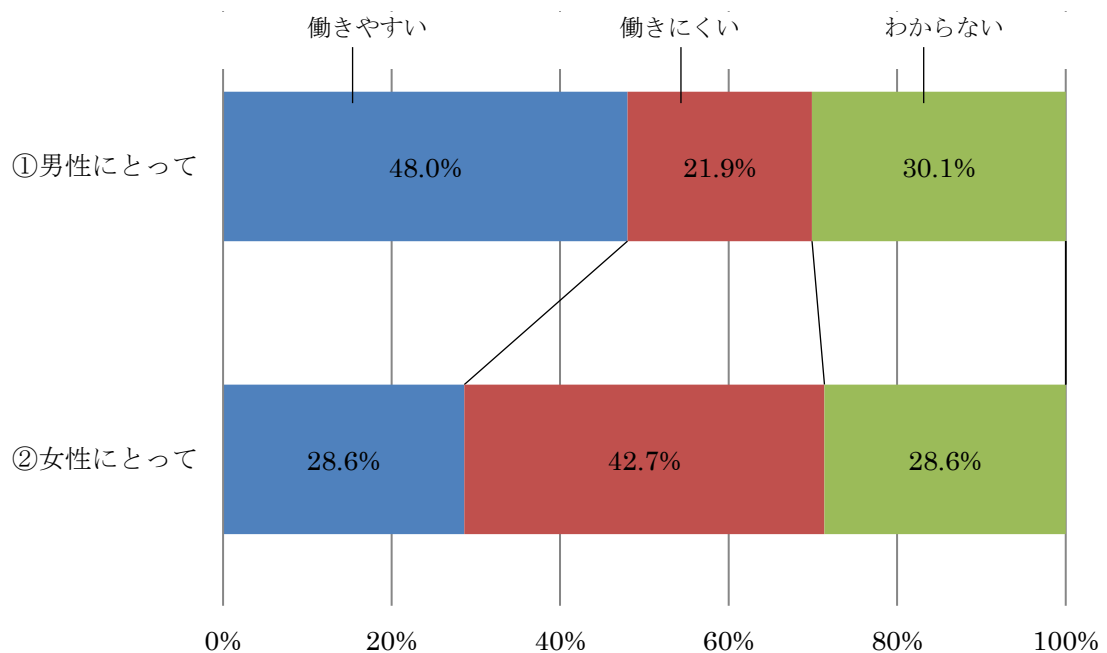
問 18 現代社会の労働環境

現在の社会は、男性と女性にとって働きやすい環境にあると思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください

【全 体】

現代社会の労働環境について、男性にとっては「働きやすい」の割合が高くなっており、「働きにくい」との差は26.1ポイントである。

女性にとっては「働きにくい」の割合が高くなっており、「働きやすい」との差は14.1ポイントである。



問 1 8 現代社会の労働環境

① 男性にとって

【全 体】

「働きやすい」が 48.0%で最も高く、次いで「わからない」(30.1%)、「働きにくい」(21.9%) となっている。

【性 別】

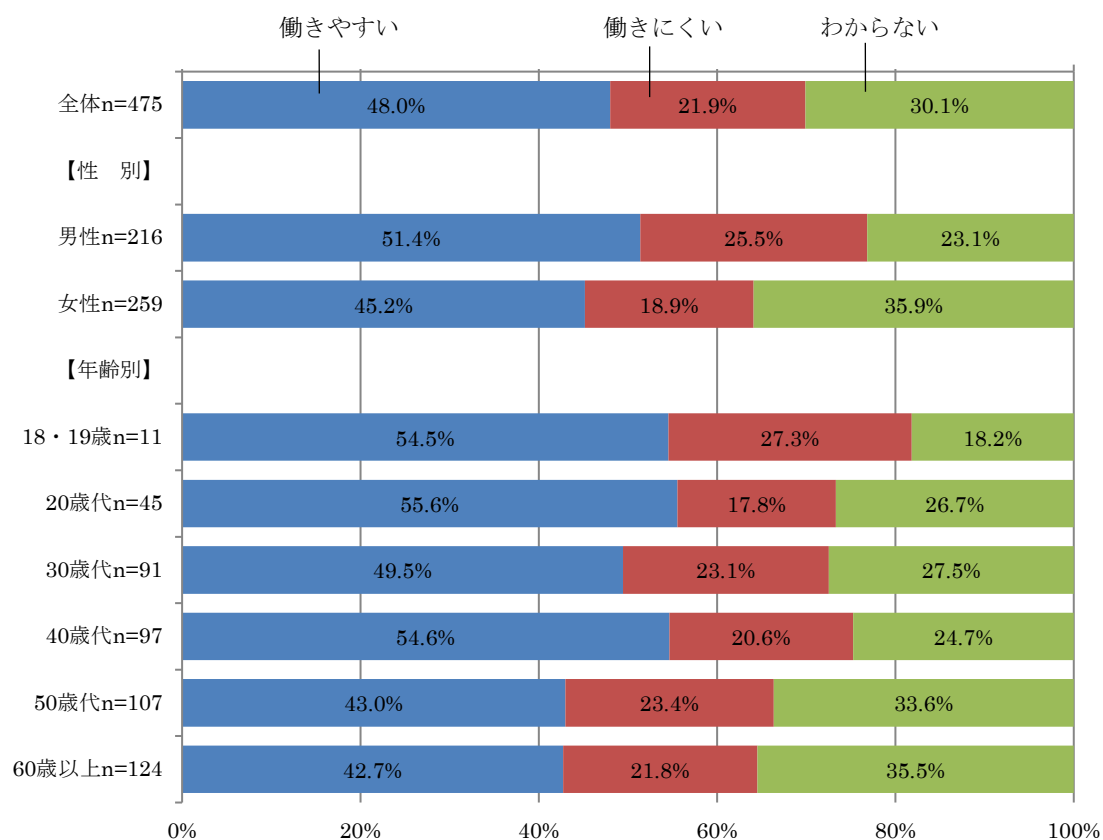
男性、女性ともに「働きやすい」の割合が高くなっており、男性は「働きやすい」が女性より 6.2 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢が高くなるに従って「働きやすい」の割合が低くなる傾向があり、最も高い 40 歳代 (54.6%) と最も低い 60 歳以上 (42.7%) では 11.9 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「働きやすい」が 12.1 ポイント増加、「働きにくい」が 5.9 ポイント減少している。



問 1 8 現代社会の労働環境

② 女性にとって

【全 体】

「働きにくい」が 42.7%で最も高く、「働きやすい」「わからない」が 28.6%となっている。

【性 別】

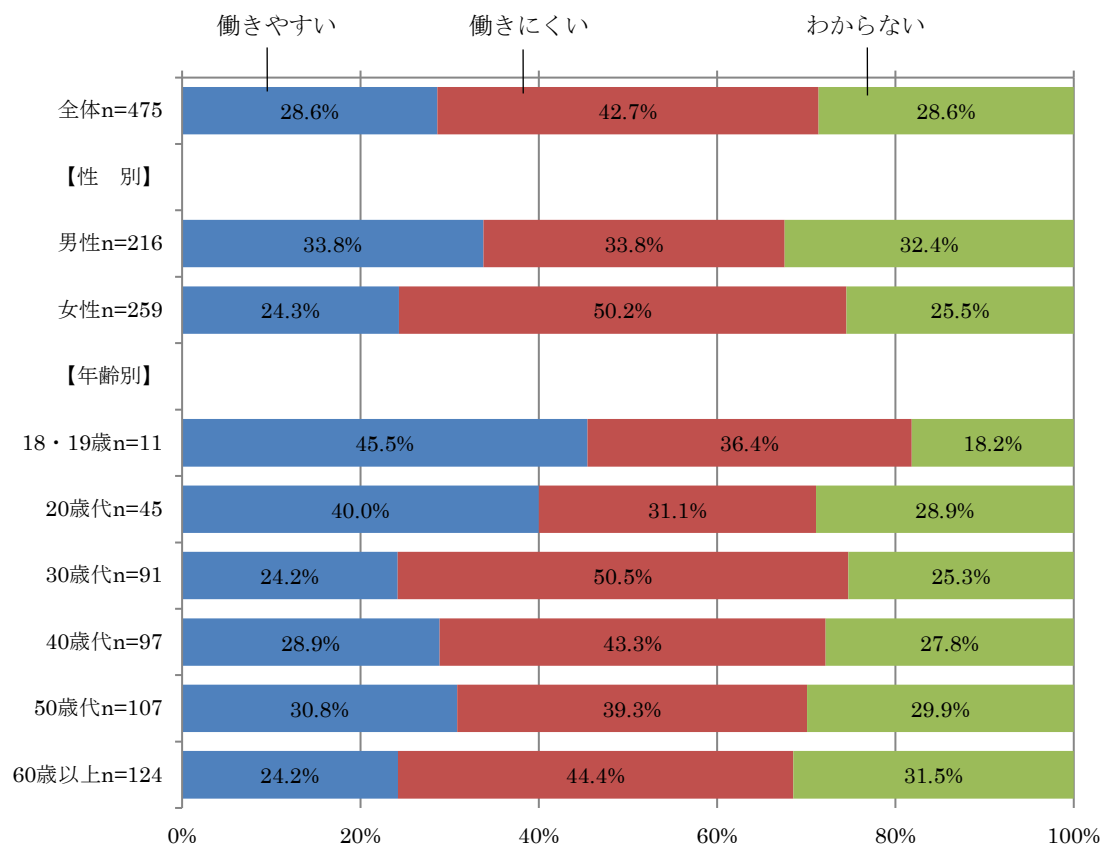
男性、女性ともに「働きにくい」の割合が高くなっており、女性は「働きにくい」が男性より 16.4 ポイント高くなっている。

【年齢別】

30 代で「働きにくい」と答えた割合が特に高くなっており、5 割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「働きやすい」が 8.7 ポイント増加、「働きにくい」が 1.1 ポイント減少している。



問 19 男性にとっての働きやすい環境づくり

あなたは男性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

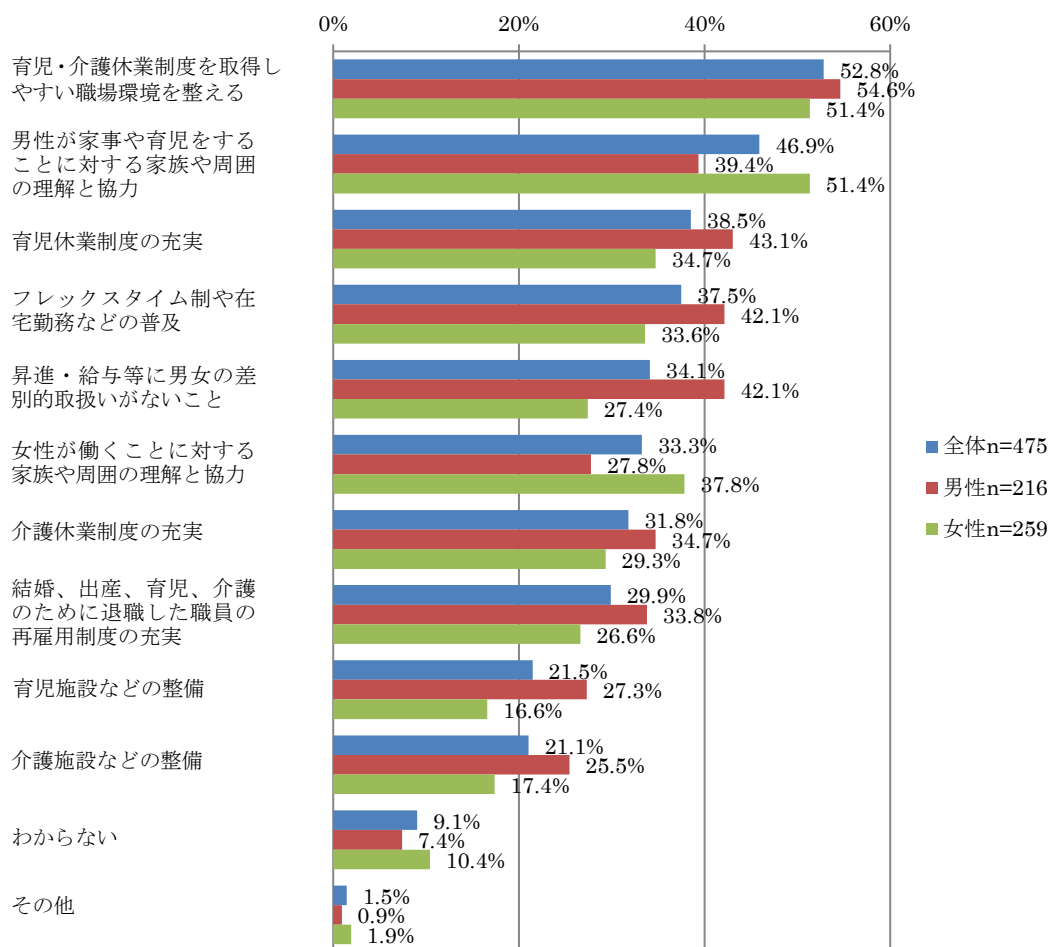
【全 体】

男性にとっての働きやすい環境づくりについて、「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 52.8%と最も高く、次いで「男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力」(46.9%)、「育児休業制度の充実」(38.5%)の順となっている。

【性 別】

男性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 54.6%と最も高く、次いで「育児休業制度の充実」(43.1%)、「フレックスタイム制や在宅勤務などの普及」(42.1%)となっている。

女性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」「男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力」が 51.4%と最も高く、次いで「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(37.8%)となっている。



問20 女性にとっての働きやすい環境づくり

あなたは女性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

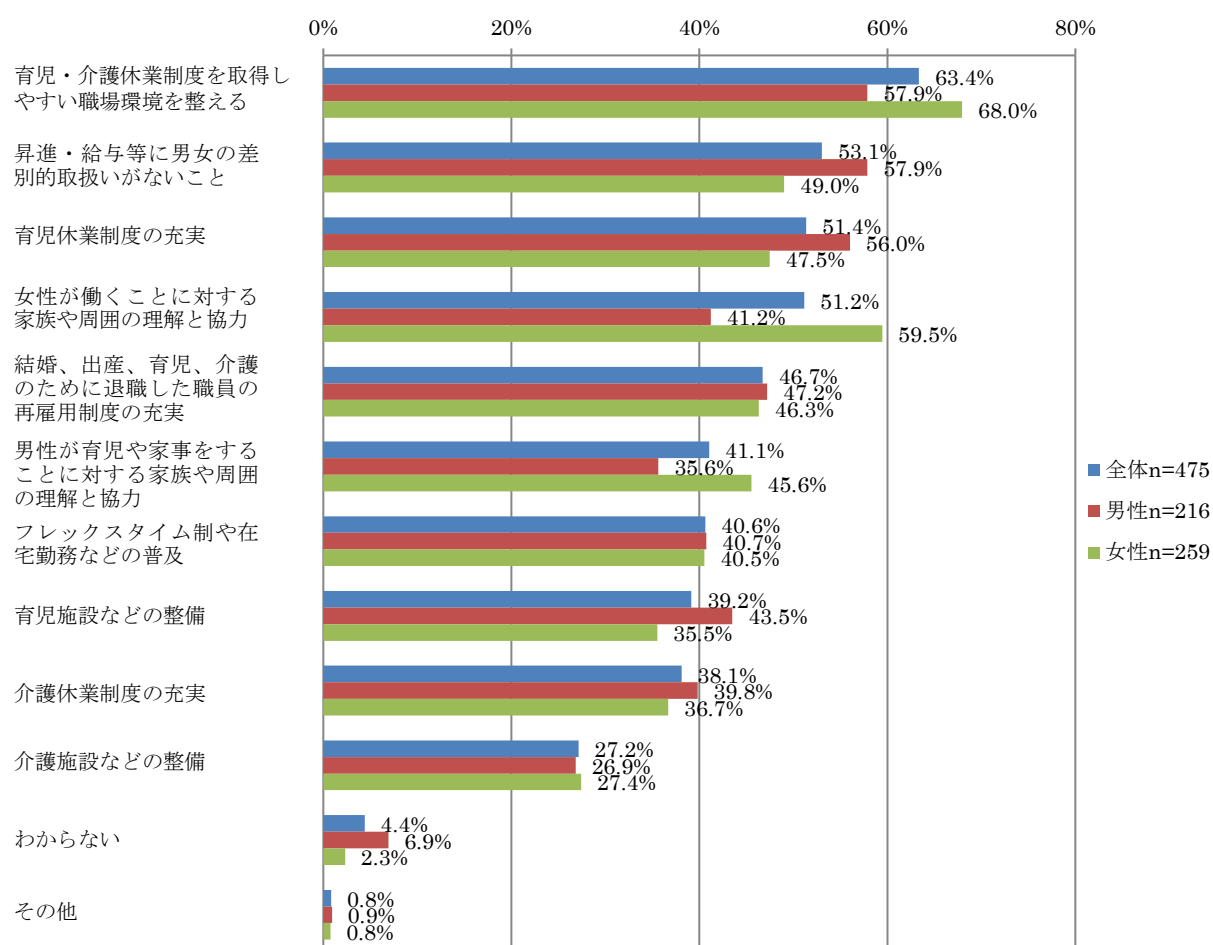
【全 体】

女性にとっての働きやすい環境づくりについて、「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が63.4%と最も高く、次いで「昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと」(53.1%)、「育児休業制度の充実」(51.4%)、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(51.2%)の順となっている。

【性 別】

男性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」「昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと」が57.9%と最も高く、次いで「育児休業制度の充実」(56.0%)となっている。

女性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が68.0%と最も高く、次いで「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(59.5%)、「昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと」(49.0%)となっている。



Ⅳ 男女の人権について

問 2 1 セクシャルハラスメントの被害経験

あなたは、セクシャルハラスメント（＝セクハラ、性的嫌がらせ）を受けたことがありますか。1つ選んでください。

【全 体】

セクシャルハラスメント（以下「セクハラ」と記す）を受けた経験について、「ある」が15.8%、「ない」が70.1%となっている。

【性 別】

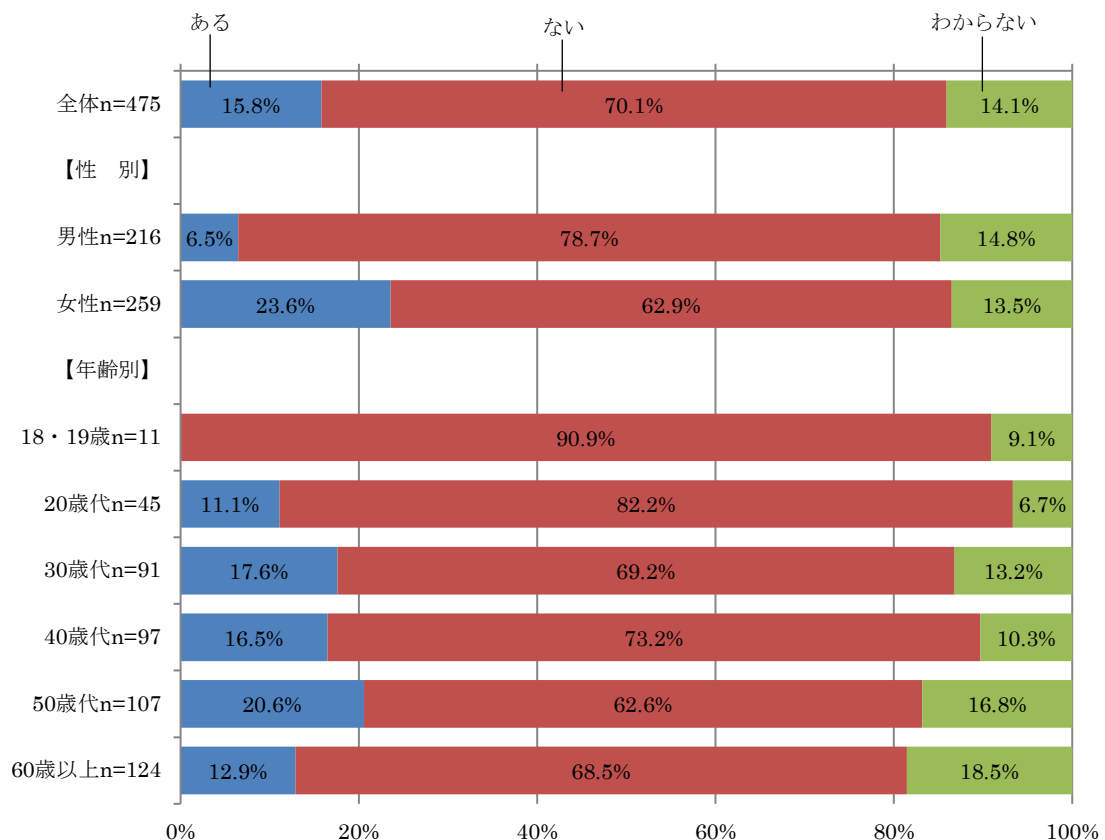
セクハラを受けた経験は、女性の方が男性より17.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

「ある」は50歳代で20.6%と最も高く、次いで30歳代（17.6%）となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「ある」が0.5ポイント減少している。



問 2 2 ドメスティック・バイオレンスの被害経験

あなたは、ドメスティック・バイオレンス（＝DV、配偶者やパートナーなどからの精神的・身体的暴力）を受けたことがありますか。1つ選んでください。

【全 体】

配偶者等からの暴力いわゆるドメスティック・バイオレンス（以下「DV」と記す）を受けた経験について、「ある」が13.5%、「ない」が76.8%となっている。

【性 別】

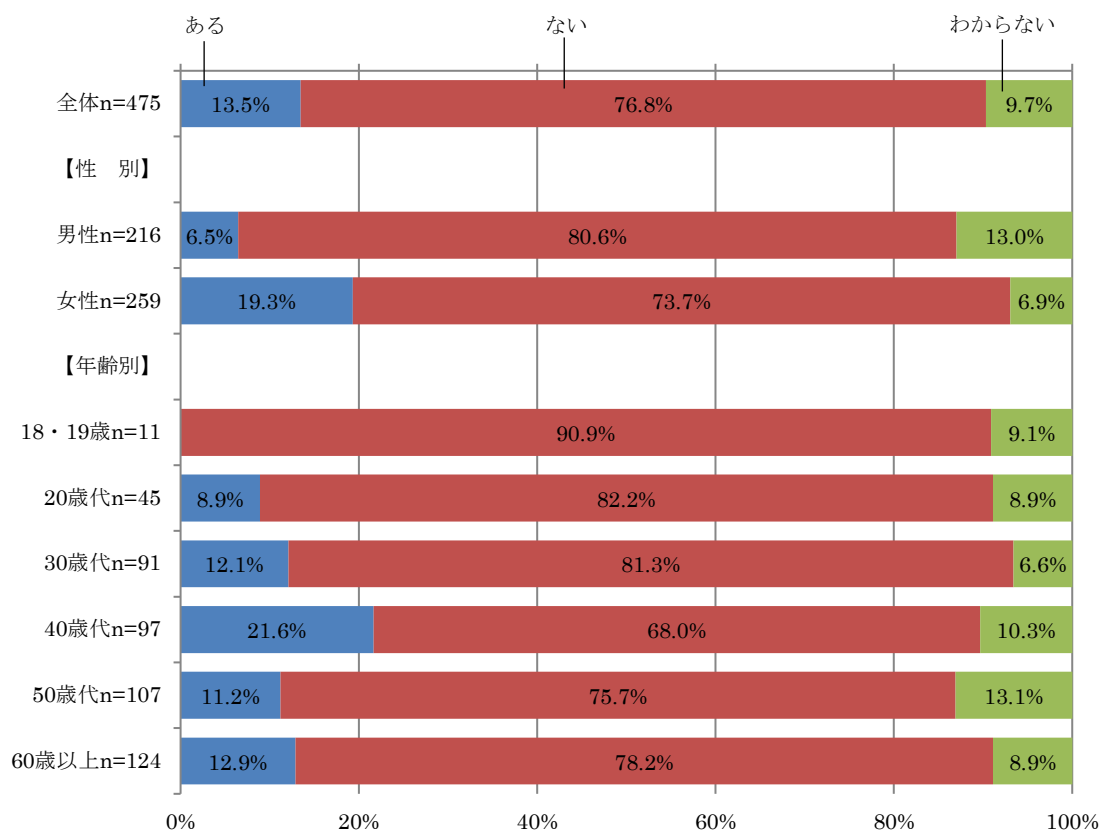
「ある」は、女性の方が男性より12.8ポイント高くなっている。

【年齢別】

「ある」は40歳代で21.6%と最も高く、次いで60歳以上（12.9%）となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「ある」が0.8ポイント増加している。



問 2 3 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談状況

〔 問 21 または問 22 で「1. ある」と答えた方にお聞きます 〕

あなたはこのような行為を受けたこと（受けていること）を誰かに相談しましたか。1 つ選んでください。

【全 体】

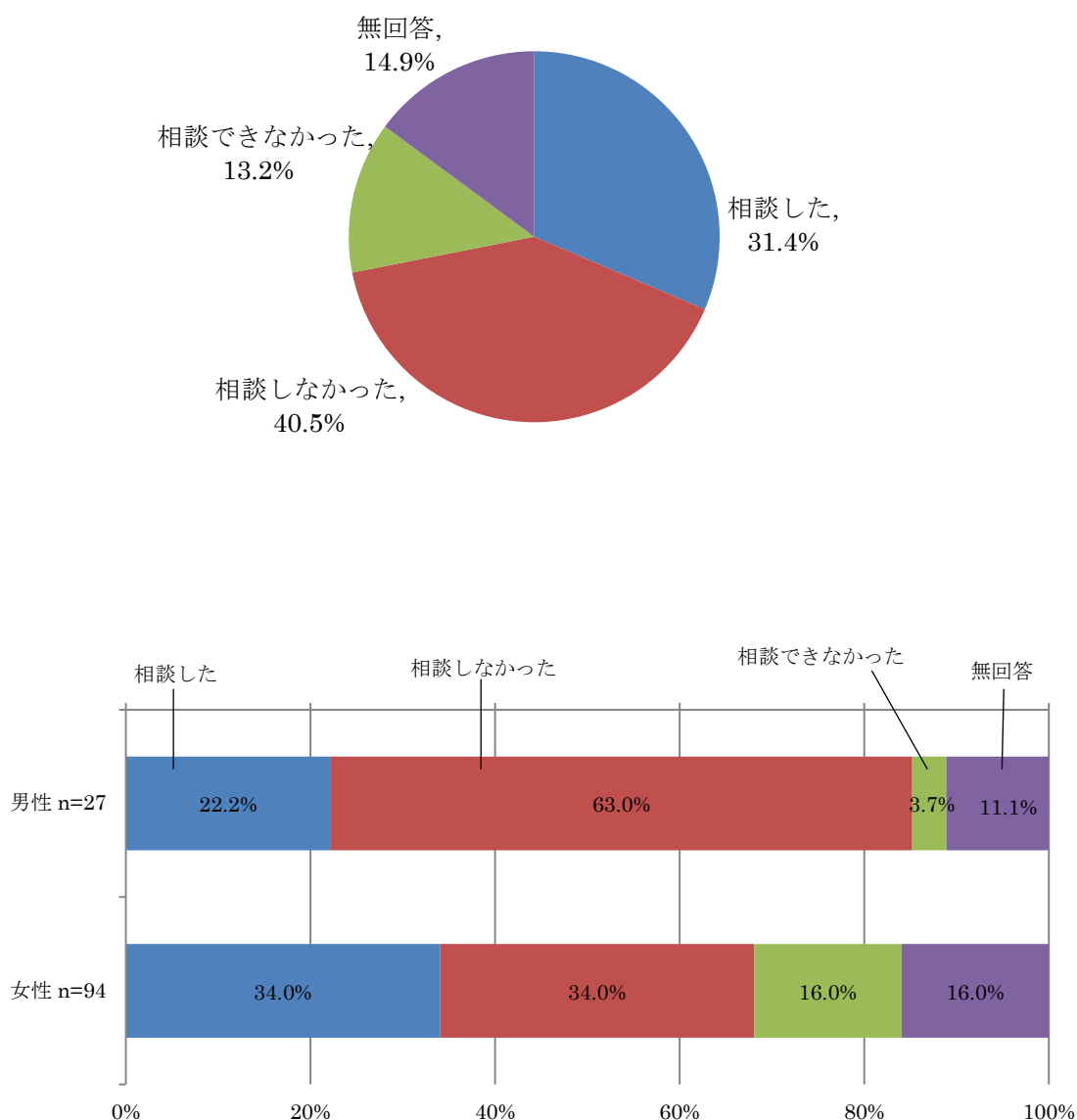
相談状況について、「相談しなかった」が 40.5%と最も高く、「相談した」(31.4%)、「相談できなかった」(13.2%)となっている。

【性 別】

「相談しなかった」と答えた男性の割合が女性よりも 29.0 ポイント高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「相談しなかった」が 6.7 ポイント減少している。



問 2 4 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談先

〔 問 23 で「1. 相談した」と答えた方にお聞きます 〕

誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【全 体】

相談先について、「友人・知人」が 63.2%と最も高く、次いで「家族」（47.4%）、「職場の上司、同僚など」（28.9%）の順となっている。

【性 別】

男性では「家族」が 100.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が 66.7%となっている。

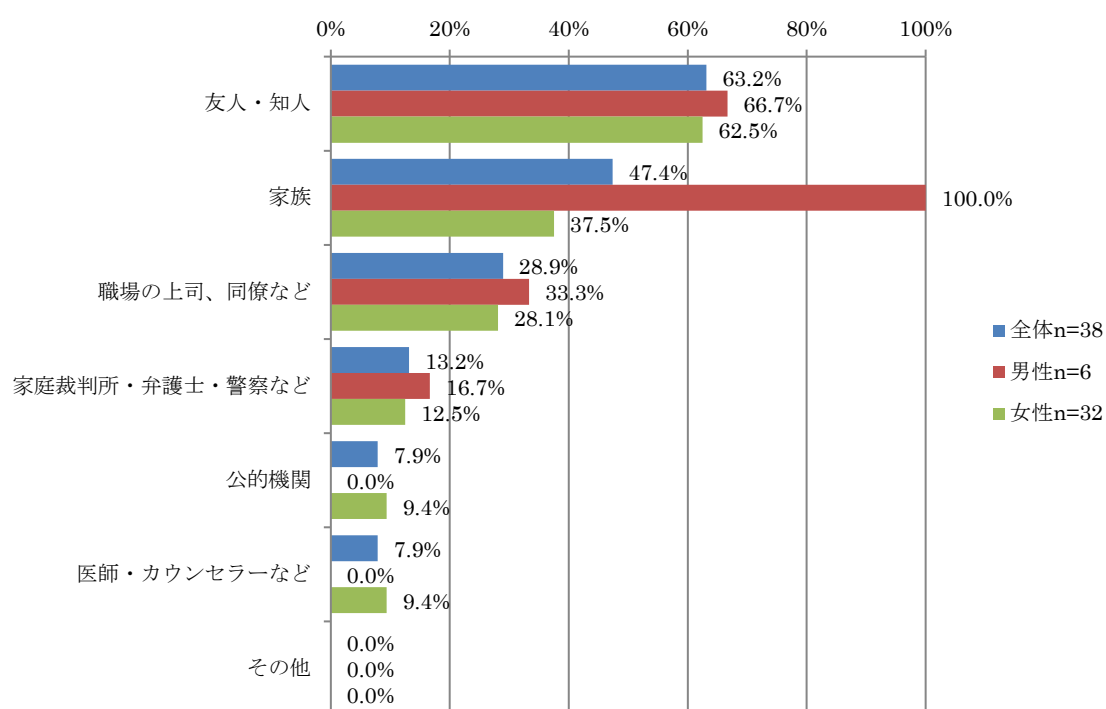
女性では、「友人・知人」が 62.5%と最も高く、次いで「家族」が 37.5%となっている。

男性で「公的機関（相談窓口・電話相談）」に相談した人はいないが、「家庭裁判所・弁護士・警察など」は男性の方が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「職場の上司、同僚など」が 13.2 ポイント減少し、「家庭裁判所・弁護士・警察など」が 10.0 ポイント増加している。

前回調査同様、「公的機関（相談窓口・電話相談）」「医師・カウンセラーなど」は低い割合にとどまっている。



問25 セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスを相談しなかった、できなかった理由

〔問23で「2. 相談しなかった」「3. 相談できなかった」と答えた方にお聞きします〕
相談しなかった、相談できなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【全 体】

「相談しても無駄だと思ったから」が46.2%と最も高く、次いで「相談するほどのことでもないと思ったから」(36.9%)、「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」(35.4%)の順となっている。

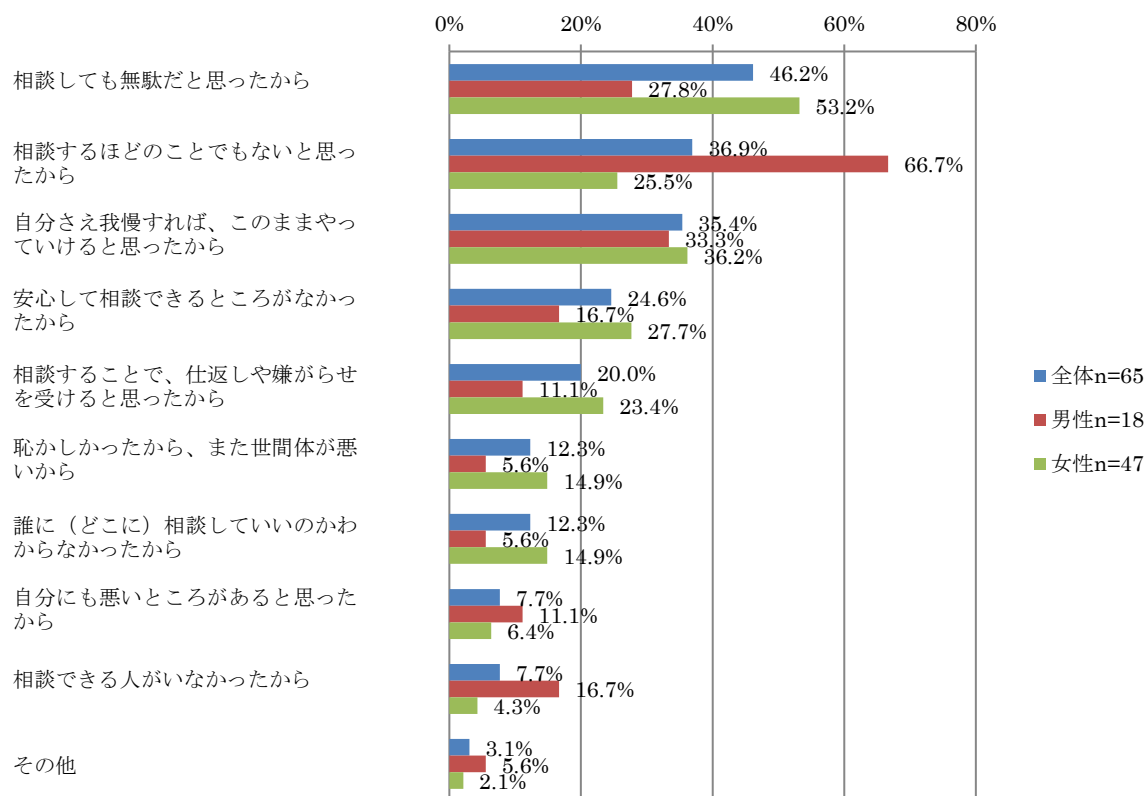
【性 別】

男性では「相談するほどのことでもないと思ったから」が66.7%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」が33.3%となっている。

女性では「相談しても無駄だと思ったから」が53.2%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」が36.2%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「自分にも悪いところがあると思ったから」が10.5ポイント減少し、「恥かしかったから、また世間体が悪いから」が5.8ポイント増加している。



V 男女共同参画社会に関する法制度等について

問 2 6 男女共同参画社会に関する法制度等の認知度

あなたは次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑫のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

【全 体】

男女共同参画社会に関する法制度等の認知度について、「内容まで知っている」「聞いたことがある」の計が、「ドメスティック・バイオレンス」で 98.3%と最も高く、次いで「L G B T・性的少数者」（88.0%）、「男女雇用機会均等法」（83.3%）の順となっている。

また、「内容まで知っている」では、「ドメスティック・バイオレンス」が 74.3%と最も高く、次いで「L G B T・性的少数者」（53.9%）、「ワーク・ライフ・バランス」（30.3%）の順となっている。

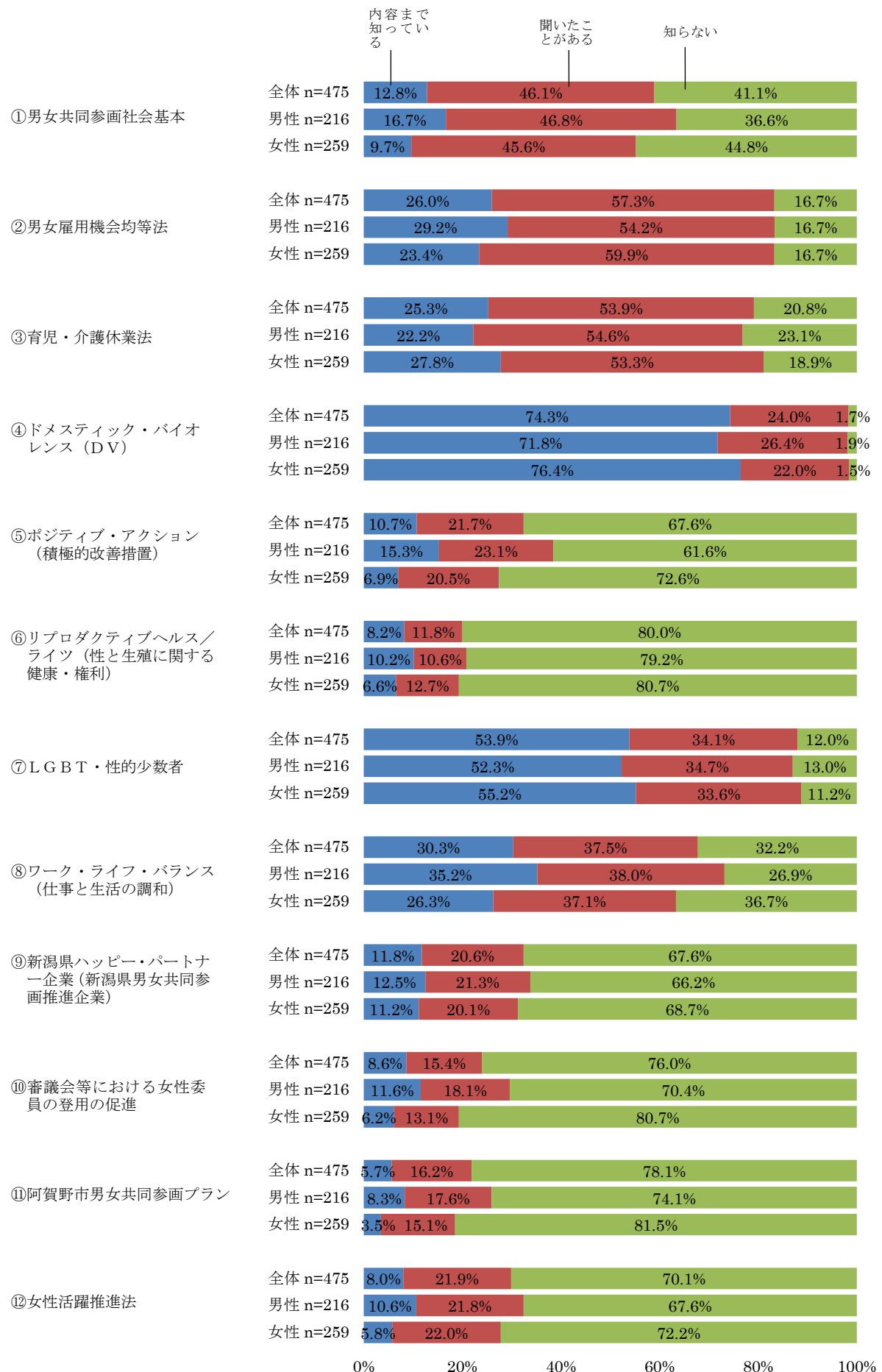
一方、「知らない」では、「リプロダクティブヘルス／ライツ」が 80.0%と最も高く、次いで「阿賀野市男女共同参画プラン」（78.1%）、「審議会等における女性委員の登用の促進」（76.0%）の順となっている。

【性 別】

「内容まで知っている」と答えた割合が、「ワーク・ライフ・バランス」で 8.9 ポイント、「ポジティブ・アクション」で 8.4 ポイント、男性の方が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「L G B T・性的少数者」を「内容まで知っている」と答えた割合が 31.8 ポイント増加している。



VI 阿賀野市での男女共同参画の推進について

問 2 7 男女共同参画の推進で市に期待すること

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つまで選んでください。

【全 体】

男女共同参画の推進で阿賀野市に期待することは、「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 56.0%と最も高く、次いで「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」(45.7%)、「保育、介護サービスの充実を図る」(34.5%)の順となっている。

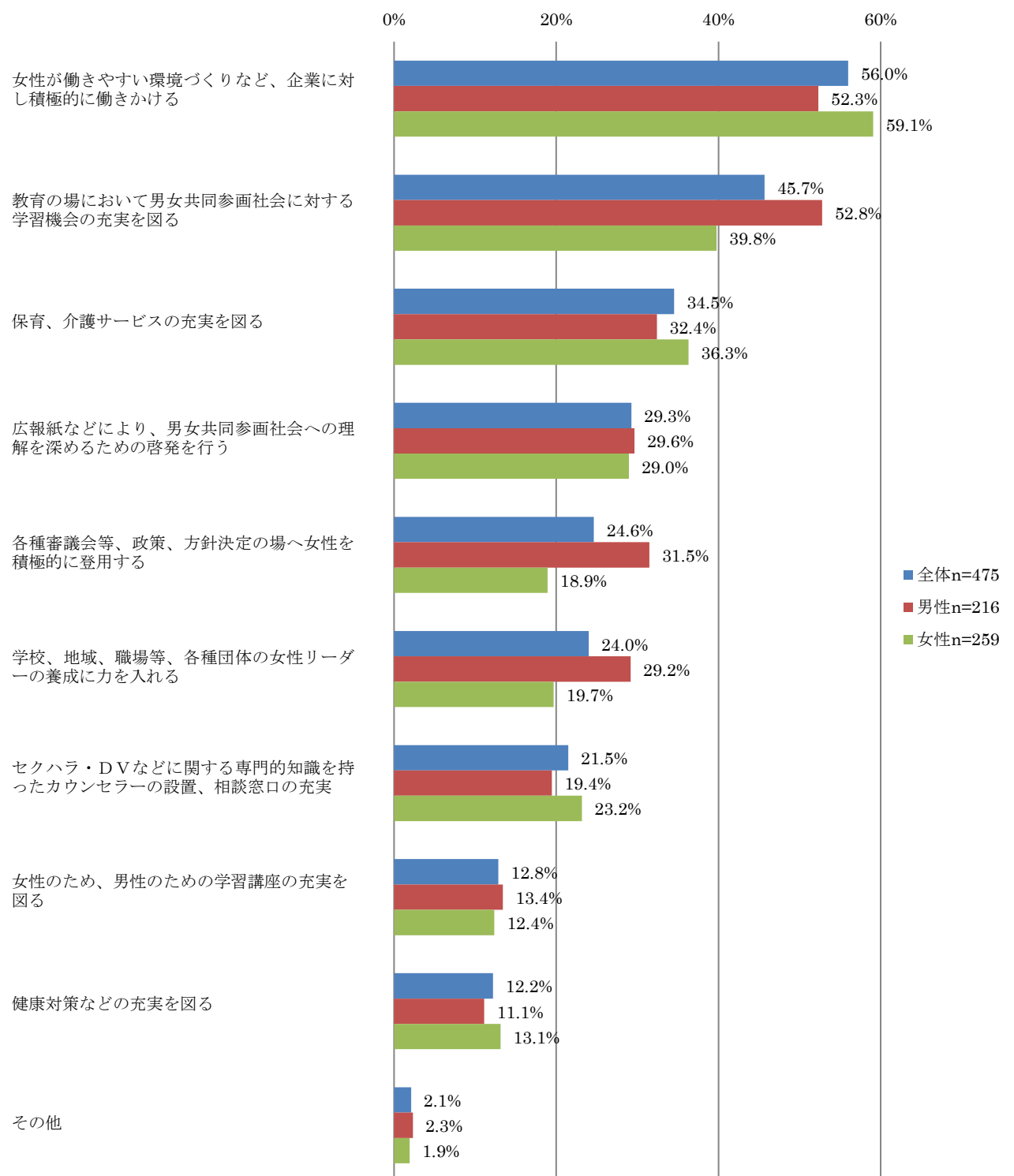
【性 別】

男性では「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」が 52.8%と最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 52.3%となっている。

女性では「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 59.1%と最も高く、次いで「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」が 39.8%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査の2位「保育、介護サービスの充実を図る」と、3位の「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」の順位が逆転している。



☆自由意見

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	現実には、均等法はない。企業の採用は男のみ。かけ離れた現実がある。
男性	60 歳以上	机上の空論とならないように、具体策を練り、推進してほしい。朱子学の考えから抜け出せない方が沢山いますよ。
女性	30 歳代	まだまだ男性優位の社会であると気付かされた。特に妊娠・出産は女性のみのものであるから、それらについての相互理解が進むと良いと思う。去年子どもを出産して、職場復帰に不安が残るのは、育休が長かったからだけではないと感じている。
女性	30 歳代	男女問わず、精神的にも肉体的にも追い詰められたら、突発的に自害する、される事が多いと思う。
男性	60 歳以上	男に向く仕事女子に向く仕事があると思う、それを理解した上で、男女共同参画が推進すると思う。
女性	50 歳代	国の政策を企業に義務付けるだけでは世の中の風土は変わらない。働く人すべて同一労働同一賃金の世の中であってほしい。若い人が中心の政治を希望します。
女性	40 歳代	男女平等というよりその時出来る人が出来る事をやれば良いと思います。その時に男なのにとか、女なのにとかが無くなればみんな過ごしやすくなる。
男性	40 歳代	回答しやすかったです。
男性	50 歳代	男女平等と言うか、女性優先もあれば男性優先もあると思います。男性優先が多いことが、問題だと思うのですが、女性が子供を産むのをやめたら、それが 1 番将来的に、ダメになると思うので、社会全体が、一に子供も産めることを優先にして、それから色々考えていかないといけないのかなと思いました。 女性が子供を産みたくなる、世の中になることを願ってます。
女性	60 歳以上	担当されてる方々、ありがとうございます。男性の家事・育児への参画が、女性を助けると思います。皆様の取組と提言を応援しています。
男性	50 歳代	結局、政治家、公務員が、一般人より優遇されてるうちは、無理かもね！一般庶民が、富んで、それから！役人が富む！そうでなければ、所詮人ごとになるでしょ！
男性	60 歳以上	考え方はわかるが、難しい。
女性	20 歳代	阿賀野市で育っていく子供が増えたらいいなと思います。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	40 歳代	男性、女性の意見が平等に言える場が増えれば良い発見が有る。
女性	60 歳以上	働き続けられる環境があれば諦める事がなくなるのではないかな。
女性	60 歳以上	この調査でどの程度の影響力があるのかわからない。
女性	40 歳代	この意識調査の結果が公表されるのはよいですが、それで終わり。なんてことにならない事を願います。同じ市内であっても、地域格差がとてもあると感じています。
女性	30 歳代	自分の身の周りで感じることは、共働き世帯が当たり前になっている。若い世代では、妻も夫もどちらも家事をして当然といった価値観に少しずつ変わりつつあるように思う。そういった中で、職場において、結婚したり子が生まれたりした男性に対して「より一層仕事に励めるね」などといった声かけは時代遅れだと感じる。これからはむしろ、家事や育児に励めるようより一層「ノー残業」を促す方がいいのではないだろうか。共働き世帯において家事育児の分担、協力体制の状況は、二人目三人目の子どもを考える上で重要な位置付けにあるように思う。少しずつ家庭内で価値観が良い方向に変化している中で、職場が足を引っ張ってはいけないと思う。
男性	50 歳代	質問が多い。
女性	50 歳代	様々な相談先がある事を知らなかった事を改めて理解しました。もしもっと若い頃知っていたら…と思うと、鬱になることもなく、今よりも明るく暮らせたのかなぁと思いました。色々な事があり過ぎて、知ろうともしなかった事も事実ですが、苦しかった当時は、とにかくネットを検索しまくりました。
男性	60 歳以上	参画意識を向上させる為のイベントを企画すれば良いかも。
女性	60 歳以上	道の駅あがのの活用の見直しなど地域の活性の重視で雇用改善になると思う。
女性	50 歳代	阿賀野市には今でも男尊女卑的なしきたりがあるようで残念に思う。
女性	40 歳代	今回の質問の多くは、本人がどう考えどう感じているのかが重要なのかなと思いました。全ては本人の感じ方なのかな。 同じ事が起きても、特に何も思わない方、過敏に感じる方、仕事をしたと思う方、家庭を重視したい方。それぞれです。基準を作ると言うより、それぞれの考え思いが尊重される社会になったらいいなと願います。それぞれの考えを尊重する教育が勧められたらいいなと思っています。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	調査の人数が 3 0 0 0 人は少ないと思います。せめて 1 万人位に調査されないと真相が掴めないと思います。
女性	50 歳代	新潟県は比較的に男尊女卑だと思う。
女性	30 歳代	男性育休制度の前に女性個人事業主向けの産休育休制度を調べてほしいです。 休業中は無収入になる為パートナーの収入に頼らざるを得ない状況になること、また働けない間の保障がほしいと考えても妊娠は病気ではないからとかけられる保険等もないことに不安や違和感を感じます。関係ない意見や感想になるかもしれないと申し訳ないですが、思いが届きましたら幸いです。
男性	40 歳代	女性が活躍するのは大歓迎だが、もっと男性と女性が平等になるように考えては？女性を盛り上げようとし過ぎて逆に女性が動きにくそう。
女性	30 歳代	男女共同参画を知っている前提でアンケートがある為、知らない人には分かりにくい。思ったより設問が多く途中で諦めそうになった。
男性	20 歳代	権力を使って女性を優遇したいようにしか思えない。
女性	40 歳代	小さい子がいる家庭、年寄りなど充実している環境ばかり言っているが、今現在子供が成長した家庭にも理解が欲しい。住みやすいと言うならもう少し、改善できる事があるのではないかな？
女性	50 歳代	『男女共同参画』の必要性に疑問。能力があれば男女人数関係ないと思いますが。事例として男性だけで企画して『阿賀野市の道の駅』みたいなつまらない場所ができたのでしょうか？そもそも企画段階で能力不足なのでは？
女性	40 歳代	女に家庭に入って欲しければもっと男が稼ぐべき。年収が低いなら進んでもっと家事をすべき。女と同じくらいの年収をもっと恥じるべき。
女性	60 歳以上	男女共同参画について考える余裕がなかったのでアンケートに参加して良かったと思った。
女性	30 歳代	知らない制度があることを知るきっかけになり、有意義なアンケートだと思いました。紙ではなく、QR から答えられるのは手軽でいいと思いました。阿賀野市は保証も充実している感覚があり、大変助かっております。いつもありがとうございます。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30 歳代	私は女性なので、女性が社会で働きやすい仕組みが出来ていく事はとても嬉しく今後も期待しています。しかし、あくまでも性別とは人を分類?区別した呼び方であり、『男性にとって』『女性にとって』という視点が強くなってしまわず、『人として』という視点で作られた社会で十分全ての人が満たされていく環境が出来ていく事が望ましいと思っています。
男性	50 歳代	男女ではなく、優秀な人なら男女関係なく働ける、わざわざ女性推進とかはいらない、それこそ男女平等ではない。
男性	50 歳代	田舎の農家は男社会。親世代は特にひどい。
女性	50 歳代	web アンケートは賛成です。ので、5G 開線早急にお願いします。五泉市より遅いとかあり得ない。
男性	40 歳代	設問において地位の平等という表現が出てきますが、結果としての平等なのか機会としての平等なのかで回答が異なります。
男性	50 歳代	自営業の為あまり職場や学校の組織への関心がない為、過去に携わった経験で選びました。
女性	20 歳代	男女平等にしたいと言いながら、行政は私たち市民にわかるように行動していないと感じる。若い人から年配の方まで、しっかりと伝わるように広告しなければ、一部でやったところで意味がないと思う。大勢の方に伝わるような宣伝方法をもっと考えていただきたい。
男性	20 歳代	このような形であれば若い人でも協力できるからいいなと思いました。
女性	60 歳以上	市役所では女性も多く勤務しているが、女性の市会議員が少ないのは、バランスが悪いと思う。
女性	50 歳代	質問の内容や選択がいまいち分かりづらい。
男性	60 歳以上	全ての質問で男女差別がある事を前提なのに有るか無いかを問われても分からないとの回答にせざるを得ない。お茶汲みを例としている時点で、ん?となる。有ると思うか?ではなく、無くすにはの質問で良いのでは?
男性	60 歳以上	アンケートの内容として、項目が多すぎます。
男性	60 歳以上	男女の違いは当然有ると思いますが、その職種によって差別（区別）が必要で有るのは当然だと思います。けれど男女平等に競い合うのと、全てバランスが大切だと思います。 全てを同一基準で決める事に無理が有ると思います。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	20 歳代	世の中の的にはまだまだ子育てしにくいです。協議の場に若手や子育て世代、現に子育て中の方なども参加でき、現場の声がもっと届くと嬉しいです。子育てを終えた高齢の方達の話し合いだけでは、育てやすい世の中にはなりません。
女性	30 歳代	子供を夜遅くまで保育園、学童に預けるのにためらいがあります。また具合が悪くなったときのために、休みやすいようパートタイムでの仕事を選んでいきます。なので、フルタイムの人と仕事で差があるのは仕方のないことと思っています。何でも男女平等って言うわけにはいかないのが家の中の役割分担のような感じで仕事量をセーブしています。
女性	40 歳代	設問 26 は、わからない言葉が多かった。業種によっては、体力的に男性でなくては出来ないものもあるから、答えにくいものもある。
男性	30 歳代	子育てによる一時金の評価や、昇給の遅れなどが無い、真に子育てしやすい社会になって欲しいです。
男性	30 歳代	設問 10 等、「男性は」、「女性は」で質問されると「男性も」、「女性も」と考えているので設問の答えに当てはまるものが無いように感じます。片方のみなのか両方なのかという設問もあると良いと思います。
女性	50 歳代	質問が多すぎる。わかりにくい。何か役に立つのか？かなり疑問
男性	50 歳代	アンケートに基づいて方針を進めてほしい。
男性	50 歳代	遅くなりすみませんでした。 最後まで安心して暮らせる町をみんなで築いて支え合っているといいですね。お疲れ様でした。

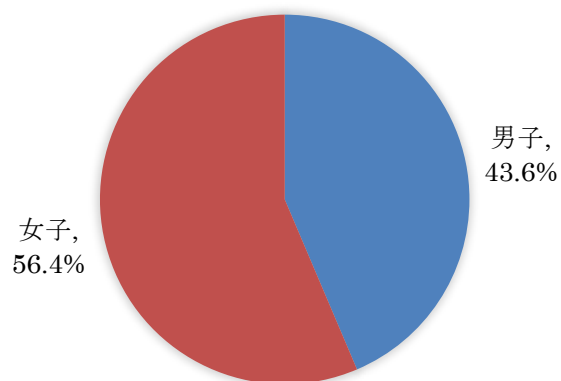
第3章 児童・生徒意識調査

I 回答者の属性

(1) 性別

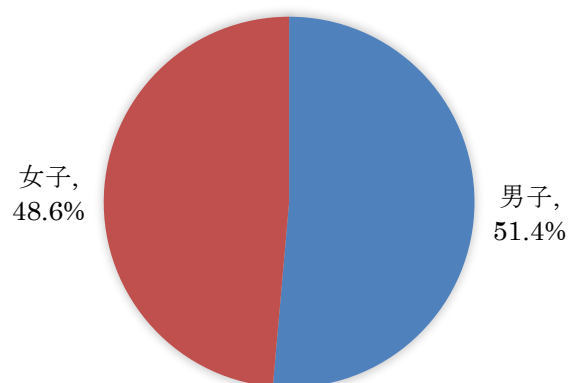
【小学生】

	人数	割合
男子	137 人	43.6%
女子	177 人	56.4%
全体	314 人	100.0%



【中学生】

	人数	割合
男子	131 人	51.4%
女子	124 人	48.6%
全体	255 人	100.0%



Ⅱ 性別役割意識に対する大人の影響について

問2 「男だから、女だから」と言われた経験

あなたは今までに、「男なんだから〇〇しなさい」「女なんだから〇〇しちゃだめ」と言われたことがありますか。1つ選んでください。

【小学生◆全体】

「よく言われる」と「時々言われる」を合わせた割合(以下「言われる(計)」と記す)が25.2%、「言われたことがない」が58.0%となっている。

【小学生◆男女別】

「言われる(計)」という男子が21.2%、女子が28.3%であり、女子の方が男子より7.1ポイント高くなっている。

【中学生◇全体】

「言われる(計)」が28.6%、「言われたことがない」が38.0%となっている。

【中学生◇男女別】

「言われる(計)」という男子が19.8%、女子が37.9%であり、女子の方が男子より18.1ポイント高くなっている。

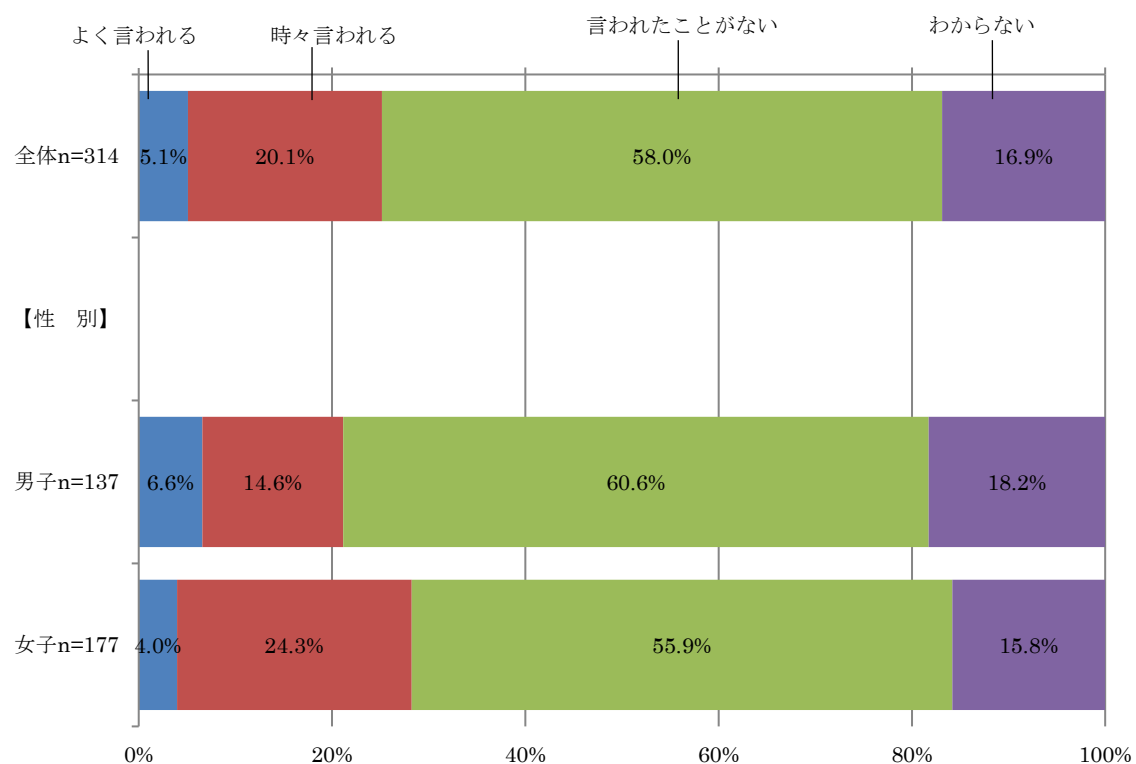
【小学生・中学生の比較】

「言われる(計)」は、中学生の方が小学生より3.4ポイント高くなっている。

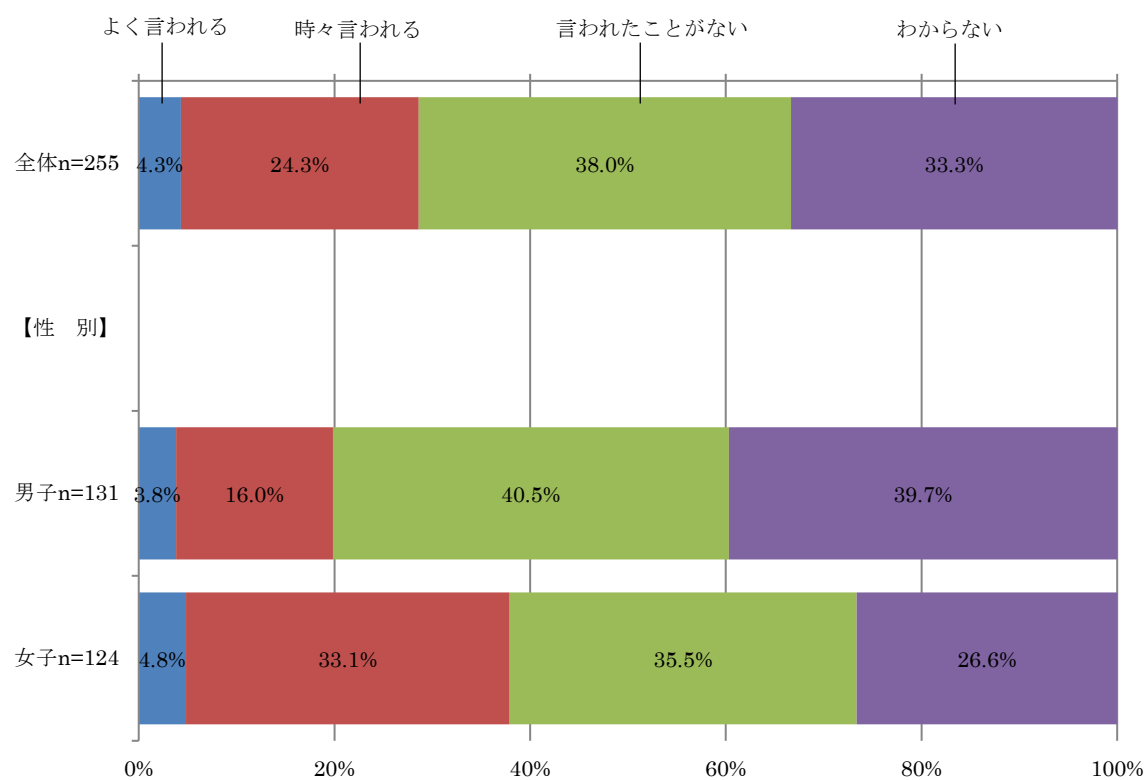
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、小学生は「言われる(計)」が12.1ポイント減少し、中学生は30.1ポイント減少している。

【小学生】



【中学生】



問3 「男だから、女だから」と言われる内容

〔問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕
それはどんな時に言われましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【小学生◆全体】

「ことばづかい」が38.0%と最も高く、次に「すわり方」(29.1%)となっている。

【小学生◆男女別】

男子では「泣いたとき」が41.4%と最も高く、次に「その他」(24.1%)、「ことばづかい」(20.7%)の順となっている。

女子では「ことばづかい」が48.0%と最も高く、次に「すわり方」(44.0%)、「整理整頓」(36.0%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「性格」「力仕事するとき」「荷物を持たないとき」などという回答があり、女子では「ゲームの内容」「体型」などという回答があった。

【中学生◇全体】

「ことばづかい」が46.6%と最も高く、次に「すわり方」(45.2%)となっている。

【中学生◇男女別】

男子では「泣いたとき」が38.5%と最も高く、次に「お手伝い」(30.8%)、「その他」(26.9%)の順となっている。

女子では「すわり方」が63.8%と最も高く、次に「ことばづかい」(59.6%)、「服装、身だしなみ」(36.2%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「背の大きさ」「趣味」「遊んでいるとき」「部活」などという回答があり、女子では「字の書き方」「食べ物に関して」という回答があった。

【小学生・中学生の比較】

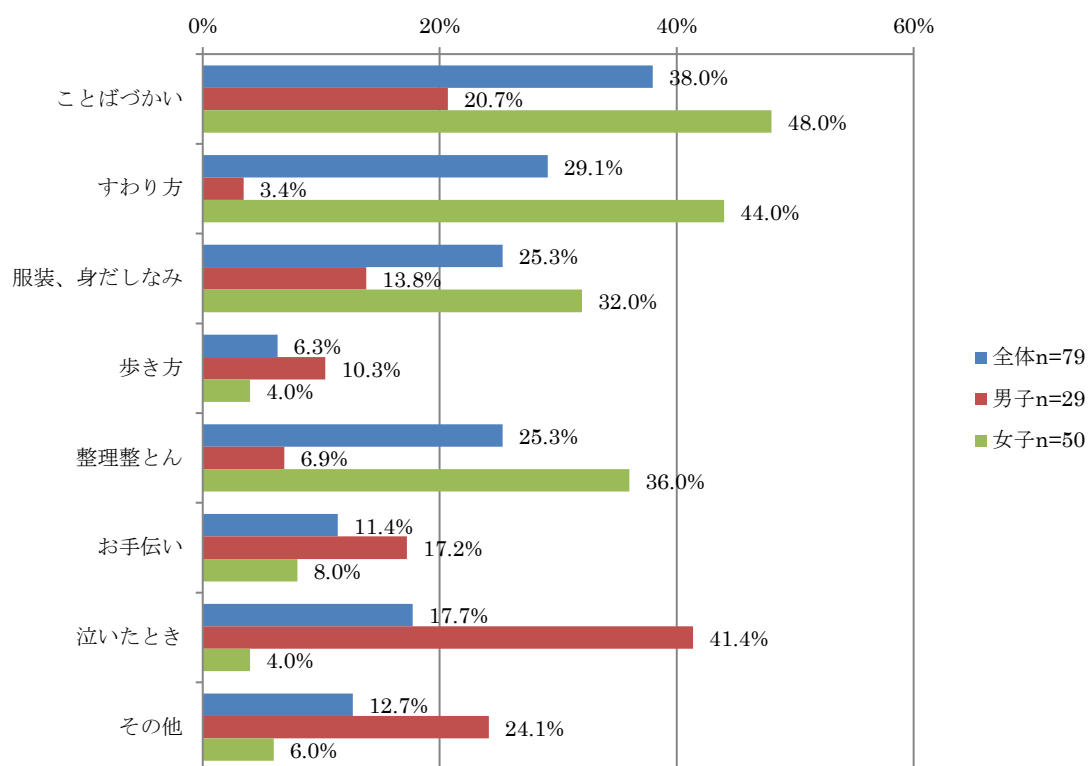
順位は異なるが、女子では小学生、中学生ともに「ことばづかい」「すわり方」が1位、2位となっている。

男子では「泣いたとき」が小学生、中学生ともに1位であり、中学生になると「お手伝い」の割合が高くなる。

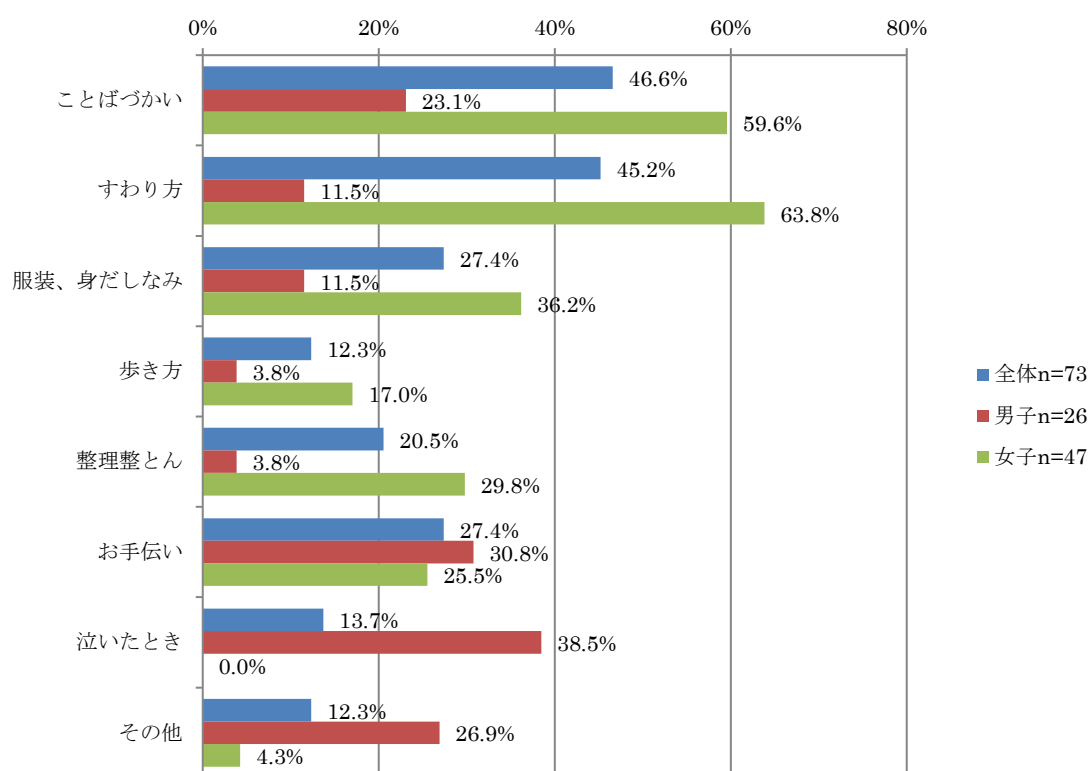
【前回調査との比較】

前回、中学生男子で2位だった「泣いたとき」が16.7ポイント増加し、今回1位となった。

【小学生】



【中学生】



問4 「男だから、女だから」と言われる相手

〔問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕

あなたは、誰からそう言われましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【小学生◆全体】

「母」が69.6%と最も高く、次に「父」「祖母」(25.3%)の順となっている。

【小学生◆男女別】

男子では「母」「父」(37.9%)、「祖父」「兄弟や姉妹」(20.7%)の順となっている。

女子では「母」(88.0%)、「祖母」(34.0%)、「父」(18.0%)の順となっている。

【中学生◇全体】

「母」が67.1%と最も高く、次に「祖母」(42.5%)、「父」(27.4%)の順となっている。

【中学生◇男女別】

男子では「母」(61.5%)、「父」(42.3%)、「祖母」(34.6%)の順となっている。

女子では「母」(70.2%)、「祖母」(46.8%)、「父」(19.1%)の順となっている。

【小学生・中学生の比較】

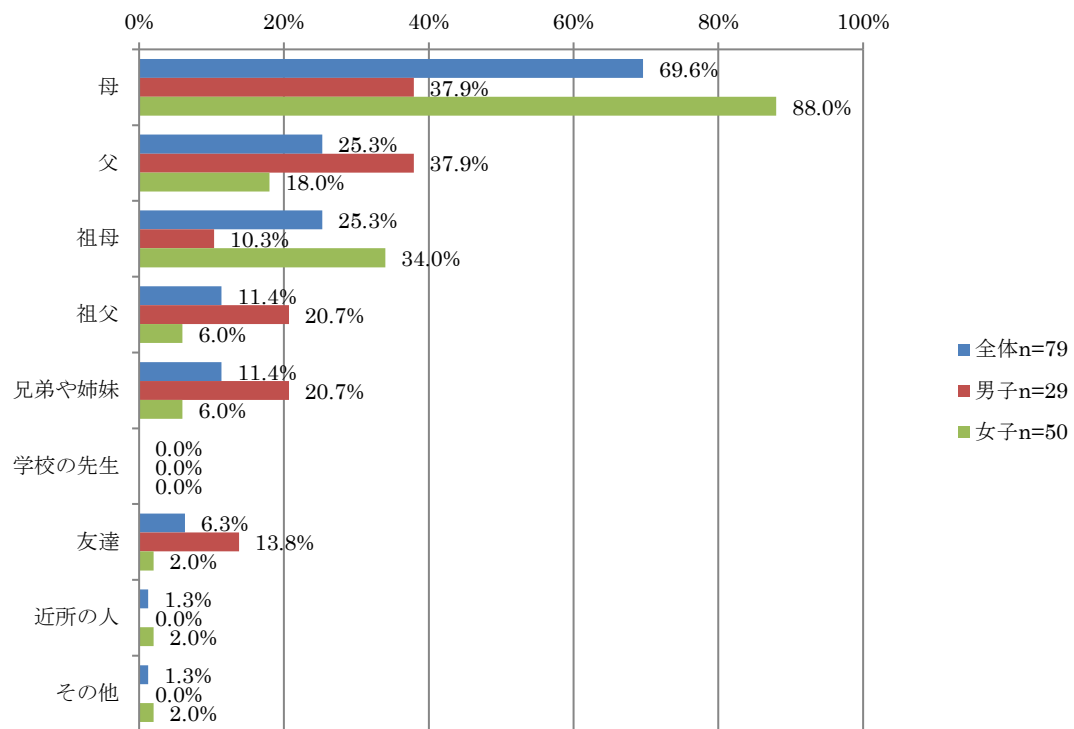
小学生男子は「祖父」の割合が高いが、中学生男子は「祖母」の割合が高くなっている。
女子は、小学生、中学生の1位から3位までが一致している。

【前回調査との比較】

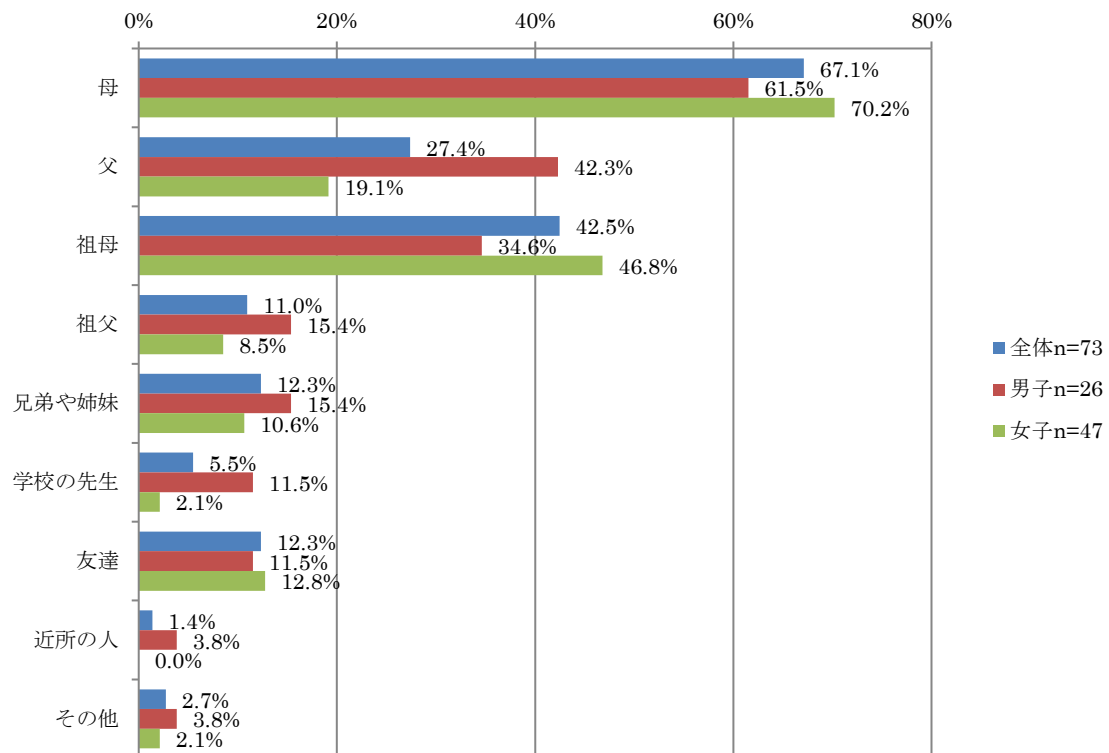
前回調査において、男子は小学生、中学生ともに「母」「父」「友達」の順であったが、今回調査では「友達」の割合が大きく減少している。

女子は小学生、中学生ともに1位から3位まで前回と同じである。

【小学生】



【中学生】



問5 「男だから、女だから」と言われた影響

〔問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕

あなたは、その時どんな気持ちがありましたか。次の中からその時の気持ちを1つ選んでください。

【小学生◆全体】

「いやな気持ちでした」が38.0%と最も高く、次に「何とも思わなかった」(29.1%)、「そのとおりだと思った」(26.6%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「しょうがないと思った」という回答があり、女子では「なぜ?と思った」「へー、と思った」という回答があった。

【小学生◆男女別】

男子では、「いやな気持ちでした」が37.9%と最も高く、次に「そのとおりだと思った」(31.0%)、「何とも思わなかった」(20.7%)の順となっている。

女子では、「いやな気持ちでした」が38.0%と最も高く、次に「何とも思わなかった」(34.0%)、「そのとおりだと思った」(24.0%)の順となっている。

「そのとおりだと思った」では、男子の方が女子よりも7.0ポイント高く、「何とも思わなかった」では、女子の方が男子よりも13.3ポイント高かった。

【中学生◇全体】

「何とも思わなかった」が38.4%と最も高く、次に「いやな気持ちでした」(35.6%)、「そのとおりだと思った」(12.3%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「腹が立った」という回答があり、女子では「うるさいと思った」「ちょっともやっとした」「へー、と思った」などという回答があった。

【中学生◇男女別】

男子では、「何とも思わなかった」「いやな気持ちでした」が38.5%と最も高く、次に「そのとおりだと思った」(11.5%)となっている。

女子では、「何とも思わなかった」が38.3%と最も高く、次に「いやな気持ちでした」(34.0%)、「そのとおりだと思った」(12.8%)の順となっている。

【小学生・中学生の比較】

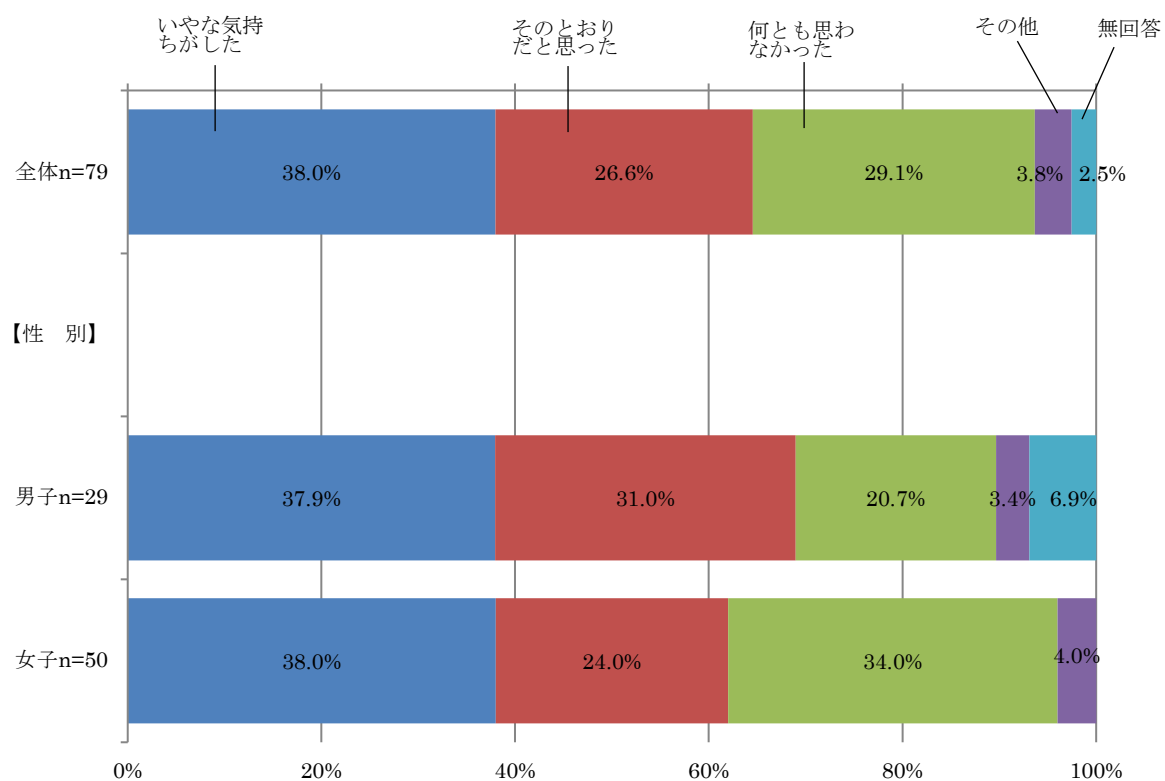
男子は、「そのとおりだと思った」の割合が、小学生の方が中学生よりも19.5ポイント高かった。

女子では、小学生、中学生の順位は同じである。

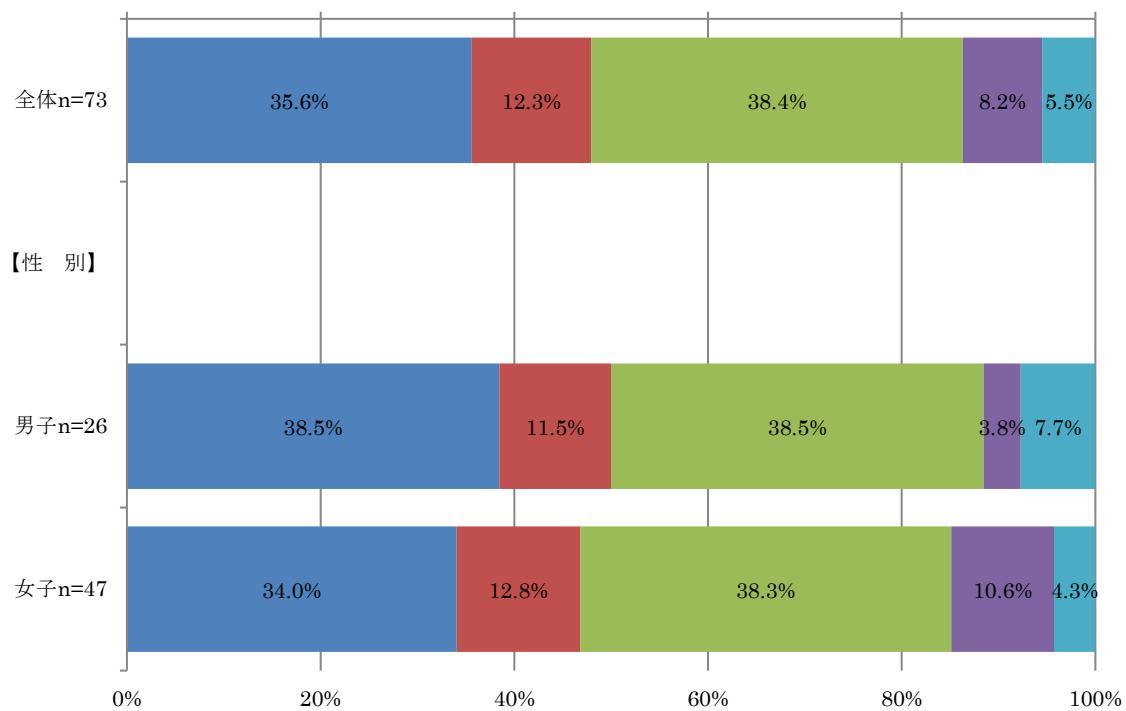
【前回調査との比較】

前回調査と比較して、全体で小学生の「いやな気持ちでした」が22.1ポイント増加した。

【小学生】



【中学生】



Ⅲ 家庭における男女の役割分担について

問6 家庭における男女の役割分担

あなたは、次のような身の回りのことを誰がした方がいいと思いますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から1つずつ選んでください。

【小学生◆全体】

「大工仕事」は「男の人がした方がいい」の割合が高くなっているが、それ以外は「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっている。

【小学生◆男女別】

全ての項目で女子の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が男子より高くなっている。

【中学生◇全体】

「大工仕事」は「男の人がした方がいい」の割合が高くなっているが、それ以外は「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっている。

【中学生◇男女別】

全ての項目で女子の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が男子より高い。

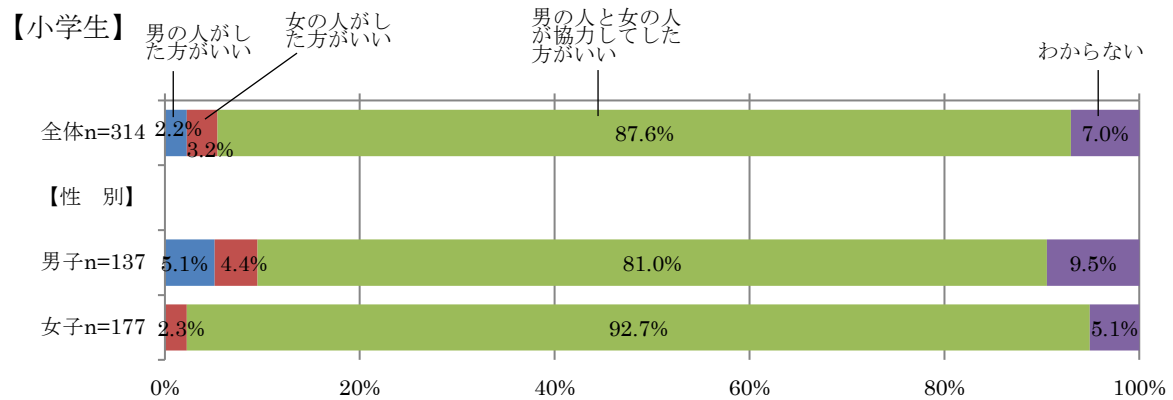
【小学生・中学生の比較】

小学生、中学生とも「大工仕事」以外の項目では「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっているが、小学生よりも中学生の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が高い。

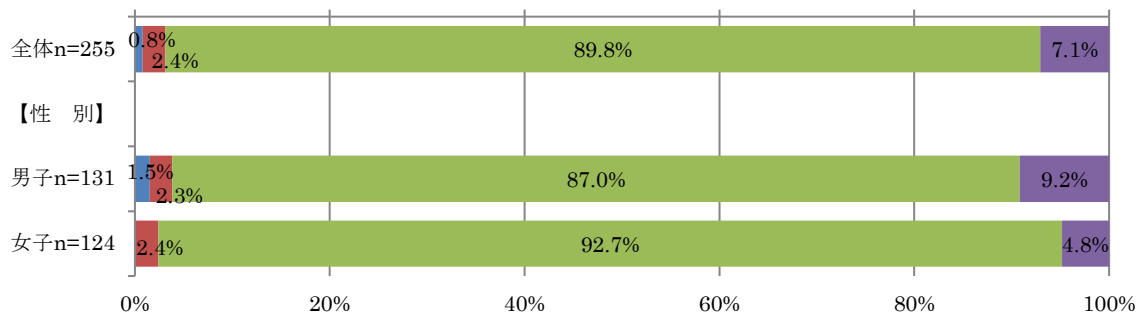
【前回調査との比較】

前回調査では、小学生、中学生ともに「電球や蛍光灯の交換」は「男の人がした方がいい」の割合が高くなっていたが、今回は「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっている。

①食事のしたくや後かたづけ

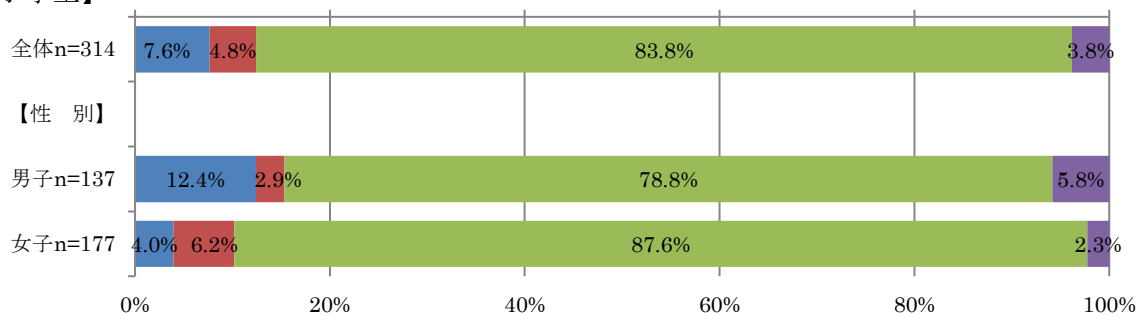


【中学生】

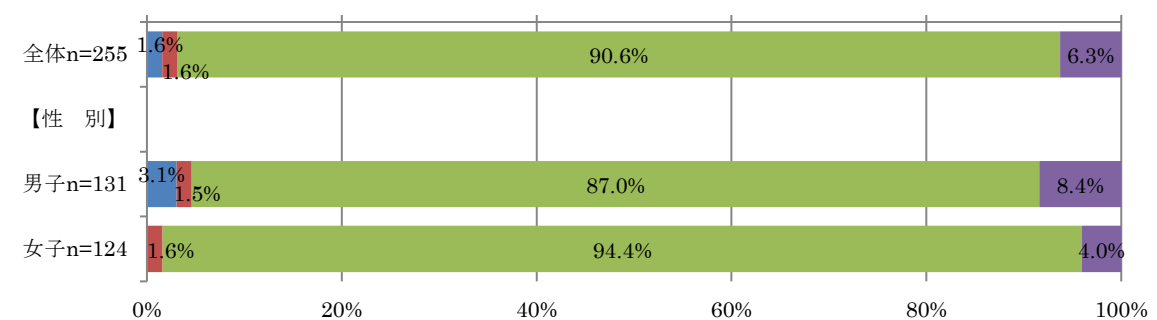


②そうじ

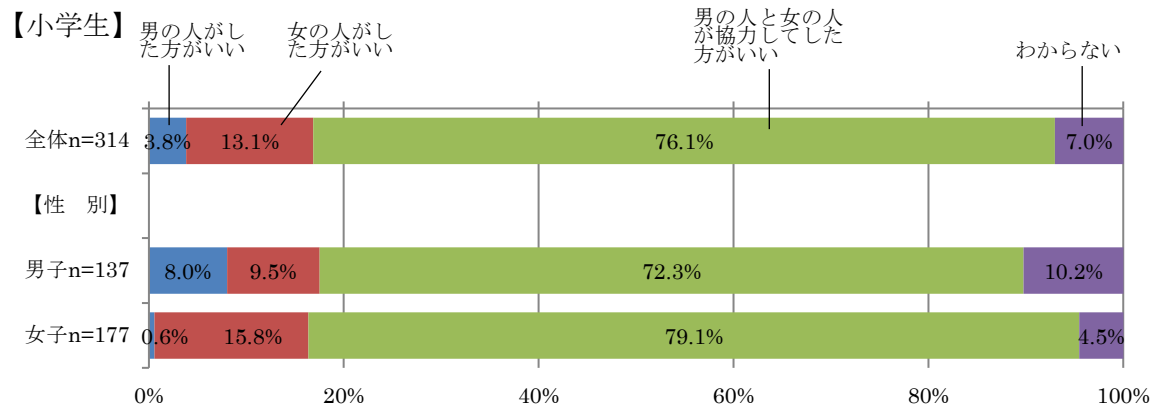
【小学生】



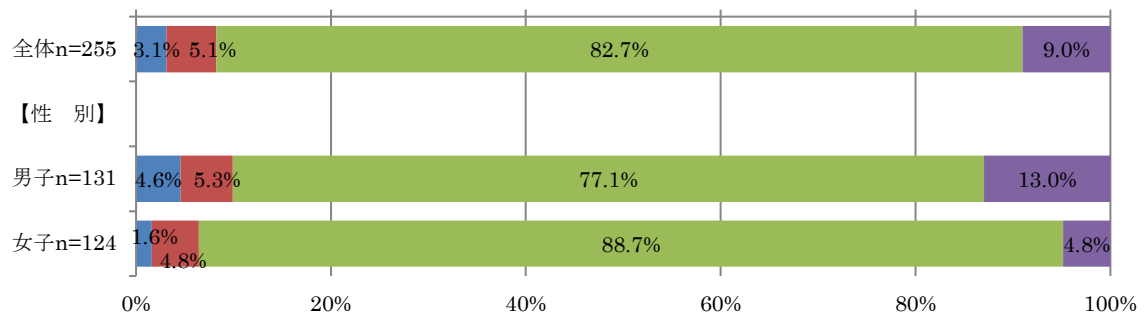
【中学生】



③洗たく

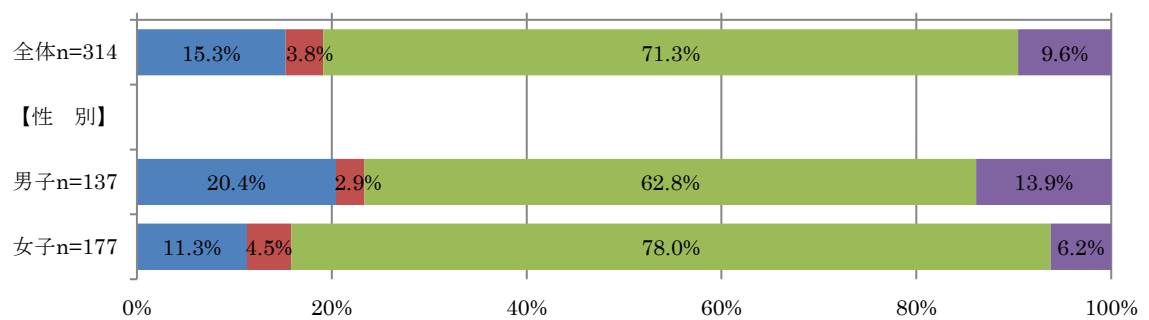


【中学生】

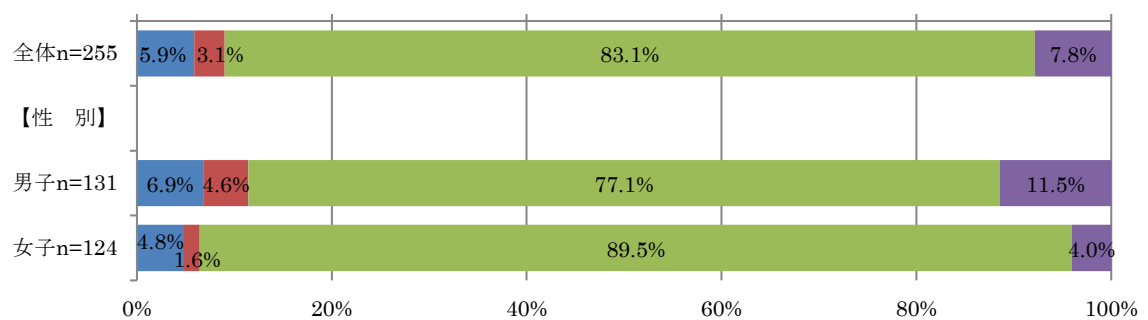


④風呂そうじ

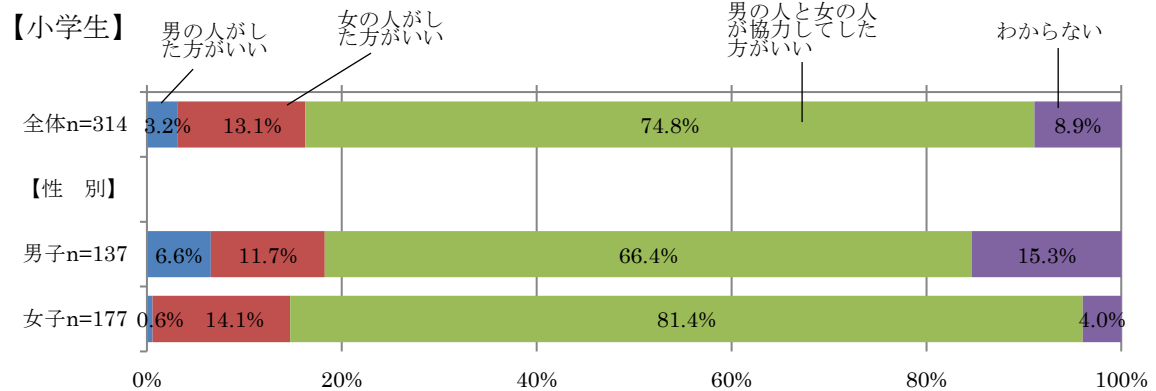
【小学生】



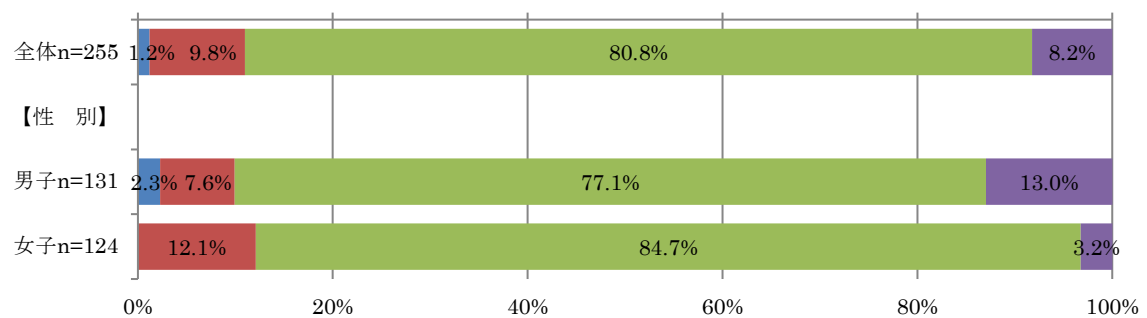
【中学生】



⑤食事の買い物

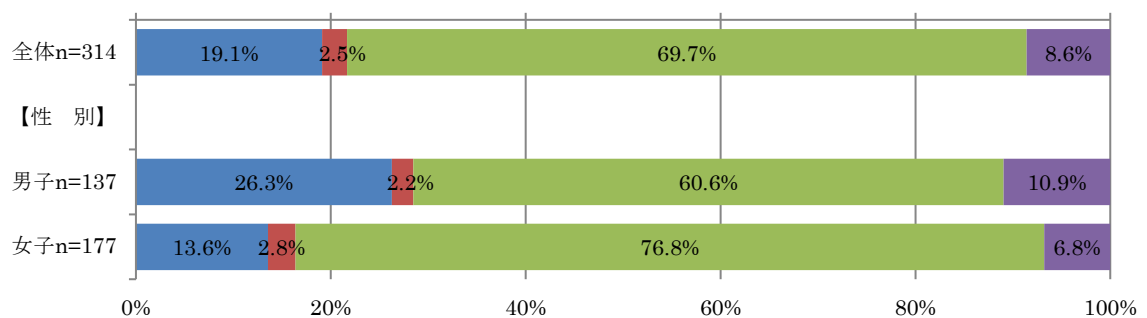


【中学生】

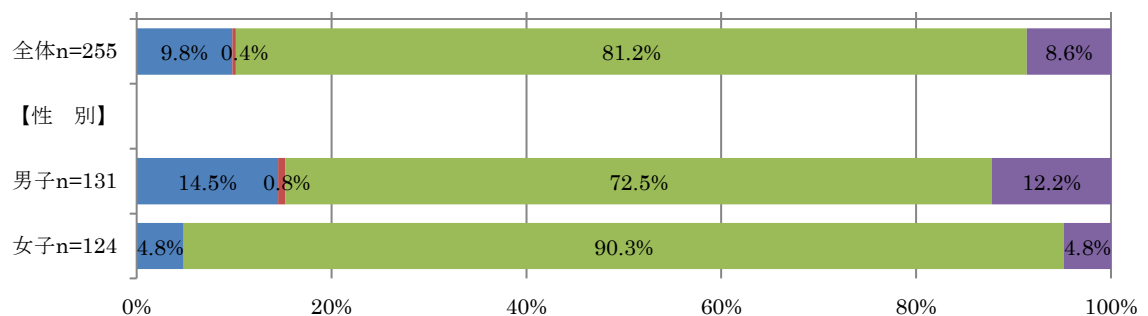


⑥ごみ出し

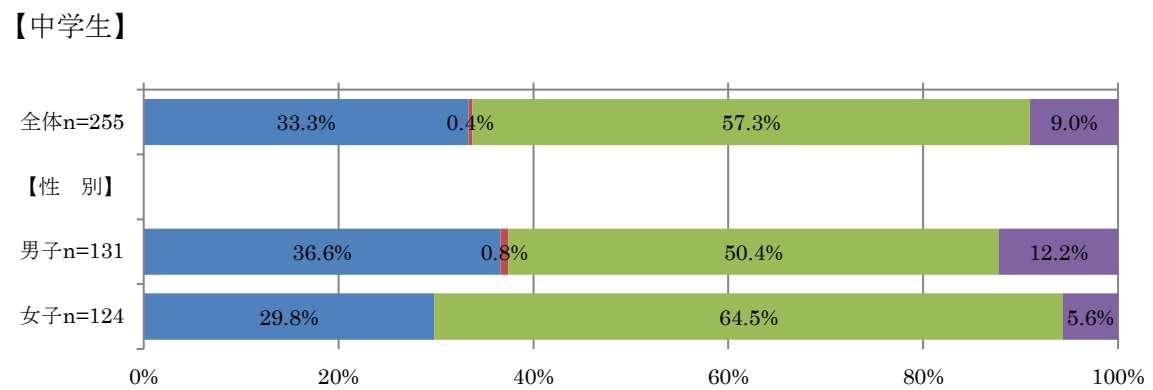
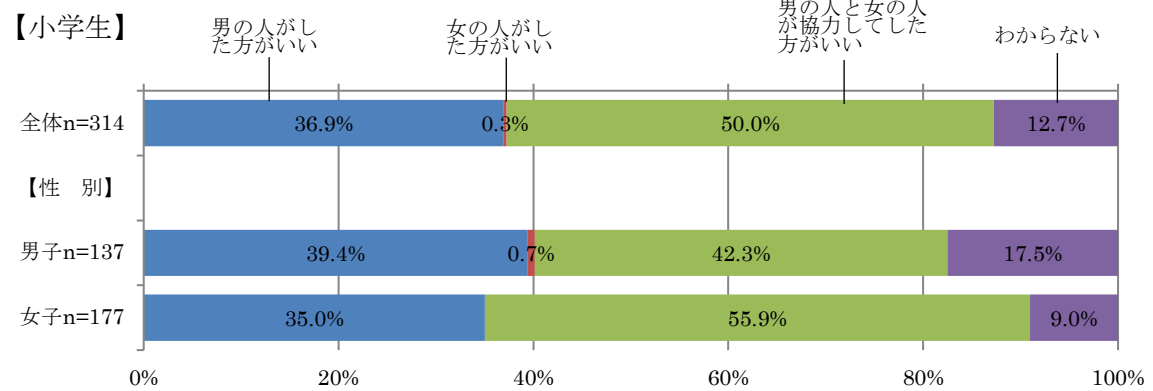
【小学生】



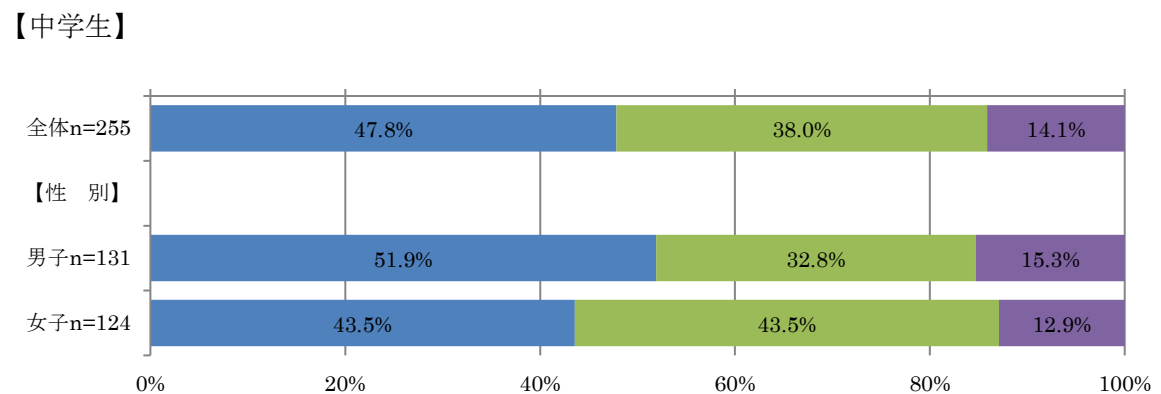
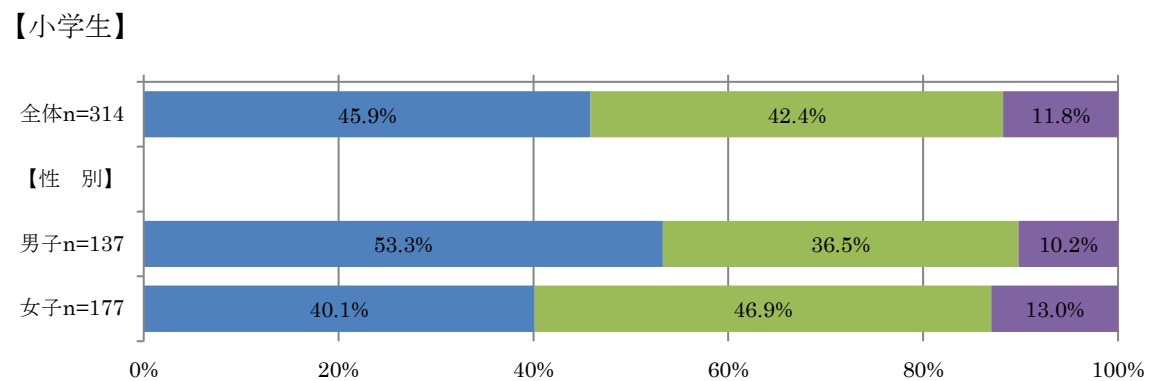
【中学生】



⑦電球や蛍光灯の交換



⑧大工仕事



Ⅳ 男女の平等感について

問7 男性に生まれたことについて

〔男の子にお聞きします〕

あなたは毎日の生活の中で、「女子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。

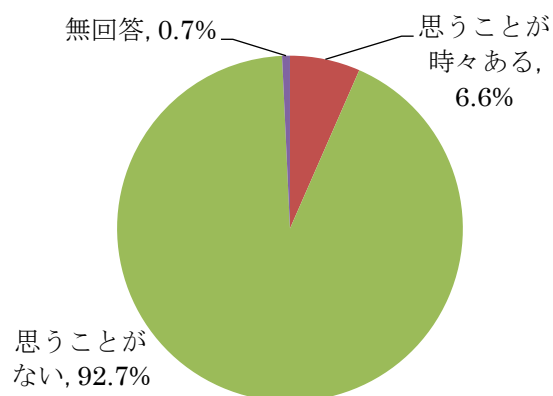
【小学生・中学生の男子】

「思うことがない」という回答につき、小学生は9割を超えているが、中学生は8割強にとどまっている。

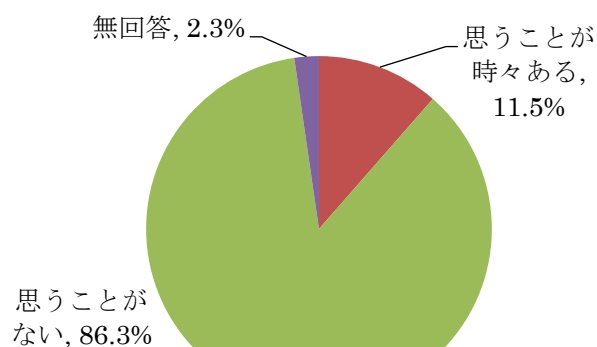
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、小学生は数値の大きな変化は見られないが、中学生は「思うことがよくある」「思うことが時々ある」の合計が4.9ポイント減少しており、「思うことがない」が4.5ポイント増加している。

【小学生】



【中学生】



【「思うことが時々ある」理由】

「どんな時にそう思いますか？」という問いへの記述

○小学生

持久走や体力テストなどのとき女子の方が平均が低いから、持久走やマラソンで男子だけ距離が長く平等になっていないから、可愛い女の子の服を着てみたいから、など

○中学生

日常、女の子のお友達ができるとき、髪の毛が長くていいなと思う、体力テスト、女子の団結力、プロポーズしなくていいから、など

問8 女性に生まれたことについて

〔女の子にお聞きします〕

あなたは毎日の生活の中で、「男子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。

【小学生・中学生の女子】

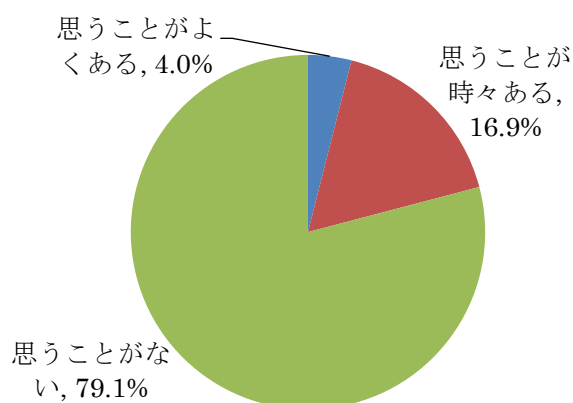
小学生、中学生ともに「思うことがない」の割合が最も高く、次に「思うことが時々ある」の順となっている。

「思うことがよくある」「思うことが時々ある」の合計は中学生の方が小学生より14.6ポイント高くなっている。年齢が上がることにより、性差を意識し、自らの性別を否定的にとらえる傾向がうかがえる。

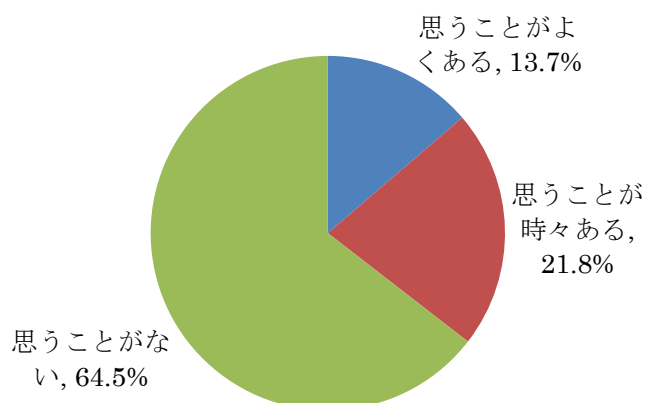
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、中学生では、「思うことがない」が14.8ポイント増加している。

【小学生】



【中学生】



【「思うことがよくある」「思うことが時々ある」理由】

「どんな時にそう思いますか？」という問いへの記述

○小学生

あまり男子は服装や髪の色を気にしないから、髪が短いから洗やすい（乾かしやすい）、トイレが楽で速いから、生理になったとき、虫が得意なとき、人間関係が面倒ではないから、体育のときにすごく楽しんでいるから、サッカーやバスケ等がたくさんできるから、力仕事、男の子と遊ぶとき など

○中学生

入学式や卒業式の座り方、生理があるとき（なったとき）、友達関係、喧嘩の仲直りが早い、髪型をあまり気にしていないとき、服装、女子の面倒な関係がないこと、ふとしたときに男に生まれたかったと思うことがある、身長がもっと欲しいとき、体育のときに男子は賑やかだから、筋肉がつきやすい、など

V 将来について

問9 将来の職業

次の中から、将来やってみたい職業を1つ選んでください。

【小学生】

順位	男子		順位	女子	
1	スポーツ選手	24.8%	1	お店をもつ	9.6%
2	お店をもつ	10.9%	2	美容師、理容師	9.0%
3	建築士、設計士	6.6%	2	スポーツ選手	9.0%
4	調理師、コックなど料理を作る人	5.8%	2	食べ物屋さん	9.0%
5	会社員	4.4%	5	画家、デザイナーなどの芸術家	6.2%
5	コンピュータ関係の仕事	4.4%	5	看護師	6.2%
7	消防士、救急隊、レスキュー隊	2.9%	7	保育園、幼稚園の先生	5.6%
7	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	2.9%	8	調理師、コックなど料理を作る人	4.0%
9	画家、デザイナーなどの芸術家	2.2%	9	歌手、タレントなどの芸能人	3.4%
9	自衛官	2.2%	9	医師	3.4%
9	獣医	2.2%	11	獣医	2.8%
12	医師	1.5%	12	公務員	2.3%
12	歌手、タレントなどの芸能人	1.5%	12	学校の先生	2.3%
12	公務員	1.5%	14	会社員	1.7%
12	食べ物屋さん	1.5%	14	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.7%
12	政治家	1.5%	16	農業、林業、漁業をする人	1.1%
12	自動車、電車の運転手	1.5%	16	コンピュータ関係の仕事	1.1%
18	警察官	0.7%	16	薬剤師	1.1%
18	薬剤師	0.7%	16	警察官	1.1%
18	農業、林業、漁業をする人	0.7%	16	新聞・雑誌・テレビ記者	1.1%
18	自動車、機械などのエンジニア	0.7%	21	建築士、設計士	0.6%
18	学者、研究者	0.7%	21	福祉施設で働く人	0.6%
18	パイロット	0.7%	21	通訳、翻訳家	0.6%
18	弁護士、検察官、裁判官など	0.7%	24	自動車、電車の運転手	0.0%
18	看護師	0.7%	24	アナウンサー	0.0%
25	アナウンサー	0.0%	24	政治家	0.0%
25	通訳、翻訳家	0.0%	24	銀行員・金融関係	0.0%

25	評論家	0.0%	24	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
25	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	24	自衛官	0.0%
25	学校の先生	0.0%	24	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
25	銀行員・金融関係	0.0%	24	学者、研究者	0.0%
25	保育園、幼稚園の先生	0.0%	24	パイロット	0.0%
25	福祉施設で働く人	0.0%	24	キャビンアテンダント	0.0%
25	美容師、理容師	0.0%	24	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%
25	キャビンアテンダント	0.0%	24	評論家	0.0%
*	その他	4.4%	*	その他	13.6%
*	なりたい仕事がない	6.6%	*	なりたい仕事がない	1.1%
*	わからない	5.1%	*	わからない	1.7%

【その他】

○男子

YouTuber、不動産鑑定士、ミニ四駆チャンピオン、ライフセイバー、映画関係の仕事

○女子

介護士、声優、ダンサー、ダンスの先生、ペットショップの店員、作詞家、製薬開発者、ソーイングスタッフ、漫画家、カウンセラー、ファッションデザイナー、水族館の飼育員、航空自衛隊、写真家、猫カフェ・犬カフェの店員、手芸屋さん、騎手、バレーボールの指導者、なりたい仕事がたくさんあるので選べない

【中学生】

順位	男子	順位	女子
1	スポーツ選手 11.5%	1	美容師、理容師 10.5%
2	会社員 9.2%	2	保育園、幼稚園の先生 8.9%
3	調理師、コックなど料理を作る人 6.9%	3	画家、デザイナーなどの芸術家 4.8%
4	コンピュータ関係の仕事 6.1%	3	看護師 4.8%
5	お店をもつ 3.8%	5	お店をもつ 3.2%
5	公務員 3.8%	6	スポーツ選手 2.4%
5	農業、林業、漁業をする人 3.8%	6	獣医 2.4%
8	獣医 3.1%	6	建築士、設計士 2.4%
8	食べ物屋さん 3.1%	6	食べ物屋さん 2.4%

10	自衛官	2.3%	6	歌手、タレントなどの芸能人	2.4%
10	自動車、機械などのエンジニア	2.3%	6	学者、研究者	2.4%
12	画家、デザイナーなどの芸術家	1.5%	12	会社員	1.6%
12	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	1.5%	12	薬剤師	1.6%
12	学者、研究者	1.5%	12	医師	1.6%
12	保育園、幼稚園の先生	1.5%	12	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.6%
12	歌手、タレントなどの芸能人	1.5%	12	新聞・雑誌・テレビ記者	1.6%
17	薬剤師	0.8%	12	福祉施設で働く人	1.6%
17	福祉施設で働く人	0.8%	12	コンピュータ関係の仕事	1.6%
17	新聞・雑誌・テレビ記者	0.8%	19	銀行員・金融関係	0.8%
17	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.8%	19	農業、林業、漁業をする人	0.8%
17	医師	0.8%	19	アナウンサー	0.8%
17	自動車、電車の運転手	0.8%	19	調理師、コックなど料理を作る人	0.8%
17	学校の先生	0.8%	23	警察官	0.0%
17	キャビンアテンダント	0.8%	23	自衛官	0.0%
17	弁護士、検察官、裁判官など	0.8%	23	学校の先生	0.0%
17	美容師、理容師	0.8%	23	公務員	0.0%
17	パイロット	0.8%	23	自動車、電車の運転手	0.0%
28	建築士、設計士	0.0%	23	政治家	0.0%
28	看護師	0.0%	23	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%
28	銀行員・金融関係	0.0%	23	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
28	アナウンサー	0.0%	23	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
28	警察官	0.0%	23	パイロット	0.0%
28	政治家	0.0%	23	キャビンアテンダント	0.0%
28	通訳、翻訳家	0.0%	23	通訳、翻訳家	0.0%
28	評論家	0.0%	23	評論家	0.0%
*	その他	4.6%	*	その他	9.7%
*	なりたい仕事がない	11.5%	*	なりたい仕事がない	13.7%
*	わからない	12.2%	*	わからない	15.3%

【その他】

○男子

不動産鑑定士、接客業、電気工事士、フォトグラファー、音楽関係の仕事

○女子

プロレスラー、小説家、ネイリスト、カウンセラー、心理カウンセラー、助産師、トリマー、広告代理店、理学療法士、動物看護師ホテルスタッフ、全部

【小学生・中学生の比較】

男子は小・中学生ともに「スポーツ選手」が1位であり、女子は小・中学生ともに「美容師、理容師」の順位が高かった。

【前回調査との比較】

小・中学生の男子は「スポーツ選手」が前回調査同様に1位であったが、小学生の女子は前回11位であった「お店をもつ」が1位となり、中学生の女子では前回2位であった「美容師、理容師」の順位が1位となった。

問 10 将来の人物像

次の中から、「将来こんな人になりたい」と思うものを1つ選んでください。

【小学生】

順位	男子		順位	女子	
1	優しく思いやりのある人	18.2%	1	優しく思いやりのある人	25.4%
2	いろんなことにチャレンジする人	13.1%	2	家族や友達を大切にする人	21.5%
3	家族や友達を大切にする人	10.2%	3	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	9.6%
4	尊敬される人	9.5%	4	尊敬される人	9.0%
5	自分の意見をきちんと言える人	8.8%	5	信頼される人	7.3%
6	リーダー的な人	8.0%	6	自分の意見をきちんと言える人	6.2%
7	信頼される人	5.8%	7	リーダー的な人	4.5%
7	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	5.8%	8	いろんなことにチャレンジする人	4.0%
9	夢、目標を持っている人	3.6%	9	ユニークで想像性が豊かな人	3.4%
10	自ら進んで行動を起こせる人	2.9%	10	夢、目標を持っている人	1.7%
11	人をサポートできる人	2.2%	10	相手の立場に立って考えられる人	1.7%
12	相手の立場に立って考えられる人	1.5%	12	自ら進んで行動を起こせる人	1.1%
13	ユニークで想像性が豊かな人	0.0%	13	人をサポートできる人	0.6%
*	その他	1.5%	*	その他	1.1%
*	わからない	8.8%	*	わからない	2.8%

【その他】

○男子

面白い人、人の権利は皆同じだとわかる人

○女子

人の辛い気持ちや苦しい気持ちがわかる人、人をサポートできて相手の立場に立って考えることができて信頼される人

【中学生】

順位	男子		順位	女子	
1	優しく思いやりのある人	22.9%	1	優しく思いやりのある人	23.4%
2	尊敬される人	13.7%	2	信頼される人	13.7%
3	信頼される人	11.5%	3	家族や友達を大切にする人	9.7%
4	家族や友達を大切にする人	9.2%	4	ユニークで想像性が豊かな人	7.3%
5	いろんなことにチャレンジする人	6.9%	5	リーダー的な人	6.5%
5	自分の意見をきちんと言える人	6.9%	5	尊敬される人	6.5%
7	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	6.1%	5	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	6.5%
8	人をサポートできる人	5.3%	8	自ら進んで行動を起こせる人	4.8%
9	ユニークで想像性が豊かな人	4.6%	9	自分の意見をきちんと言える人	3.2%
10	相手の立場に立って考えられる人	3.1%	9	いろんなことにチャレンジする人	3.2%
11	夢、目標を持っている人	2.3%	9	夢、目標を持っている人	3.2%
12	リーダー的な人	1.5%	9	人をサポートできる人	3.2%
13	自ら進んで行動を起こせる人	0.0%	13	相手の立場に立って考えられる人	0.8%
*	その他	0.0%	*	その他	2.4%
*	わからない	6.1%	*	わからない	5.6%

【その他】

○男子
なし

○女子

一人でも多くの人に希望を与えられる人、楽しく生活できる人、自殺をしない人

【小学生・中学生の比較】

小学生、中学生ともに「優しく思いやりのある人」が1位となっている。

【前回調査との比較】

前回調査においても小学生、中学生ともに「優しく思いやりのある人」が1位である。

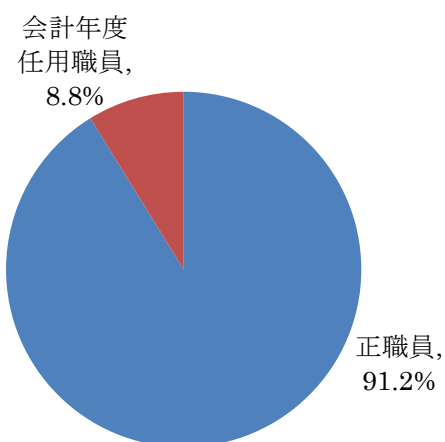
前回の中学生男子では、「尊敬される人」は7位であったが、今回は2位になっている。

第4章 職員意識調査

I 回答者の属性

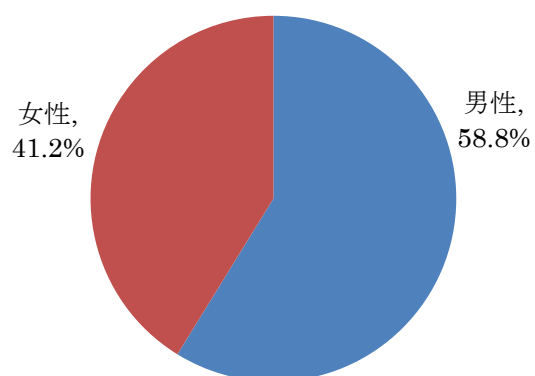
(1) 職員区分

	人数	割合
正職員	372 人	91.2%
会計年度任用職員	36 人	8.8%
全体	408 人	100.0%



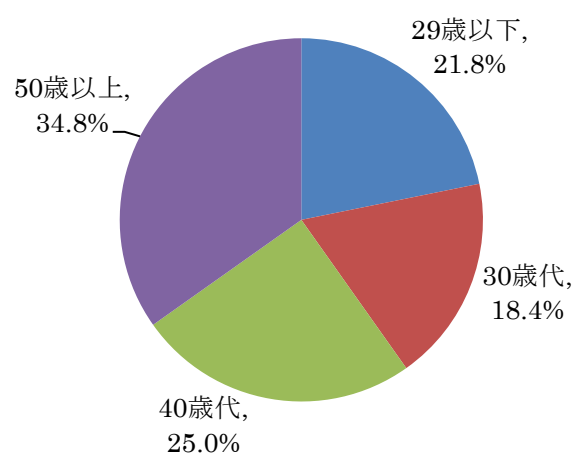
(2) 性別

	人数	割合
男性	240 人	58.8%
女性	168 人	41.2%
全体	408 人	100.0%



(3) 年齢別

	人数	割合
29 歳以下	89 人	21.8%
30 歳代	75 人	18.4%
40 歳代	102 人	25.0%
50 歳以上	142 人	34.8%
全体	408 人	100.0%



Ⅱ 男女の職業生活に対する考え方について

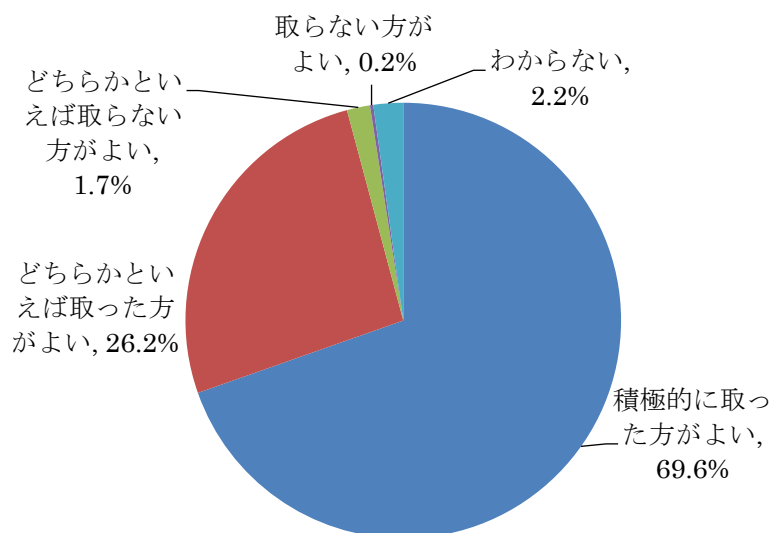
問4 男性の育児休業・介護休暇の取得について

あなたは、男性が育児休業や介護休暇を取ることにどう思いますか。①②のそれぞれについて、(ア)～(オ)の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。

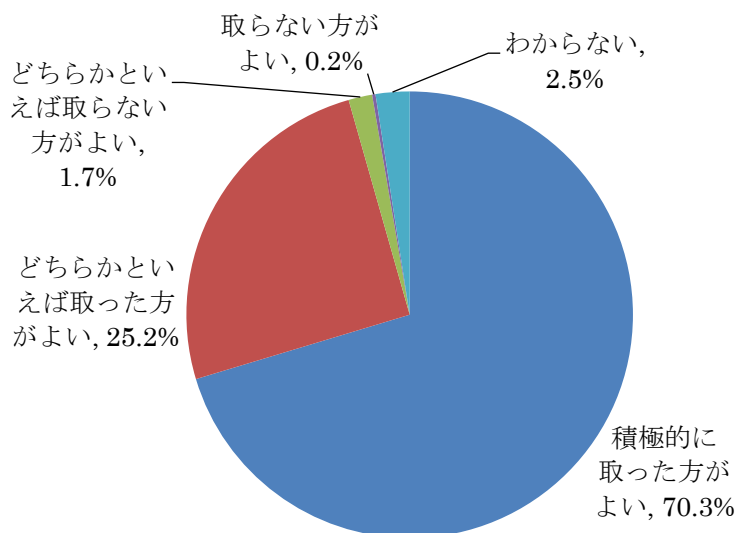
【全 体】

男性の育児休業、介護休暇の取得について、「積極的に取った方がよい」「どちらかといえば取った方がよい」の割合が高かった。

育児休業制度



介護休暇制度



問4 男性の育児休業・介護休暇の取得について

① 育児休業制度

【全 体】

「積極的に取った方がよい」が 69.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(26.2%)となっている。

【性 別】

男性では「積極的に取った方がよい」が 66.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(28.8%)となっている。

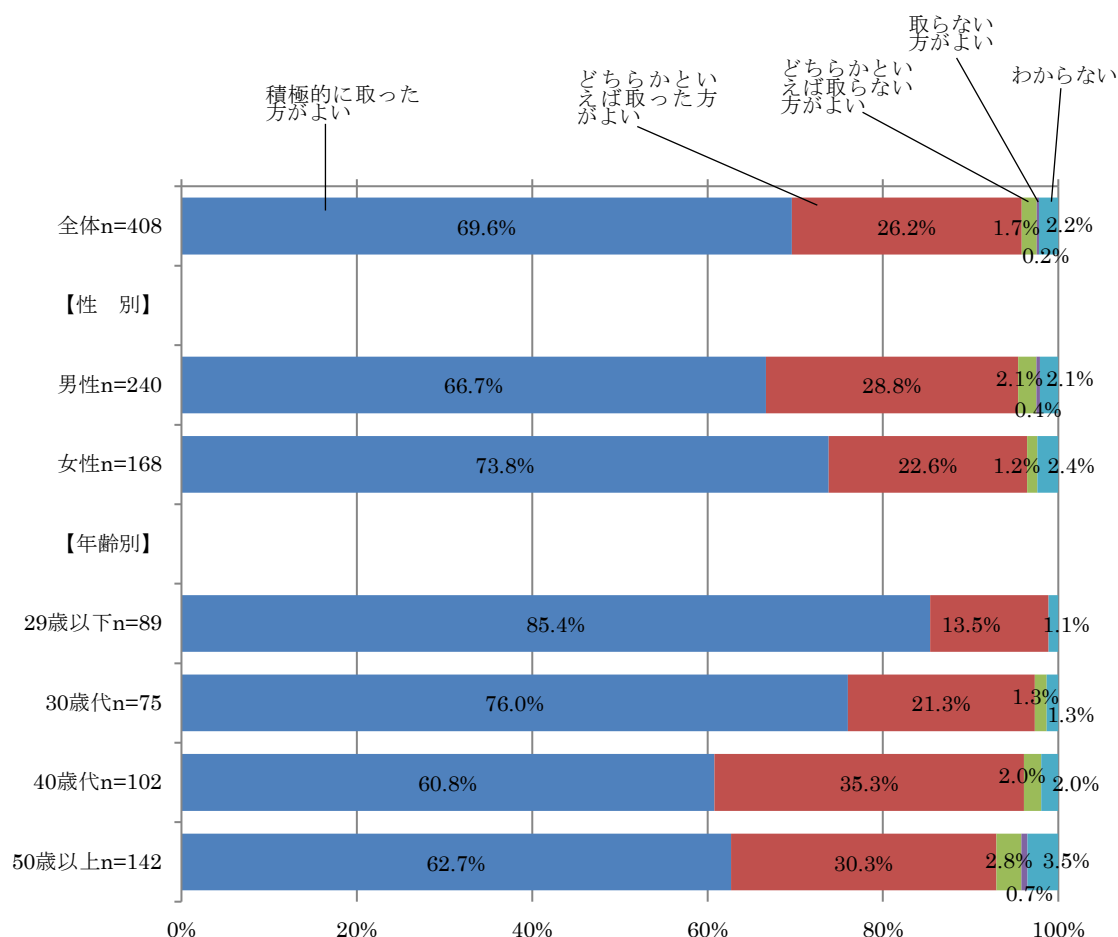
女性では「積極的に取った方がよい」が 73.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(22.6%)となっている。

【年齢別】

年代問わず「積極的に取った方がよい」が最も高く、特に 29 歳以下では8割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「積極的に取った方がよい」が 20.4 ポイント増加している。



問4 男性の育児休業・介護休暇の取得について

② 介護休暇制度

【全 体】

「積極的に取った方がよい」が 70.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(25.2%)となっている。

【性 別】

男性では「積極的に取った方がよい」が 67.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(27.1%)となっている。

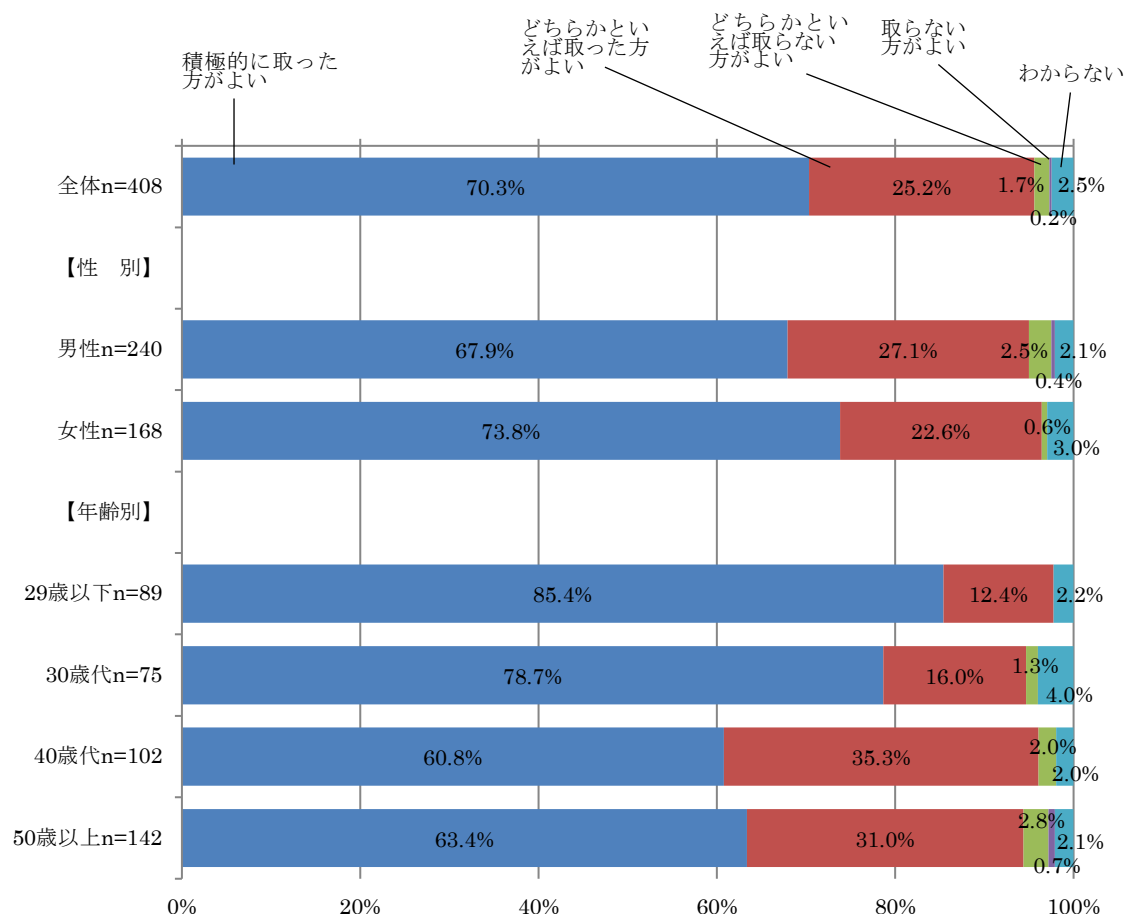
女性では「積極的に取った方がよい」が 73.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(22.6%)となっている。

【年齢別】

年代を問わず「積極的に取った方がよい」が最も高く、特に 29 歳以下 (85.4%) では 8 割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「積極的に取った方がよい」が 15.8 ポイント増加している。



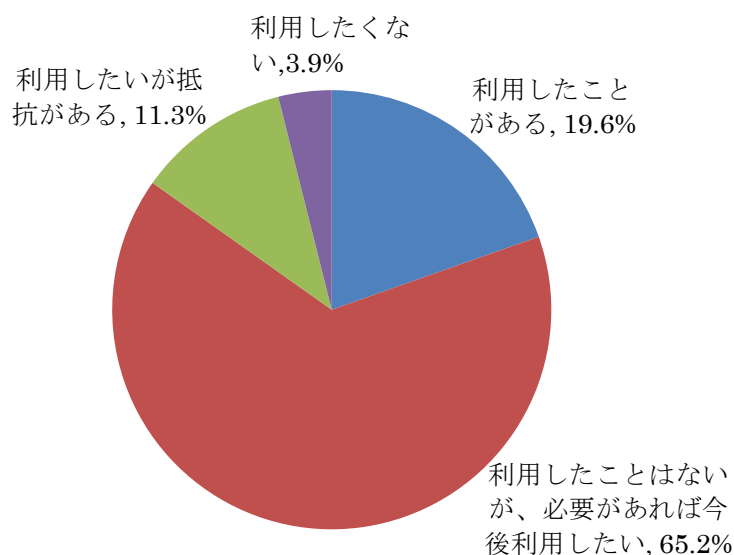
問5 育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から1つずつ選んでください。

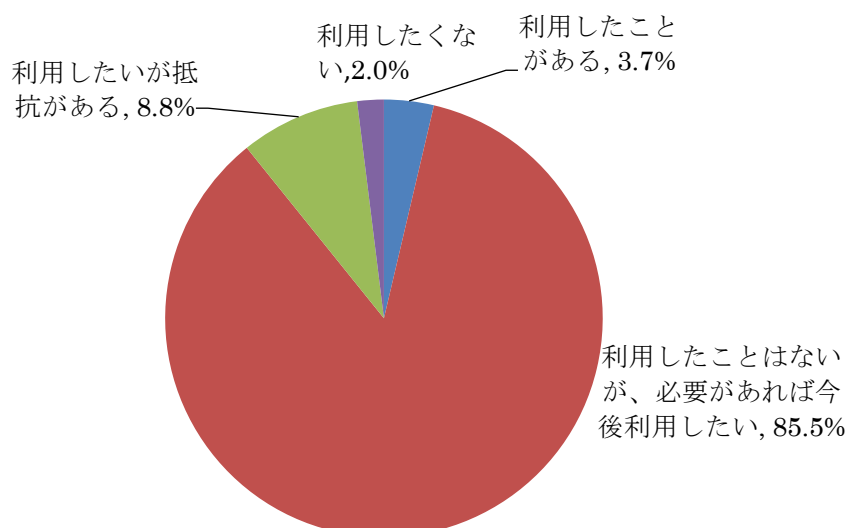
【全 体】

育児休業・介護休暇制度の利用について、「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」とした回答割合が高かった。

育児休業制度



介護休暇制度



問5 育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

① 育児休業制度

【全 体】

「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 65.2%と最も高く、次いで「利用したことがある」(19.6%)となっている。

【性 別】

男性では「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 73.3%と最も高く、次いで「利用したいが抵抗がある」(16.3%)となっている。

女性では「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 53.6%と最も高く、次いで、「利用したことがある」(41.1%)となっている。

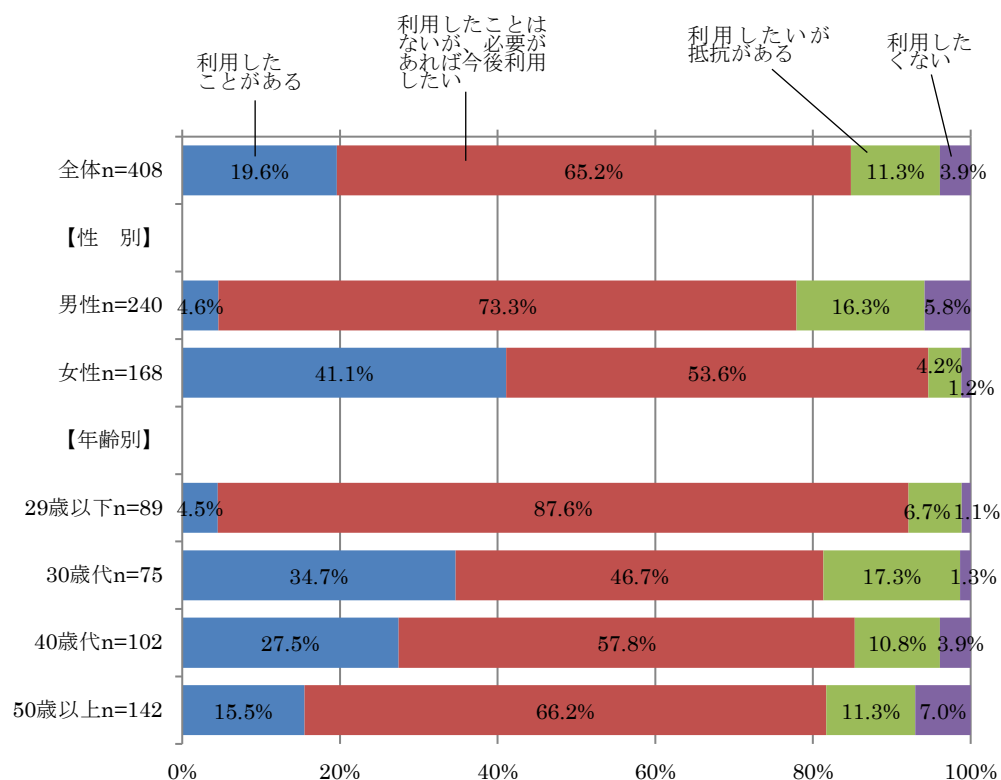
「利用したことがある」では、女性の方が男性より 36.5 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」の割合が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 10.4 ポイント増加している。



問5 育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

② 介護休暇制度

【全 体】

「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 85.5%と最も高く、次いで「利用したいが抵抗がある」(8.8%)となっている。

【性 別】

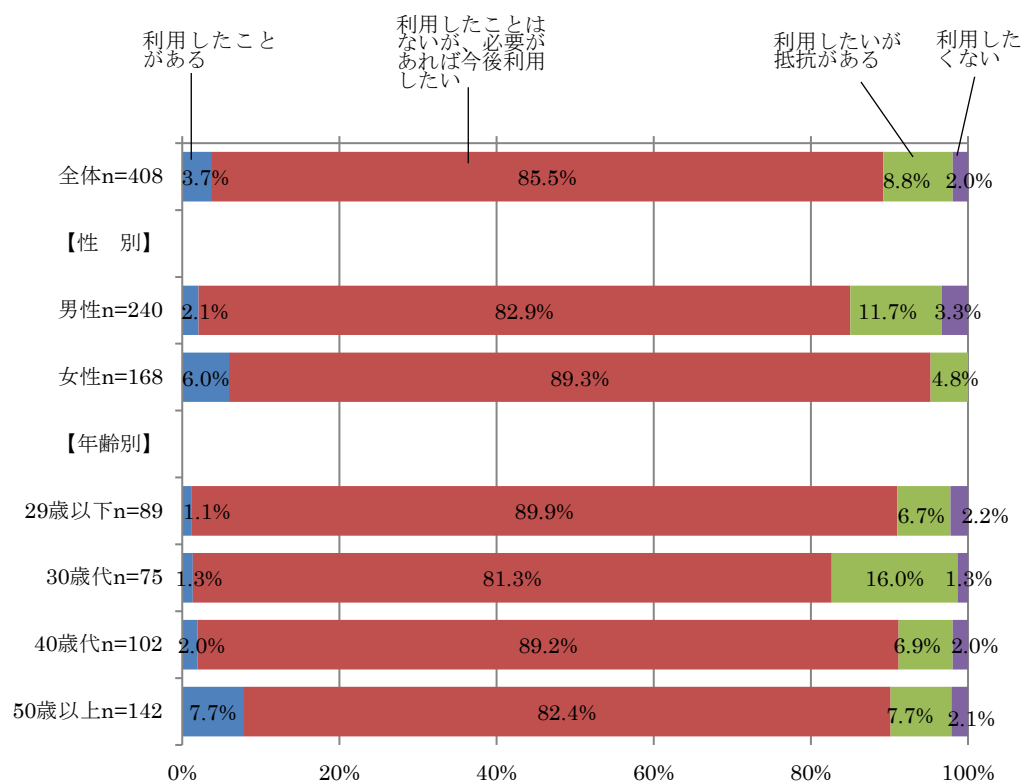
「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が、男性、女性ともに8割を超えている。

【年齢別】

年代を問わず「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が8割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 5.2 ポイント増加している。



問6 育児休業・介護休暇制度を利用する上で支障となること

あなたが、育児休業・介護休暇制度を利用する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。3つまで選んでください。

【全 体】

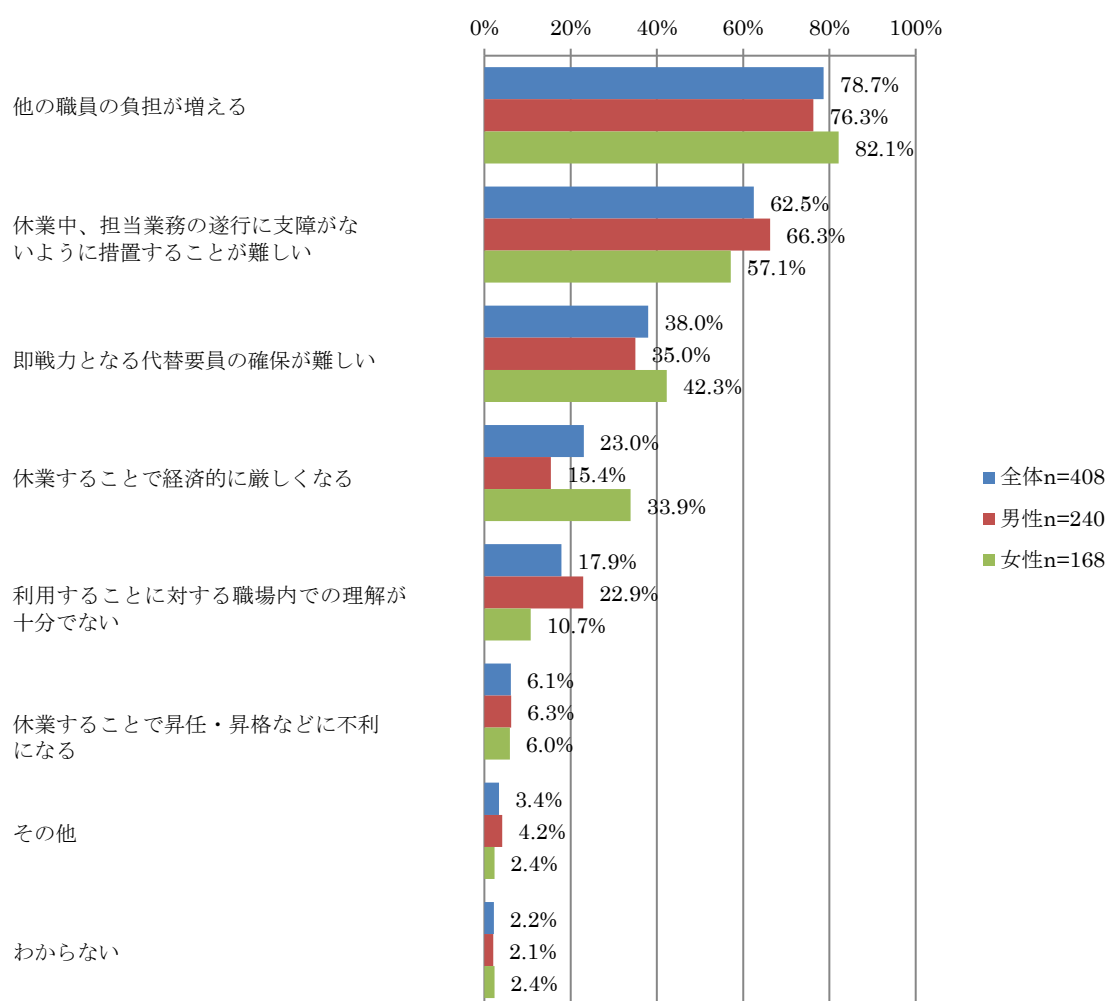
「他の職員の負担が増える」が78.7%と最も高く、次いで「休業中、担当業務の遂行に支障がないように措置することが難しい」(62.5%)、「即戦力となる代替要員の確保が難しい」(38.0%)の順となっている。

【性 別】

「他の職員の負担が増える」につき、男性は7割、女性は8割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「他の職員の負担が増える」が9.9ポイント減少している。



問7 職場の待遇

あなたは、職場で仕事をする上で、性別による差別を感じますか。1つ選んでください。

【全 体】

「特に感じない」が63.5%と最も高く、次いで「時々感じる」(27.2%)、「よく感じる」(9.3%)となっている。

【性 別】

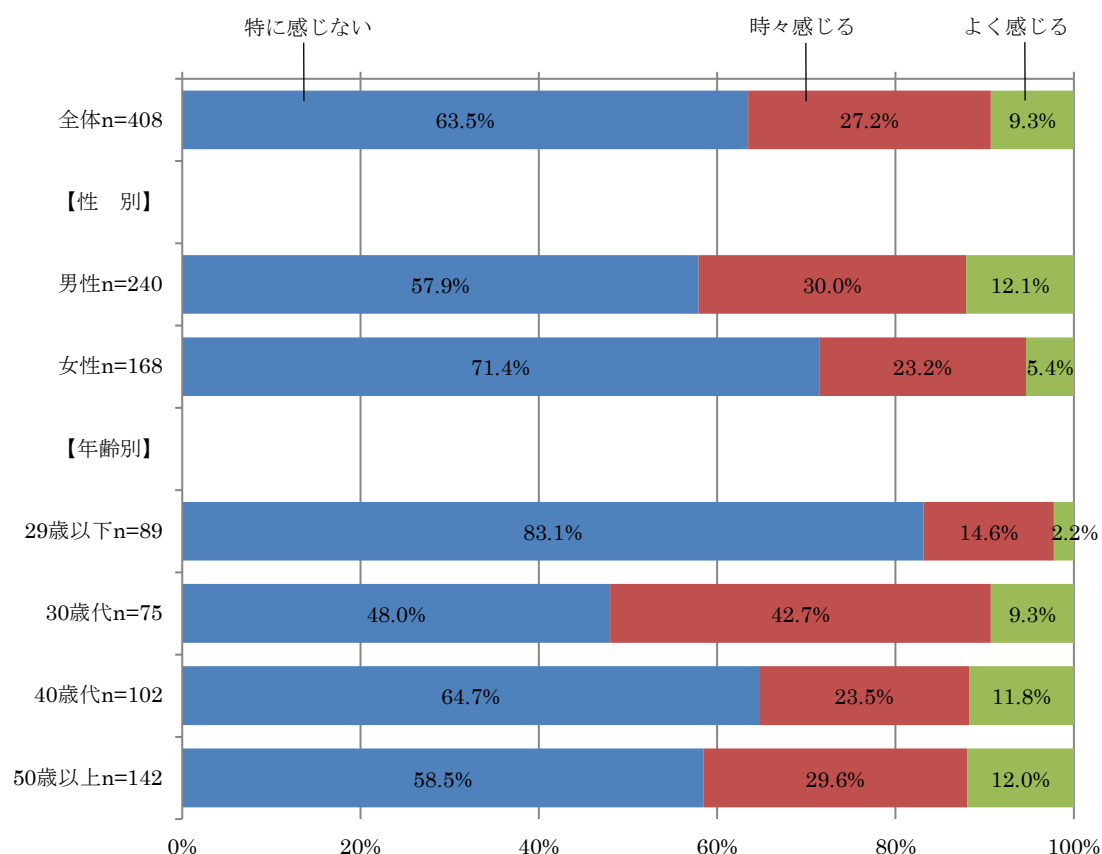
男性、女性ともに「特に感じない」の割合が最も高くなっているが、男性(57.9%)と女性(71.4%)の間に13.5ポイントの差がある。

【年齢別】

年代を問わず「特に感じない」の割合が高くなっているが、最も高い29歳以下(83.1%)と最も低い30歳代(48.0%)では35.1ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「特に感じない」が2.7ポイント増加し、「時々感じる」「よく感じる」の合計が1.5ポイント減少している。



問8 職場の待遇で実感すること

〔問7で「②時々感じる、③よく感じる」と答えた方にお聞きます〕

あなたはどのようなことについてそう感じますか。次の中から一番実感するものを1つ選んでください。

【全 体】

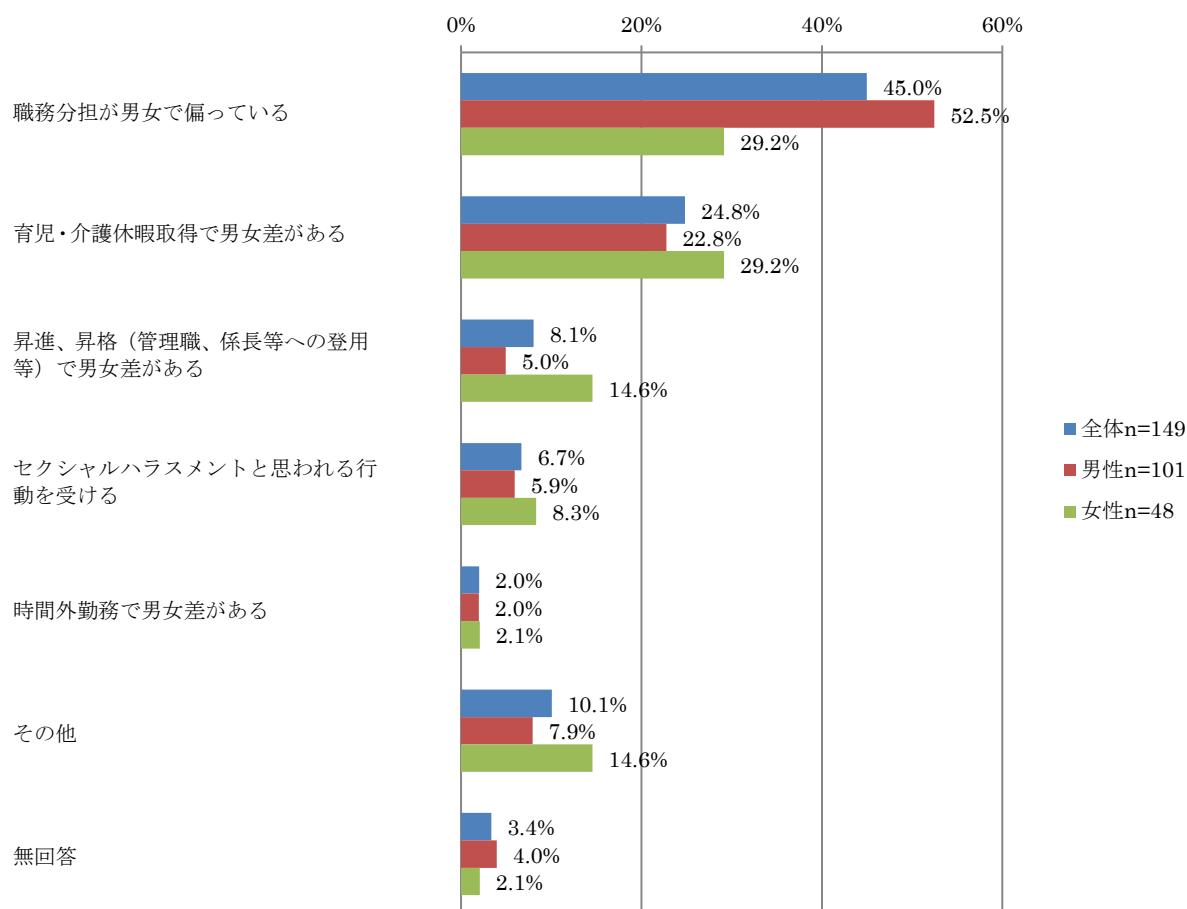
「職務分担が男女で偏っている」が45.0%と最も高く、次いで「育児・介護休暇取得で男女差がある」(24.8%)、「昇進、昇格で男女差がある」(8.1%)の順となっている。

【性 別】

男性は「職務分担が男女で偏っている」が特に高く、女性は「職務分担が男女で偏っている」「育児・介護休暇取得で男女差がある」の割合が同じである。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「職務分担が男女で偏っている」が10.5ポイント減少し、「育児・介護休暇取得で男女差がある」が5.3ポイント増加している。



問9 職場の男女共同参画推進への取り組み

あなたが、職場で男女平等を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが今、一番取り組みが必要と思われるものを1つ選んでください。

【全 体】

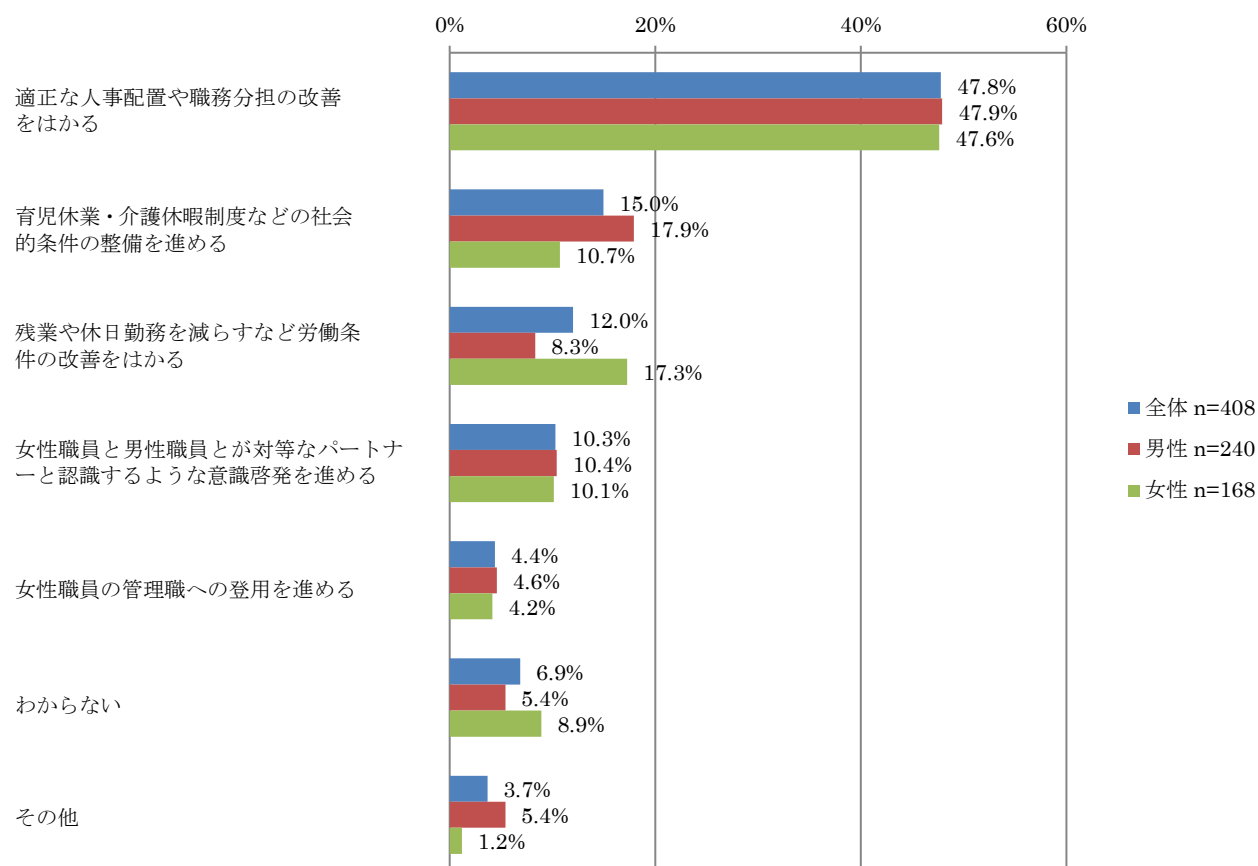
「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」が 47.8%と最も高く、次いで「育児休業・介護休暇制度などの社会的条件の整備を進める」(15.0%)、「残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる」(12.0%)の順となっている。

【性 別】

男性、女性ともに「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」の割合が同程度である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」と答えた男性が 8.2ポイント増加している。全体で「育児休業・介護休暇制度などの社会的条件の整備を進める」は前回4位であったが、今回は2位となっている。



Ⅲ 男女共同参画社会に関する法制度等について

問 10 男女共同参画社会に関する法制度等の認知度

あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑫のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

【全 体】

男女共同参画社会に関する法制度等の認知度について、「内容まで知っている」「聞いたことがある」の回答の計は、「ドメスティック・バイオレンス」が98.1%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」（96.8%）、「L G B T・性的少数者」（94.1%）の順となっている。

また、「内容まで知っている」では、「ドメスティック・バイオレンス」が61.3%と最も高く、次いで「L G B T・性的少数者」（48.8%）、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（42.4%）、の順となっている。

一方、「知らない」では、「リプロダクティブヘルス／ライツ」が65.0%と最も高く、次いで「ポジティブ・アクション」（59.3%）、「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」（37.0%）の順となっている。

【性 別】

「内容まで知っている」と回答した割合につき、「育児・介護休業法」では男性より女性の方が19.8ポイント高く、「ドメスティック・バイオレンス」「L G B T・性的少数者」

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」では、それぞれ女性の方が10ポイント以上高かった。

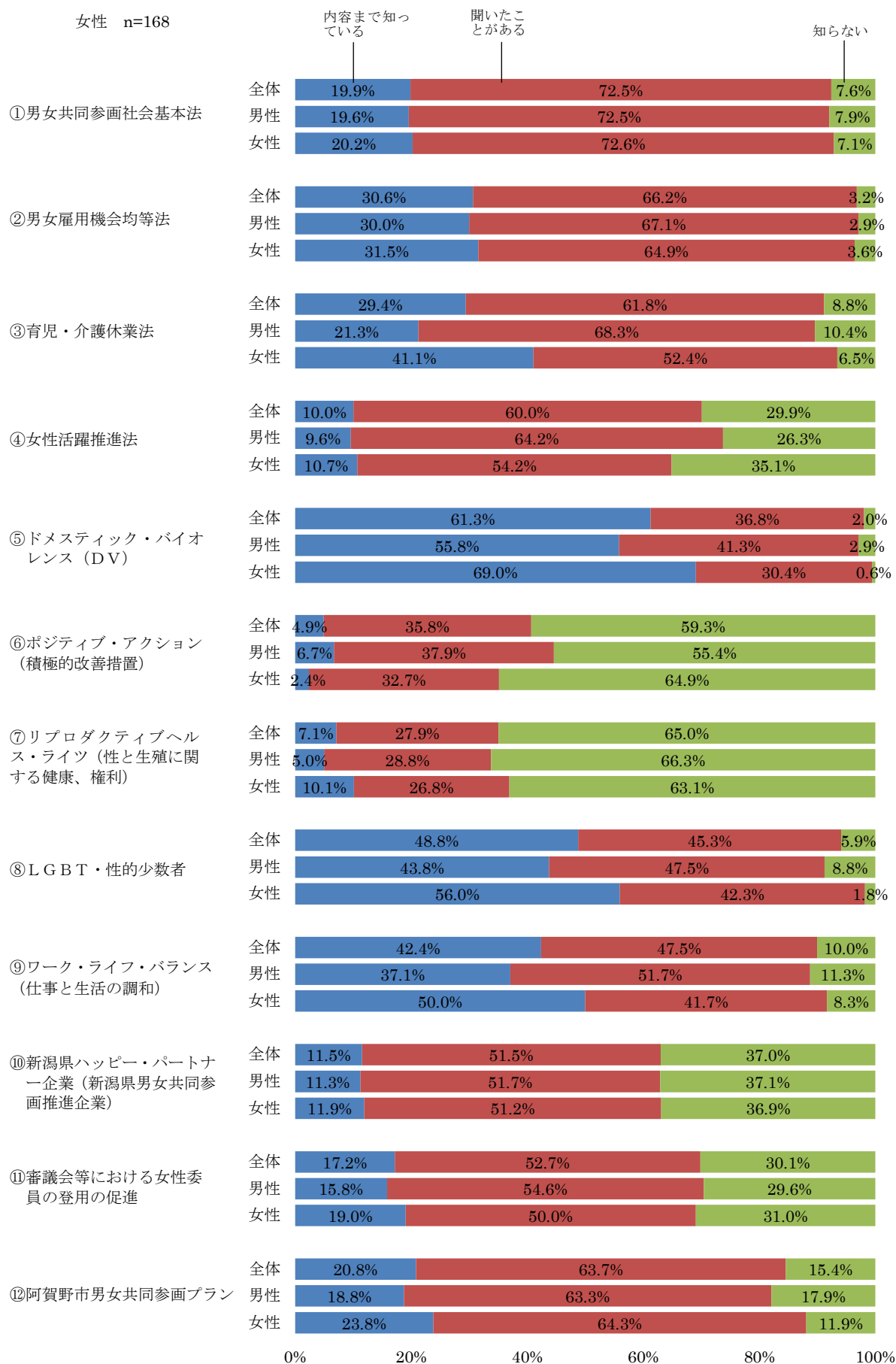
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「L G B T・性的少数者」を「内容まで知っている」と答えた割合が全体で22.3ポイント増加している。

全体 n=408

男性 n=240

女性 n=168



問 1 1 新潟県ハッピー・パートナー企業登録の周知度

あなたは、阿賀野市役所が「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」に登録していたことをご存知ですか。1つ選んでください。

【全 体】

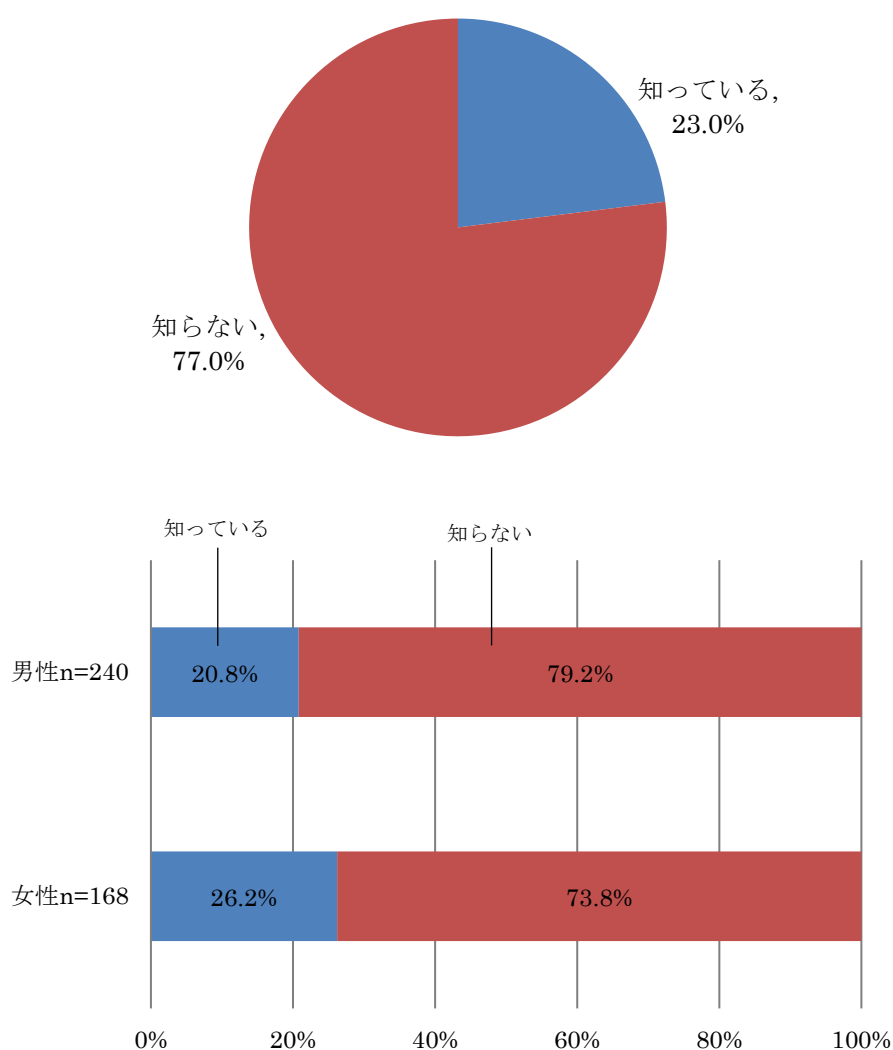
阿賀野市役所が新潟県ハッピー・パートナー企業登録していたことについて、「知らない」が77.0%、「知っている」が23.0%となっている。

【性 別】

男性、女性ともに「知らない」の割合が7割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「知らない」と答えた割合が全体で3.5ポイント増加している。



Ⅳ 阿賀野市での男女共同参画の推進について

問 1 2 男女共同参画の推進で市に期待すること

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つまで選んでください。

【全 体】

男女共同参画の推進で阿賀野市に期待することは、「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 46.1%と最も高く、次いで「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」(40.9%)、「保育、介護サービスの充実をはかる」(38.2%)の順となっている。

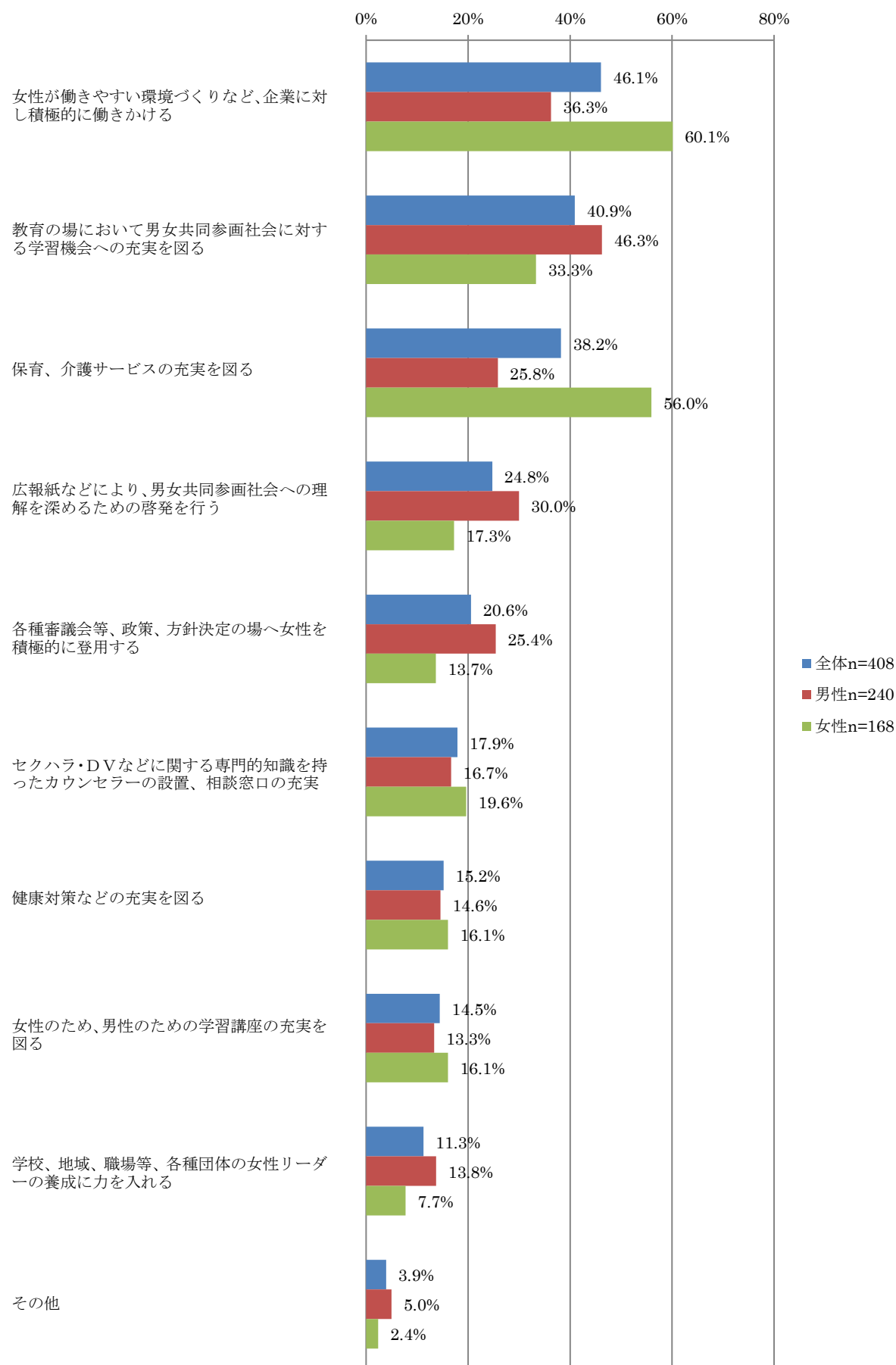
【性 別】

男性では「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」が 46.3%と最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」(36.3%)となっている。

女性では「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 60.1%と最も高く、次いで「保育、介護サービスの充実を図る」(56.0%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で上位3位までに入る項目に変化はなかったが、前回は3位であった「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が、今回は1位となっている。



☆自由意見

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	50 歳以上	質問 5 の①の回答に困りました。すべてにあてはまりません。他の人には積極的に取得してほしいです。間違っても私自身は今後必要にはならないのですが、何かを選ばないとダメだったので…
女性	50 歳以上	家事、子育てについて、まだまだ女性への過重がある。その中で責任を持った社会参加と両立させるには職場の負担を考慮してしまうので、人員配置など職場環境の改善を求める。
女性	40 歳代	男女共同参画については、女性の担当者ばかりだったと思うが、本当に推進したいのであれば、男性の担当者がやればいいと思う。また、女性だけをリーダー等に推進していくのではなく、女性・男性関係なく、お互いに助け合っている社会になればいいと思う。
男性	50 歳以上	問 5 の①育児休業制度の選択肢について、50 歳台以上の場合では育児休業は考えにくいため選択肢がなかった。いずれかを選ばないとエラーになってしまうので、このアンケートに限らず回答方法をよく検討していただきたい。
男性	50 歳以上	男女共同参画を始め、男女雇用機会均等法、LGBT、SDGs などが、少子化の主たる要因であることを認識するべき。国家や、地域、家庭、人間関係を破壊するものでしかない。
女性	40 歳代	介護休暇の期間が少なすぎ、取得できる理由も十分とは言えない。介護サービスを受けられても、訪問や通院などは大体年次休暇を取得し対応しなければならないため、そちらの拡充もあっても良いと思う。
女性	40 歳代	男女平等の促進が必要の中で、家庭の中が男女平等ではなく、女性が子育て・家事等、家庭の役割を多く担っていることが多い。そのため、休むことが増えたり、遅くまで勤務できないことが多く、業務量が男女平等になると女性の負担が大きくなり、家庭や子どもたちに影響がでてしまうことも考慮していく必要がある。多方面での意識改革が必要になると思われる。
男性	50 歳以上	市役所職員の男女共同参画への意識やニーズを的確に把握するアンケートであるが、市民のこの意識の醸成が大事ではないか。市議会議員の女性は、現在 1 名。どうする、議員！ この辺から議論をしていかなければ。
男性	50 歳以上	身体的構造が違う中で女性は守られるべきであり、全てが男性と同じ扱いでなければならないという考えに疑問を感じる。（男性と同じ扱いとすることが女性にとって不利益となることもある。）ただし、意欲がある女性については男女対等な取扱いとすべきと考えるが、女性は守られていることを忘れてはいけないと思う。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	50 歳以上	質問 9 にも書いたが、個々の性格・資質等も関係する事と思う。年齢関係なく仕事をし易い環境・し難い環境、関係性もある。人数だけ女性を増やすのではなく、男性でも向き・不向きがあることを考慮してほしい。
女性	50 歳以上	積極的な女性の登用だけでなく、その位置に適した人材の登用をしてもらいたい。
男性	40 歳代	性差の違いでやむを得ないものを提示し、それ以外は男女平等であることを男女ともに相互理解する取り組みが必要。女性だからといったの配慮が過度な配慮とならないために、これは性差があるもの、それ以外は平等であるということを具体で提示する。
女性	40 歳代	多様性の時代、「男女」というネーミングが古い感じがします。
男性	50 歳以上	調査、啓発、学習することを継続することにより、制度への理解、認識が深まれば良いと思います。
男性	40 歳代	女性の力が必要なのに、制度が整っていないと感じます。
女性	40 歳代	問 10 については、内容のどこまで知っていれば、知っているとしてよいのか迷いました。
女性	50 歳以上	質問 5 育児休業制度の選択肢に「利用する予定なし」があってもよかったのではないかと思います。子育てが終わったので、選択に迷いましたがとりあえず（イ）にしました。
男性	50 歳以上	男尊女卑の意識が若年層（20 歳代）でも相当数いると各部署からの事案報告を通して当市は保守的な習慣が残っていると感じる。世代間連鎖を断つため学校教員の多忙化解消と逆行するが、学童期での意識付けが重要。講師は行政が手配し講演会の場所の確保や開催周知を学校が担うことで負担の軽減が図られるのではないかな。
男性	50 歳以上	質問 12 の「女性が働きやすい環境…」なぜ女性だけ男性でも同じ条件の人がいるのでは。
男性	50 歳以上	男女共同参画を進める上で、女性に都合のいいものだけを進めるのではなく、力仕事や外仕事（草刈等）も偏りなく意識持つよう進めていただきたい。
女性	50 歳以上	男とか女でなく、個人の特性や家庭環境をお互いに認め合えるようになると思います。
男性	40 歳代	このアンケート自体、主語が女性中心になっている時点で、男女平等とは言えない。質問 9 が顕著に表している。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	30 歳代	有能であれば男女関係なく管理職へ登用すべきである。有能の判断基準がないため設けるべきである。試験制度や、推薦制度など年功序列による管理職への登用をやめ、昇格試験や、職員からの推薦等を参考として男女が関係なく活躍できるよう新たな取り組みをする。消防職員の 20 代や 30 代が市長や総務部長と意見交換できる場があればよいと思う。なぜないのでしょうか。
女性	30 歳代	消防の勤務体制上、日常的に人員ギリギリで勤務しているため男性が長期の育児休暇を取得するのはかなり厳しく、上司・先輩（40 代以上）の理解と勤務体制の工夫が必須です。一部ですが、育児休暇を取得した女性が男性と格差なく昇進することに疑問をもつ職員がいる中で、男性職員への理解は深まるのか。これから取得対象となる男性職員がとりやすいようにするためにどうしたらいいかわかりません。
男性	30 歳代	差別は良くないですが区別は必要だと思います。
男性	30 歳代	職場内の男性職員で以前育児休暇を取得しようとした際に上司から「人員数が厳しいため育児休暇は控えてほしい」との話があったと聞き、国が男性の育児休暇を推奨しているのにも関わらず、阿賀野市では表立って推奨していると言うが、全く推奨しておらず職員に浸透していない事に失望しました。
女性	50 歳以上	問 5 の「これまで育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか」で、育児休暇をまったく取得せず、今後も取得はない人への選択肢がありません。必須項目で選択を迫られました。答えられない設問を必須項目にする事態、設問に不備があると思います。やむを得ず「利用したくない」を選択しましたが、「利用しなかった」という選択があっても良いと思いますが。
男性	30 歳代	女性の管理職登用を進めるのはいいが、その職位になるのならば、その職位の責任を果たすだけの能力を有している人（その業務に精通する知識を有している、責任をもって決断できる等）を登用すべき。登用数だけを稼ぐための登用だけでは意味がないと思う。
男性	30 歳代	設問のような「女性のため、男性のため」という考え方ではなく、一人の人間としてという考え方を根ざさなければならない。
男性	30 歳代	ただ制度が充実しているだけでは不十分。充実した制度がある上で各種制度が十分に利用されている（希望する職員（潜在的に希望する職員含む）等が利用できている）環境を実現することが重要と考えます。
男性	30 歳代	早出遅出勤務制度は現在養育、介護の場合活用できるが、個人のワークライフバランスに合わせ理由なく活用できると、より働きやすい職場になると考える。（新潟県は既に実施済み）

第 5 章 単純集計表

1. 市民意識調査

問9 あなたは次のような項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれについて（ア）～（カ）の中から1つずつ選んでください。

①家庭において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	12.2%	9.7%	14.3%	12.4%	-0.2%
どちらかといえば男性優遇	34.9%	33.3%	36.3%	40.9%	-5.9%
男女平等	33.9%	36.6%	31.7%	31.9%	2.0%
どちらかといえば女性優遇	7.8%	11.6%	4.6%	5.9%	1.9%
女性優遇	2.9%	3.2%	2.7%	2.6%	0.4%
わからない	8.2%	5.6%	10.4%	5.8%	2.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%

②職場において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	20.0%	18.1%	21.6%	13.9%	6.1%
どちらかといえば男性優遇	31.2%	30.1%	32.0%	33.0%	-1.9%
男女平等	30.9%	32.4%	29.7%	31.2%	-0.3%
どちらかといえば女性優遇	5.3%	7.4%	3.5%	4.8%	0.5%
女性優遇	2.7%	3.7%	1.9%	2.0%	0.7%
わからない	9.9%	8.3%	11.2%	9.7%	0.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	-5.3%

③地域において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	19.6%	13.9%	24.3%	13.4%	6.2%
どちらかといえば男性優遇	36.0%	37.5%	34.7%	39.2%	-3.2%
男女平等	18.3%	23.1%	14.3%	26.0%	-7.7%
どちらかといえば女性優遇	3.4%	5.1%	1.9%	2.0%	1.3%
女性優遇	0.8%	1.4%	0.4%	0.6%	0.2%
わからない	21.9%	19.0%	24.3%	16.1%	5.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	-2.7%

④政治経済活動の場において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	44.6%	37.0%	51.0%	26.1%	18.5%
どちらかといえば男性優遇	36.4%	37.5%	35.5%	40.4%	-4.0%
男女平等	7.8%	14.4%	2.3%	16.7%	-8.9%
どちらかといえば女性優遇	1.7%	3.2%	0.4%	1.1%	0.6%
女性優遇	1.1%	1.9%	0.4%	0.4%	0.6%
わからない	8.4%	6.0%	10.4%	13.2%	-4.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	-2.0%

⑤学校教育の場において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	8.6%	6.9%	10.0%	4.1%	4.6%
どちらかといえば男性優遇	16.0%	15.7%	16.2%	16.5%	-0.5%
男女平等	45.3%	46.8%	44.0%	50.8%	-5.5%
どちらかといえば女性優遇	2.9%	5.6%	0.8%	3.6%	-0.7%
女性優遇	0.6%	1.4%	0.0%	1.0%	-0.3%
わからない	26.5%	23.6%	29.0%	21.4%	5.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	-2.6%

⑥法律や制度の面において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	23.8%	17.6%	29.0%	10.6%	13.2%
どちらかといえば男性優遇	28.4%	26.9%	29.7%	31.0%	-2.6%
男女平等	22.3%	31.5%	14.7%	32.0%	-9.7%
どちらかといえば女性優遇	6.1%	9.3%	3.5%	5.1%	1.0%
女性優遇	2.1%	4.2%	0.4%	1.1%	1.0%
わからない	17.3%	10.6%	22.8%	18.1%	-0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	-2.1%

⑦社会習慣（しきたり）の面において

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
男性優遇	40.6%	32.4%	47.5%	25.1%	15.5%
どちらかといえば男性優遇	40.0%	42.6%	37.8%	47.3%	-7.3%
男女平等	8.6%	13.0%	5.0%	14.3%	-5.7%
どちらかといえば女性優遇	1.7%	3.2%	0.4%	1.7%	0.0%
女性優遇	0.8%	0.9%	0.8%	0.6%	0.2%
わからない	8.2%	7.9%	8.5%	9.5%	-1.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

問10 あなたは次の項目についてどのように考えますか。①～⑥のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの考えに一番近いものを1つずつ選んでください。

①男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	4.6%	6.0%	3.5%	6.1%	-1.5%
どちらかといえばそう思う	18.3%	25.5%	12.4%	28.9%	-10.6%
どちらかといえばそう思わない	22.1%	20.8%	23.2%	19.0%	3.1%
そう思わない	50.9%	44.4%	56.4%	41.8%	9.2%
わからない	4.0%	3.2%	4.6%	3.4%	0.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	-0.8%

②女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	10.7%	13.4%	8.5%	15.0%	-4.2%
どちらかといえばそう思う	21.7%	26.9%	17.4%	36.2%	-14.5%
どちらかといえばそう思わない	22.5%	22.7%	22.4%	18.8%	3.7%
そう思わない	41.5%	32.9%	48.6%	25.4%	16.1%
わからない	3.6%	4.2%	3.1%	3.2%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

③男性も女性と平等に家事・育児をするべきである

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	57.5%	49.1%	64.5%	39.3%	18.2%
どちらかといえばそう思う	31.6%	38.9%	25.5%	40.1%	-8.5%
どちらかといえばそう思わない	5.5%	6.0%	5.0%	11.9%	-6.5%
そう思わない	3.2%	4.2%	2.3%	4.2%	-1.0%
わからない	2.3%	1.9%	2.7%	3.1%	-0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

④家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	63.4%	59.3%	66.8%	51.4%	12.0%
どちらかといえばそう思う	23.2%	23.1%	23.2%	33.0%	-9.9%
どちらかといえばそう思わない	5.5%	7.4%	3.9%	6.0%	-0.5%
そう思わない	2.9%	4.6%	1.5%	3.5%	-0.6%
わからない	5.1%	5.6%	4.6%	4.8%	0.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

⑤女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	23.4%	29.6%	18.1%	23.5%	-0.2%
どちらかといえばそう思う	33.1%	30.6%	35.1%	43.8%	-10.8%
どちらかといえばそう思わない	14.9%	16.7%	13.5%	13.5%	1.5%
そう思わない	21.7%	17.1%	25.5%	14.0%	7.7%
わからない	6.9%	6.0%	7.7%	4.1%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

⑥男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
そう思う	13.3%	22.2%	5.8%	18.1%	-4.9%
どちらかといえばそう思う	18.9%	24.1%	14.7%	29.9%	-11.0%
どちらかといえばそう思わない	21.5%	18.5%	23.9%	17.7%	3.8%
そう思わない	38.3%	25.0%	49.4%	26.6%	11.7%
わからない	8.0%	10.2%	6.2%	6.5%	1.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

問11 あなたは、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。①②のそれぞれについて、次の中から1つずつ選んでください。

①男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
家庭生活・地域活動よりも仕事に専念する	5.9%	8.8%	3.5%	4.5%	1.4%
家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる	31.6%	32.9%	30.5%	52.9%	-21.3%
家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる	46.5%	44.0%	48.6%	31.7%	14.8%
仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる	7.8%	7.9%	7.7%	4.5%	3.3%
仕事よりも、家庭生活・地域活動に専念する	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.1%
わからない	7.8%	6.0%	9.3%	3.6%	4.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	-2.4%

②女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
家庭生活・地域活動よりも仕事に専念する	3.6%	5.6%	1.9%	1.0%	2.6%
家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる	17.9%	19.9%	16.2%	18.9%	-1.0%
家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる	48.0%	43.5%	51.7%	33.8%	14.2%
仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる	17.5%	18.1%	17.0%	29.1%	-11.6%
仕事よりも、家庭生活・地域活動に専念する	1.7%	2.8%	0.8%	5.6%	-3.9%
わからない	11.4%	10.2%	12.4%	7.7%	3.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	-3.9%

問１２ 近年、少子化が進んでいますが、その原因はどんなことだと思いますか。次の中から３つまで選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
子育てにかかる経済的負担が大きいから	72.2%	77.8%	67.6%	67.6%	4.6%
子育てにかかる精神的・肉体的負担が大きいから	33.7%	27.8%	38.6%	27.8%	5.9%
仕事を重視する女性が増えるなど、女性の社会進出が進んできたから	20.8%	19.4%	22.0%	28.8%	-8.0%
仕事と子育てを両立できる環境が整っていないから	57.5%	49.1%	64.5%	59.6%	-2.1%
子どもを産み育てていく生活環境に不安があるから	37.5%	39.4%	35.9%	36.5%	0.9%
晩婚化が進んでいるから	31.2%	28.7%	33.2%	44.0%	-12.8%
その他	6.5%	6.9%	6.2%	7.3%	-0.8%
わからない	1.3%	1.4%	1.2%	2.6%	-1.3%

問１３ 安心して子どもを生み育てるためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から３つまで選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
出産・子育てに対する経済的な支援の充実	65.7%	69.4%	62.5%	64.1%	1.6%
一時保育、延長保育など保育サービスの充実	41.9%	42.1%	41.7%	39.6%	2.2%
ファミリーサポートセンター、学童保育など、地域での子育て支援の充実	26.9%	25.5%	28.2%	27.7%	-0.8%
子育てとの両立が可能な勤務体制の整備	59.2%	53.7%	63.7%	59.7%	-0.6%
出産・子育て後の再就職に対する支援	20.6%	19.9%	21.2%	26.8%	-6.2%
子育てに対する家庭内の協力	30.5%	26.9%	33.6%	35.2%	-4.7%
子育て中の仲間づくりやリフレッシュに対する支援	5.5%	4.6%	6.2%	6.5%	-1.1%
子育て中の悩みに対する相談体制の充実	11.2%	10.2%	12.0%	9.4%	1.8%
ひとり親家庭への支援	10.9%	12.5%	9.7%	8.2%	2.7%
その他	3.6%	4.2%	3.1%	2.4%	1.2%
わからない	2.9%	2.8%	2.3%	2.4%	0.6%

Ⅲ 男女の職業生活に対する考え方について

問１４ あなたは現在働いていますか。１つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む）	82.1%	86.6%	78.4%	72.7%	9.4%
働いていない	17.9%	13.4%	21.6%	26.4%	-8.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	-1.0%

問15 問14で「1. 働いている」と答えた方にお聞きます。あなたは職場において、次の項目で男女差別を感じる
ことがありますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

①お茶くみなどの雑用

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	27.7%	25.1%	30.0%	28.6%	-0.9%
感じない	49.7%	51.9%	47.8%	53.3%	-3.6%
わからない	21.0%	21.9%	20.2%	13.0%	8.0%
無回答	1.5%	1.1%	2.0%	5.0%	-3.5%

②賃金・手当

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	29.5%	25.7%	33.0%	35.3%	-5.8%
感じない	46.4%	49.7%	43.3%	46.9%	-0.5%
わからない	22.6%	24.6%	20.7%	13.9%	8.7%
無回答	1.5%	0.0%	3.0%	3.9%	-2.4%

③昇進・昇格

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	34.9%	31.6%	37.9%	36.5%	-1.7%
感じない	42.1%	49.2%	35.5%	44.0%	-1.9%
わからない	21.8%	18.7%	24.6%	14.7%	7.1%
無回答	1.3%	0.5%	2.0%	4.8%	-3.5%

④研修、出張

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	17.7%	18.7%	16.7%	20.0%	-2.3%
感じない	52.1%	56.1%	48.3%	57.0%	-5.0%
わからない	28.7%	24.1%	33.0%	17.5%	11.2%
無回答	1.5%	1.1%	2.0%	5.5%	-3.9%

⑤募集や採用人数

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	20.3%	23.5%	17.2%	24.2%	-4.0%
感じない	54.9%	55.6%	54.2%	55.1%	-0.2%
わからない	23.1%	19.8%	26.1%	15.8%	7.2%
無回答	1.8%	1.1%	2.5%	4.9%	-3.1%

⑥育児休業、介護休暇の取得

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	36.7%	36.4%	36.9%	35.3%	1.3%
感じない	35.1%	34.2%	36.0%	41.7%	-6.5%
わからない	26.4%	27.8%	25.1%	18.4%	8.0%
無回答	1.8%	1.6%	2.0%	4.6%	-2.8%

⑦定年

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	11.5%	10.7%	12.3%	12.9%	-1.4%
感じない	63.6%	66.3%	61.1%	66.3%	-2.7%
わからない	23.3%	21.4%	25.1%	16.1%	7.3%
無回答	1.5%	1.6%	1.5%	4.8%	-3.2%

⑧仕事の内容や人事異動・配置

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=390	男性 n=187	女性 n=203	全体 n=821	
感じる	34.6%	37.4%	32.0%	33.5%	1.1%
感じない	42.3%	41.2%	43.3%	45.2%	-2.9%
わからない	21.5%	20.3%	22.7%	16.9%	4.6%
無回答	1.5%	1.1%	2.0%	4.4%	-2.8%

問16 問14で「2. 働いていない」と答えた方にお聞きます。あなたは、以前働いたこと（パート、内職等を含む）がありますか。1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=85	男性 n=29	女性 n=56	全体 n=298	
以前は働いていた	80.0%	79.3%	80.4%	94.0%	-14.0%
今まで働いたことがない	17.6%	17.2%	17.9%	4.7%	12.9%
無回答	2.4%	3.4%	1.8%	1.3%	1.1%

問17 問16で「1. 以前は働いていた」と答えた方にお聞きます。あなたが仕事をやめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=71	男性 n=25	女性 n=46	全体 n=280	
仕事が自分にあっていなかった	8.5%	8.0%	8.7%	3.6%	4.9%
人間関係がうまくいかなかった	7.0%	8.0%	6.5%	10.4%	-3.4%
勤務先の都合	9.9%	4.0%	13.0%	12.5%	-2.6%
労働条件が悪かった	7.0%	8.0%	6.5%	8.9%	-1.9%
健康上の理由	23.9%	16.0%	28.3%	18.6%	5.3%
定年	33.8%	64.0%	17.4%	39.6%	-5.8%
夫または妻の転勤	1.4%	0.0%	2.2%	2.9%	-1.5%
家族の看護や介護	12.7%	4.0%	17.4%	14.6%	-1.9%
結婚、出産	11.3%	0.0%	17.4%	11.1%	0.2%
家事、育児と仕事の両立が困難となった	9.9%	0.0%	15.2%	6.4%	3.5%
その他	7.0%	8.0%	6.5%	9.6%	-2.6%
特に理由はない	2.8%	8.0%	0.0%	2.1%	0.7%

問18 現在の社会は、男性と女性にとって働きやすい環境にあると思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

①男性にとって

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
働きやすい	48.0%	51.4%	45.2%	35.9%	12.1%
働きにくい	21.9%	25.5%	18.9%	27.8%	-5.9%
わからない	30.1%	23.1%	35.9%	30.9%	-0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	-5.4%

②女性にとって

	平成30年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
働きやすい	28.6%	33.8%	24.3%	19.9%	8.7%
働きにくい	42.7%	33.8%	50.2%	43.8%	-1.1%
わからない	28.6%	32.4%	25.5%	33.1%	-4.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	-3.2%

問19 あなたは男性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと	34.1%	42.1%	27.4%	36.4%	-2.3%
育児休業制度の充実	38.5%	43.1%	34.7%	32.7%	5.8%
介護休業制度の充実	31.8%	34.7%	29.3%	36.4%	-4.6%
育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える	52.8%	54.6%	51.4%	50.6%	2.2%
結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実	29.9%	33.8%	26.6%	27.3%	2.6%
フレックスタイム制や在宅勤務などの普及	37.5%	42.1%	33.6%	28.8%	8.6%
育児施設などの整備	21.5%	27.3%	16.6%	24.2%	-2.7%
介護施設などの整備	21.1%	25.5%	17.4%	30.2%	-9.1%
女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力	33.3%	27.8%	37.8%	33.6%	-0.3%
男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力	46.9%	39.4%	51.4%	42.7%	4.2%
その他	1.5%	0.9%	1.9%	2.5%	-1.0%
わからない	9.1%	7.4%	10.4%	8.8%	0.2%

問20 あなたは女性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと	53.1%	57.9%	49.0%	52.9%	0.1%
育児休業制度の充実	51.4%	56.0%	47.5%	59.9%	-8.5%
介護休業制度の充実	38.1%	39.8%	36.7%	43.7%	-5.6%
育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える	63.4%	57.9%	68.0%	64.2%	-0.8%
結婚・出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実	46.7%	47.2%	46.3%	52.0%	-5.3%
フレックスタイム制や在宅勤務などの普及	40.6%	40.7%	40.5%	28.3%	12.3%
育児施設などの整備	39.2%	43.5%	35.5%	45.0%	-5.8%
介護施設などの整備	27.2%	26.9%	27.4%	33.3%	-6.1%
女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力	51.2%	41.2%	59.5%	57.9%	-6.7%
男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力	41.1%	35.6%	45.6%	35.7%	5.4%
その他	0.8%	0.9%	0.8%	1.8%	-0.9%
わからない	4.4%	6.9%	2.3%	3.7%	0.7%

IV 男女の人権について

問21 あなたは、セクシャルハラスメント（＝セクハラ、性的嫌がらせ）を受けたことがありますか。1つ選んでください

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
ある	15.8%	6.5%	23.6%	16.3%	-0.5%
ない	70.1%	78.7%	62.9%	75.0%	-4.9%
わからない	14.1%	14.8%	13.5%	7.7%	6.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	-1.0%

問22 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（＝DV、配偶者やパートナーなどからの精神的・身体的暴力）を受けたことがありますか。1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
ある	13.5%	6.5%	19.3%	12.7%	0.8%
ない	76.8%	80.6%	73.7%	80.8%	-4.0%
わからない	9.7%	13.0%	6.9%	5.8%	3.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	-0.7%

問23 問21または問22で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたはこのような行為を受けたこと（受けていること）を誰かに相談しましたか。1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=121	男性 n=27	女性 n=94	全体 n=269	
相談した	31.4%	22.2%	34.0%	35.3%	-3.9%
相談しなかった	40.5%	63.0%	34.0%	47.2%	-6.7%
相談できなかった	13.2%	3.7%	16.0%	10.0%	3.2%
無回答	14.9%	11.1%	16.0%	7.4%	7.5%

問24 問23で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=38	男性 n=6	女性 n=32	全体 n=95	
家族	47.4%	100.0%	37.5%	42.1%	5.3%
友人・知人	63.2%	66.7%	62.5%	58.9%	4.2%
職場の上司、同僚など	28.9%	33.3%	28.1%	42.1%	-13.2%
家庭裁判所・弁護士・警察など	13.2%	16.7%	12.5%	3.2%	10.0%
公的機関（相談窓口・電話相談）	7.9%	0.0%	9.4%	7.4%	0.5%
医師・カウンセラーなど	7.9%	0.0%	9.4%	7.4%	0.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	-1.1%

問25 問23で「2. 相談しなかった」「3. 相談できなかった」と答えた方にお聞きします。相談しなかった、相談できなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=65	男性 n=18	女性 n=47	全体 n=154	
相談するほどのことでもないと思ったから	36.9%	66.7%	25.5%	39.6%	-2.7%
自分にも悪いところがあると思ったから	7.7%	11.1%	6.4%	18.2%	-10.5%
自分さえ我慢すれば、このままやっていけると 思ったから	35.4%	33.3%	36.2%	43.5%	-8.1%
相談しても無駄だと思ったから	46.2%	27.8%	53.2%	42.9%	3.3%
恥かしかったから、また世間体が悪いから	12.3%	5.6%	14.9%	6.5%	5.8%
誰に（どこに）相談していいのかわからなかった から	12.3%	5.6%	14.9%	7.1%	5.2%
相談することで、仕返しや嫌がらせを受けると 思ったから	20.0%	11.1%	23.4%	15.6%	4.4%
安心して相談できるところがなかったから	24.6%	16.7%	27.7%	19.5%	5.1%
相談できる人がいなかったから	7.7%	16.7%	4.3%	14.3%	-6.6%
その他	3.1%	5.6%	2.1%	8.4%	-5.4%

V 男女共同参画社会に関する法制度等について

問26 あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑥のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

① 男女共同参画社会基本法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	12.8%	16.7%	9.7%	7.1%	5.8%
聞いたことがある	46.1%	46.8%	45.6%	46.5%	-0.4%
知らない	41.1%	36.6%	44.8%	43.5%	-2.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	-3.0%

② 男女雇用機会均等法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	26.0%	29.2%	23.4%	26.8%	-0.8%
聞いたことがある	57.3%	54.2%	59.9%	55.3%	2.0%
知らない	16.7%	16.7%	16.7%	14.3%	2.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	-3.5%

③ 育児・介護休業法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	25.3%	22.2%	27.8%	26.8%	-1.6%
聞いたことがある	53.9%	54.6%	53.3%	57.4%	-3.5%
知らない	20.8%	23.1%	18.9%	12.7%	8.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	-3.1%

④ ドメスティック・バイオレンス（DV）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	74.3%	71.8%	76.4%	55.0%	19.4%
聞いたことがある	24.0%	26.4%	22.0%	37.3%	-13.3%
知らない	1.7%	1.9%	1.5%	4.9%	-3.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	-2.8%

⑤ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	10.7%	15.3%	6.9%	3.0%	7.7%
聞いたことがある	21.7%	23.1%	20.5%	22.1%	-0.4%
知らない	67.6%	61.6%	72.6%	71.6%	-4.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	-3.3%

⑥ リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	8.2%	10.2%	6.6%	1.6%	6.6%
聞いたことがある	11.8%	10.6%	12.7%	12.4%	-0.6%
知らない	80.0%	79.2%	80.7%	82.8%	-2.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	-3.2%

⑦ L G B T ・性的少数者

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	53.9%	52.3%	55.2%	22.1%	31.8%
聞いたことがある	34.1%	34.7%	33.6%	35.3%	-1.2%
知らない	12.0%	13.0%	11.2%	39.6%	-27.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	-3.0%

⑧ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	30.3%	35.2%	26.3%	14.1%	16.2%
聞いたことがある	37.5%	38.0%	37.1%	38.2%	-0.8%
知らない	32.2%	26.9%	36.7%	44.3%	-12.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	-3.4%

⑨ 新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	11.8%	12.5%	11.2%	6.0%	5.8%
聞いたことがある	20.6%	21.3%	20.1%	25.9%	-5.3%
知らない	67.6%	66.2%	68.7%	64.8%	2.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	-3.3%

⑩ 審議会等における女性委員の登用の促進

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	8.6%	11.6%	6.2%	2.5%	6.2%
聞いたことがある	15.4%	18.1%	13.1%	21.5%	-6.1%
知らない	76.0%	70.4%	80.7%	72.9%	3.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	-3.1%

⑪ 阿賀野市男女共同参画プラン

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
内容まで知っている	5.7%	8.3%	3.5%	2.6%	3.1%
聞いたことがある	16.2%	17.6%	15.1%	28.9%	-12.7%
知らない	78.1%	74.1%	81.5%	65.7%	12.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	-2.8%

⑫ 女性活躍推進法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	(未調査)	
内容まで知っている	8.0%	10.6%	5.8%	—	—
聞いたことがある	21.9%	21.8%	22.0%	—	—
知らない	70.1%	67.6%	72.2%	—	—
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	—	—

Ⅵ 阿賀野市での男女共同参画の推進について

問２７ 当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
３つまで選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=475	男性 n=216	女性 n=259	全体 n=1130	
教育の場において男女共同参画社会に対する学習 機会の充実を図る	45.7%	52.8%	39.8%	36.0%	9.7%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を 深めるための啓発を行う	29.3%	29.6%	29.0%	30.5%	-1.3%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極 的に登用する	24.6%	31.5%	18.9%	20.8%	3.8%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積 極的に働きかける	56.0%	52.3%	59.1%	50.8%	5.2%
セクハラ・DVなどに関する専門的知識を持った カウンセラーの設置、相談窓口の充実	21.5%	19.4%	23.2%	17.9%	3.6%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの 養成に力を入れる	24.0%	29.2%	19.7%	16.1%	7.9%
保育、介護サービスの充実を図る	34.5%	32.4%	36.3%	49.7%	-15.2%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る	12.8%	13.4%	12.4%	10.6%	2.2%
健康対策などの充実を図る	12.2%	11.1%	13.1%	19.4%	-7.2%
その他	2.1%	2.3%	1.9%	2.8%	-0.7%

2. 児童・生徒意識調査

問2 あなたは今までに、「男なんだから〇〇しなさい」「女なんだから〇〇しちゃだめ」と言われたことがありますか。
1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
よく言われる	5.1%	6.6%	4.0%	3.1%	2.0%
時々言われる	20.1%	14.6%	24.3%	34.2%	-14.1%
言われたことがない	58.0%	60.6%	55.9%	43.5%	14.5%
わからない	16.9%	18.2%	15.8%	19.2%	-2.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
よく言われる	4.3%	3.8%	4.8%	8.0%	-3.7%
時々言われる	24.3%	16.0%	33.1%	50.7%	-26.4%
言われたことがない	38.0%	40.5%	35.5%	24.1%	14.0%
わからない	33.3%	39.7%	26.6%	16.6%	16.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%

問3 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします。それはどんな時に言われましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=79	男子 n=29	女子 n=50	全体 n=132	
ことばづかい	38.0%	20.7%	48.0%	25.8%	12.2%
すわり方	29.1%	3.4%	44.0%	18.2%	10.9%
服装、身だしなみ	25.3%	13.8%	32.0%	15.2%	10.2%
歩き方	6.3%	10.3%	4.0%	5.3%	1.0%
整理整頓	25.3%	6.9%	36.0%	15.9%	9.4%
お手伝い	11.4%	17.2%	8.0%	19.7%	-8.3%
泣いたとき	17.7%	41.4%	4.0%	26.5%	-8.8%
その他	12.7%	24.1%	6.0%	13.6%	-1.0%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=73	男子 n=26	女子 n=47	全体 n=205	
ことばづかい	46.6%	23.1%	59.6%	42.9%	3.6%
すわり方	45.2%	11.5%	63.8%	41.5%	3.7%
服装、身だしなみ	27.4%	11.5%	36.2%	35.1%	-7.7%
歩き方	12.3%	3.8%	17.0%	7.8%	4.5%
整理整頓	20.5%	3.8%	29.8%	24.4%	-3.8%
お手伝い	27.4%	30.8%	25.5%	23.4%	4.0%
泣いたとき	13.7%	38.5%	0.0%	8.3%	5.4%
その他	12.3%	26.9%	4.3%	9.8%	2.6%

問4 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きます。あなたは、誰からそう言われましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=79	男子 n=29	女子 n=50	全体 n=132	
母	69.6%	37.9%	88.0%	63.6%	6.0%
父	25.3%	37.9%	18.0%	22.0%	3.3%
祖母	25.3%	10.3%	34.0%	19.7%	5.6%
祖父	11.4%	20.7%	6.0%	4.5%	6.8%
兄弟や姉妹	11.4%	20.7%	6.0%	9.8%	1.5%
学校の先生	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	-3.0%
友達	6.3%	13.8%	2.0%	16.7%	-10.3%
近所の人	1.3%	0.0%	2.0%	0.8%	0.5%
その他	1.3%	0.0%	2.0%	5.3%	-4.0%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=73	男子 n=26	女子 n=47	全体 n=205	
母	67.1%	61.5%	70.2%	66.8%	0.3%
父	27.4%	42.3%	19.1%	30.7%	-3.3%
祖母	42.5%	34.6%	46.8%	26.8%	15.6%
祖父	11.0%	15.4%	8.5%	8.3%	2.7%
兄弟や姉妹	12.3%	15.4%	10.6%	6.8%	5.5%
学校の先生	5.5%	11.5%	2.1%	14.6%	-9.2%
友達	12.3%	11.5%	12.8%	18.5%	-6.2%
近所の人	1.4%	3.8%	0.0%	2.0%	-0.6%
その他	2.7%	3.8%	2.1%	4.4%	-1.7%

問5 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きます。あなたは、その時どんな気持ちがありましたか。次の中からその時の気持ちを1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=79	男子 n=29	女子 n=50	全体 n=132	
いやな気持ちでした	38.0%	37.9%	38.0%	15.9%	22.1%
そのとおりだと思った	26.6%	31.0%	24.0%	44.7%	-18.1%
何とも思わなかった	29.1%	20.7%	34.0%	32.6%	-3.5%
その他	3.8%	3.4%	4.0%	6.1%	-2.3%
無回答	2.5%	6.9%	0.0%	0.8%	1.8%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=73	男子 n=26	女子 n=47	全体 n=205	
いやな気持ちでした	35.6%	38.5%	34.0%	19.5%	16.1%
そのとおりだと思った	12.3%	11.5%	12.8%	29.3%	-16.9%
何とも思わなかった	38.4%	38.5%	38.3%	42.9%	-4.6%
その他	8.2%	3.8%	10.6%	6.3%	1.9%
無回答	5.5%	7.7%	4.3%	2.0%	3.5%

Ⅲ 家庭における男女の役割分担について

問6 あなたは次のような身の回りのことを誰がした方がいいと思いますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から1つずつ選んでください。

①食事のしたくや後かたづけ

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	2.2%	5.1%	0.0%	2.3%	0.0%
女の人がした方がいい	3.2%	4.4%	2.3%	27.7%	-24.5%
男の人と女の人が協力してした方がいい	87.6%	81.0%	92.7%	64.1%	23.5%
わからない	7.0%	9.5%	5.1%	4.5%	2.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	0.8%	1.5%	0.0%	2.6%	-1.8%
女の人がした方がいい	2.4%	2.3%	2.4%	22.6%	-20.3%
男の人と女の人が協力してした方がいい	89.8%	87.0%	92.7%	70.8%	19.0%
わからない	7.1%	9.2%	4.8%	3.4%	3.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%

②そうじ

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	7.6%	12.4%	4.0%	7.6%	0.0%
女の人がした方がいい	4.8%	2.9%	6.2%	22.0%	-17.3%
男の人と女の人が協力してした方がいい	83.8%	78.8%	87.6%	65.8%	17.9%
わからない	3.8%	5.8%	2.3%	3.1%	0.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	1.6%	3.1%	0.0%	5.2%	-3.6%
女の人がした方がいい	1.6%	1.5%	1.6%	22.3%	-20.8%
男の人と女の人が協力してした方がいい	90.6%	87.0%	94.4%	68.5%	22.1%
わからない	6.3%	8.4%	4.0%	4.0%	2.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

③洗たく

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	3.8%	8.0%	0.6%	4.2%	-0.4%
女の人がした方がいい	13.1%	9.5%	15.8%	46.0%	-33.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	76.1%	72.3%	79.1%	42.1%	34.0%
わからない	7.0%	10.2%	4.5%	5.4%	1.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	-2.3%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	3.1%	4.6%	1.6%	1.7%	1.4%
女の人がした方がいい	5.1%	5.3%	4.8%	41.5%	-36.4%
男の人と女の人が協力してした方がいい	82.7%	77.1%	88.7%	52.1%	30.6%
わからない	9.0%	13.0%	4.8%	3.7%	5.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	-0.9%

④風呂そうじ

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	15.3%	20.4%	11.3%	37.6%	-22.3%
女の人がした方がいい	3.8%	2.9%	4.5%	11.9%	-8.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	71.3%	62.8%	78.0%	42.4%	29.0%
わからない	9.6%	13.9%	6.2%	6.2%	3.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	-2.0%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	5.9%	6.9%	4.8%	19.5%	-13.6%
女の人がした方がいい	3.1%	4.6%	1.6%	13.2%	-10.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	83.1%	77.1%	89.5%	61.6%	21.5%
わからない	7.8%	11.5%	4.0%	4.9%	3.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	-0.9%

⑤食事の買い物

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	3.2%	6.6%	0.6%	4.5%	-1.3%
女の人がした方がいい	13.1%	11.7%	14.1%	46.9%	-33.8%
男の人と女の人が協力してした方がいい	74.8%	66.4%	81.4%	41.8%	33.0%
わからない	8.9%	15.3%	4.0%	5.4%	3.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	1.2%	2.3%	0.0%	3.4%	-2.3%
女の人がした方がいい	9.8%	7.6%	12.1%	37.8%	-28.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	80.8%	77.1%	84.7%	55.3%	25.5%
わからない	8.2%	13.0%	3.2%	3.2%	5.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%

⑥ごみ出し

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	19.1%	26.3%	13.6%	38.7%	-19.6%
女の人がした方がいい	2.5%	2.2%	2.8%	9.6%	-7.1%
男の人と女の人が協力してした方がいい	69.7%	60.6%	76.8%	43.5%	26.2%
わからない	8.6%	10.9%	6.8%	4.5%	4.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	-3.7%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	9.8%	14.5%	4.8%	32.7%	-22.9%
女の人がした方がいい	0.4%	0.8%	0.0%	5.4%	-5.1%
男の人と女の人が協力してした方がいい	81.2%	72.5%	90.3%	57.3%	23.9%
わからない	8.6%	12.2%	4.8%	4.0%	4.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%

⑦電球や蛍光灯の交換

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	36.9%	39.4%	35.0%	67.5%	-30.6%
女の人がした方がいい	0.3%	0.7%	0.0%	2.0%	-1.7%
男の人と女の人が協力してした方がいい	50.0%	42.3%	55.9%	21.5%	28.5%
わからない	12.7%	17.5%	9.0%	7.1%	5.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	-2.0%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	33.3%	36.6%	29.8%	67.0%	-33.7%
女の人がした方がいい	0.4%	0.8%	0.0%	0.9%	-0.5%
男の人と女の人が協力してした方がいい	57.3%	50.4%	64.5%	26.9%	30.3%
わからない	9.0%	12.2%	5.6%	4.6%	4.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%

⑧大工仕事

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
男の人がした方がいい	45.9%	53.3%	40.1%	76.6%	-30.7%
女の人がした方がいい	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%
男の人と女の人が協力してした方がいい	42.4%	36.5%	46.9%	14.4%	27.9%
わからない	11.8%	10.2%	13.0%	7.1%	4.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
男の人がした方がいい	47.8%	51.9%	43.5%	75.1%	-27.2%
女の人がした方がいい	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
男の人と女の人が協力してした方がいい	38.0%	32.8%	43.5%	17.8%	20.3%
わからない	14.1%	15.3%	12.9%	6.6%	7.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%

IV 男女の平等感について

問7 男の子にお聞きます。あなたは毎日の生活の中で、「女子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度 男子 n=137	平成30年度 男子 n=202	対 比
「女子の方がいいなあ」と思うことがよくある	0.0%	1.0%	-1.0%
「女子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	6.6%	5.0%	1.6%
「女子の方がいいなあ」と思うことがない	92.7%	91.6%	1.1%
無回答	0.7%	2.5%	-1.7%

【中学生】	令和5年度 男子 n=131	平成30年度 男子 n=176	対 比
「女子の方がいいなあ」と思うことがよくある	0.0%	1.1%	-1.1%
「女子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	11.5%	15.3%	-3.9%
「女子の方がいいなあ」と思うことがない	86.3%	81.8%	4.4%
無回答	2.3%	1.7%	0.6%

問8 女の子にお聞きます。あなたは毎日の生活の中で、「男子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度 女子 n=177	平成30年度 女子 n=151	対 比
「男子の方がいいなあ」と思うことがよくある	4.0%	2.6%	1.3%
「男子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	16.9%	13.2%	3.7%
「男子の方がいいなあ」と思うことがない	79.1%	82.1%	-3.0%
無回答	0.0%	2.0%	-2.0%

【中学生】	令和5年度 女子 n=124	平成30年度 女子 n=171	対 比
「男子の方がいいなあ」と思うことがよくある	13.7%	11.1%	2.6%
「男子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	21.8%	37.4%	-15.7%
「男子の方がいいなあ」と思うことがない	64.5%	49.7%	14.8%
無回答	0.0%	1.8%	-1.8%

V 将来について

問9 次の中から、将来やってみたい職業を1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
お店をもつ	10.2%	10.9%	9.6%	1.7%	8.5%
会社員	2.9%	4.4%	1.7%	1.4%	1.5%
警察官	1.0%	0.7%	1.1%	2.0%	-1.0%
自衛官	1.0%	2.2%	0.0%	0.8%	0.1%
看護師	3.8%	0.7%	6.2%	4.0%	-0.1%
薬剤師	1.0%	0.7%	1.1%	2.8%	-1.9%
医師	2.5%	1.5%	3.4%	2.5%	0.0%
獣医	2.5%	2.2%	2.8%	2.3%	0.3%
銀行員・金融関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育園、幼稚園の先生	3.2%	0.0%	5.6%	5.6%	-2.5%
食べ物屋さん（ケーキ屋さん、パン屋さんなど）	5.7%	1.5%	9.0%	4.8%	0.9%
学校の先生	1.3%	0.0%	2.3%	1.1%	0.1%
公務員（国や県・市の役所ではたらく）	1.9%	1.5%	2.3%	1.1%	0.8%
スポーツ選手	15.9%	24.8%	9.0%	18.1%	-2.2%
歌手、タレントなどの芸能人	2.5%	1.5%	3.4%	1.7%	0.9%
消防士、救急隊、レスキュー隊	2.2%	2.9%	1.7%	1.4%	0.8%
自動車、電車の運転手	0.6%	1.5%	0.0%	1.7%	-1.1%
アナウンサー	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	-0.6%
画家、デザイナーなどの芸術家	4.5%	2.2%	6.2%	2.5%	1.9%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.6%	0.0%	1.1%	0.3%	0.4%
政治家	0.6%	1.5%	0.0%	0.0%	0.6%
弁護士、検察官、裁判官など	0.3%	0.7%	0.0%	0.8%	-0.5%
福祉施設で働く人	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.3%
美容師、理容師	5.1%	0.0%	9.0%	4.8%	0.3%
調理師、コックなど料理を作る人	4.8%	5.8%	4.0%	2.5%	2.2%
自動車、機械などのエンジニア	0.3%	0.7%	0.0%	1.4%	-1.1%
建築士、設計士	3.2%	6.6%	0.6%	1.4%	1.8%
農業、林業、漁業をする人	1.0%	0.7%	1.1%	1.4%	-0.5%
建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	1.3%	2.9%	0.0%	3.7%	-2.4%
学者、研究者	0.3%	0.7%	0.0%	2.3%	-1.9%
パイロット	0.3%	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%
キャビンアテンダント（客室乗務員）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
通訳、翻訳家	0.3%	0.0%	0.6%	0.3%	0.0%
評論家	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
コンピュータ関係の仕事	2.5%	4.4%	1.1%	1.7%	0.9%
その他	9.6%	4.4%	13.6%	13.8%	-4.3%
なりたい仕事がない	3.5%	6.6%	1.1%	2.3%	1.2%
わからない	3.2%	5.1%	1.7%	4.8%	-1.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	-1.7%

【 中 学 生 】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
お店をもつ	3.5%	3.8%	3.2%	3.2%	0.4%
会社員	5.5%	9.2%	1.6%	3.7%	1.8%
警察官	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	-1.1%
自衛官	1.2%	2.3%	0.0%	0.3%	0.9%
看護師	2.4%	0.0%	4.8%	2.0%	0.3%
薬剤師	1.2%	0.8%	1.6%	2.3%	-1.1%
医師	1.2%	0.8%	1.6%	1.7%	-0.5%
獣医	2.7%	3.1%	2.4%	1.4%	1.3%
銀行員・金融関係	0.4%	0.0%	0.8%	0.6%	-0.2%
保育園、幼稚園の先生	5.1%	1.5%	8.9%	5.7%	-0.6%
食べ物屋さん（ケーキ屋さん、パン屋さんなど）	2.7%	3.1%	2.4%	1.7%	1.0%
学校の先生	0.4%	0.8%	0.0%	2.0%	-1.6%
公務員（国や県・市の役所ではたらく）	2.0%	3.8%	0.0%	4.6%	-2.6%
スポーツ選手	7.1%	11.5%	2.4%	6.0%	1.0%
歌手、タレントなどの芸能人	2.0%	1.5%	2.4%	2.0%	0.0%
消防士、救急隊、レスキュー隊	1.2%	0.8%	1.6%	0.6%	0.6%
自動車、電車の運転手	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%
アナウンサー	0.4%	0.0%	0.8%	0.6%	-0.2%
画家、デザイナーなどの芸術家	3.1%	1.5%	4.8%	2.9%	0.3%
新聞・雑誌・テレビ記者	1.2%	0.8%	1.6%	0.0%	1.2%
政治家	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
弁護士、検察官、裁判官など	0.4%	0.8%	0.0%	0.6%	-0.2%
福祉施設で働く人	1.2%	0.8%	1.6%	2.0%	-0.8%
美容師、理容師	5.5%	0.8%	10.5%	4.9%	0.6%
調理師、コックなど料理を作る人	3.9%	6.9%	0.8%	1.4%	2.5%
自動車、機械などのエンジニア	1.2%	2.3%	0.0%	0.6%	0.6%
建築士、設計士	1.2%	0.0%	2.4%	2.0%	-0.8%
農業、林業、漁業をする人 （前回調査：農業のみ）	2.4%	3.8%	0.8%	0.3%	2.1%
建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	0.8%	1.5%	0.0%	2.6%	-1.8%
学者、研究者（前回調査：博士）	2.0%	1.5%	2.4%	1.1%	0.8%
パイロット	0.4%	0.8%	0.0%	0.3%	0.1%
キャビンアテンダント（客室乗務員）	0.4%	0.8%	0.0%	0.6%	-0.2%
通訳、翻訳家	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
評論家	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コンピュータ関係の仕事	3.9%	6.1%	1.6%	4.6%	-0.7%
その他	7.1%	4.6%	9.7%	11.5%	-4.4%
なりたい仕事がない	12.5%	11.5%	13.7%	7.2%	5.4%
わからない	13.7%	12.2%	15.3%	10.9%	2.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	-6.6%

【割合の高い順 小学生】

男 子				女 子			
令和5年度	割合	平成30年度	割合	令和5年度	割合	平成30年度	割合
スポーツ選手	24.8%	スポーツ選手	28.7%	お店をもつ	9.6%	保育園、幼稚園の先生	11.3%
お店をもつ	10.9%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	6.4%	美容師、理容師	9.0%	美容師、理容師	11.3%
建築士、設計士	6.6%	学者、研究者	4.0%	スポーツ選手	9.0%	看護師	9.3%
調理師、コックなど料理を作る人	5.8%	警察官	3.0%	食べ物屋さん	9.0%	食べ物屋さん	7.9%
会社員	4.4%	自動車、電車の運転手	3.0%	画家、デザイナーなどの芸術家	6.2%	薬剤師	6.6%
コンピュータ関係の仕事	4.4%	食べ物屋さん	2.5%	看護師	6.2%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.6%
消防士、救急隊、レスキュー隊	2.9%	消防士、救急隊、レスキュー隊	2.5%	保育園、幼稚園の先生	5.6%	スポーツ選手	4.0%
建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	2.9%	調理師、コックなど料理を作る人	2.5%	調理師、コックなど料理を作る人	4.0%	医師	3.3%
画家、デザイナーなどの芸術家	2.2%	自動車、機械などのエンジニア	2.5%	歌手、タレントなどの芸能人	3.4%	獣医	3.3%
自衛官	2.2%	建築士、設計士	2.5%	医師	3.4%	調理師、コックなど料理を作る人	2.6%
獣医	2.2%	会社員	2.0%	獣医	2.8%	お店をもつ	2.0%
医師	1.5%	医師	2.0%	公務員	2.3%	公務員	2.0%
歌手、タレントなどの芸能人	1.5%	歌手、タレントなどの芸能人	2.0%	学校の先生	2.3%	学校の先生	1.3%
公務員	1.5%	コンピュータ関係の仕事	2.0%	会社員	1.7%	歌手、タレントなどの芸能人	1.3%
食べ物屋さん	1.5%	お店をもつ	1.5%	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.7%	弁護士、検察官、裁判官など	1.3%
政治家	1.5%	自衛官	1.5%	農業、林業、漁業をする人	1.1%	農業、林業、漁業をする人	1.3%
自動車、電車の運転手	1.5%	獣医	1.5%	コンピュータ関係の仕事	1.1%	コンピュータ関係の仕事	1.3%
警察官	0.7%	保育園、幼稚園の先生	1.5%	薬剤師	1.1%	会社員	0.7%
薬剤師	0.7%	農業、林業、漁業をする人	1.5%	警察官	1.1%	警察官	0.7%
農業、林業、漁業をする人	0.7%	学校の先生	1.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	1.1%	アナウンサー	0.7%
自動車、機械などのエンジニア	0.7%	画家、デザイナーなどの芸術家	1.0%	建築士、設計士	0.6%	自衛官	0.0%
学者、研究者	0.7%	公務員	0.5%	福祉施設で働く人	0.6%	銀行員・金融関係	0.0%
パイロット	0.7%	アナウンサー	0.5%	通訳、翻訳家	0.6%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
弁護士、検察官、裁判官など	0.7%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.5%	自動車、電車の運転手	0.0%	自動車、電車の運転手	0.0%
看護師	0.7%	弁護士、検察官、裁判官など	0.5%	アナウンサー	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%
アナウンサー	0.0%	パイロット	0.5%	政治家	0.0%	政治家	0.0%
通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.5%	銀行員・金融関係	0.0%	福祉施設で働く人	0.0%
評論家	0.0%	評論家	0.5%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	看護師	0.0%	自衛官	0.0%	建築士、設計士	0.0%
学校の先生	0.0%	薬剤師	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
銀行員・金融関係	0.0%	銀行員・金融関係	0.0%	学者、研究者	0.0%	学者、研究者	0.0%
保育園、幼稚園の先生	0.0%	政治家	0.0%	パイロット	0.0%	パイロット	0.0%
福祉施設で働く人	0.0%	福祉施設で働く人	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%
美容師、理容師	0.0%	美容師、理容師	0.0%	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%
キャビンアテンダント	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%

【割合の高い順 中学生】

男 子				女 子			
令和5年度	割合	平成30年度	割合	令和5年度	割合	平成30年度	割合
スポーツ選手	11.5%	スポーツ選手	10.8%	美容師、理容師	10.5%	保育園、幼稚園の先生	11.1%
会社員	9.2%	コンピュータ関係の仕事	8.0%	保育園、幼稚園の先生	8.9%	美容師、理容師	9.4%
調理師、コックなど料理を作る人	6.9%	会社員	5.1%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.8%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.7%
コンピュータ関係の仕事	6.1%	公務員	5.1%	看護師	4.8%	看護師	4.1%
お店をもつ	3.8%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	5.1%	お店をもつ	3.2%	公務員	4.1%
公務員	3.8%	お店をもつ	3.4%	スポーツ選手	2.4%	お店をもつ	2.9%
農業、林業、漁業をする人	3.8%	建築士、設計士	3.4%	獣医	2.4%	医師	2.9%
獣医	3.1%	薬剤師	2.3%	建築士、設計士	2.4%	福祉施設で働く人	2.9%
食べ物屋さん	3.1%	学校の先生	1.7%	食べ物屋さん	2.4%	会社員	2.3%
自衛官	2.3%	歌手、タレントなどの芸能人	1.7%	歌手、タレントなどの芸能人	2.4%	薬剤師	2.3%
自動車、機械などのエンジニア	2.3%	調理師、コックなど料理を作る人	1.7%	学者、研究者	2.4%	食べ物屋さん	2.3%
画家、デザイナーなどの芸術家	1.5%	学者、研究者	1.7%	会社員	1.6%	学校の先生	2.3%
建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	1.5%	警察官	1.1%	薬剤師	1.6%	歌手、タレントなどの芸能人	2.3%
学者、研究者	1.5%	獣医	1.1%	医師	1.6%	獣医	1.8%
保育園、幼稚園の先生	1.5%	食べ物屋さん	1.1%	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.6%	警察官	1.2%
歌手、タレントなどの芸能人	1.5%	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.1%	新聞・雑誌・テレビ記者	1.6%	スポーツ選手	1.2%
薬剤師	0.8%	画家、デザイナーなどの芸術家	1.1%	福祉施設で働く人	1.6%	アナウンサー	1.2%
福祉施設で働く人	0.8%	福祉施設で働く人	1.1%	コンピュータ関係の仕事	1.6%	調理師、コックなど料理を作る人	1.2%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.8%	自動車、機械などのエンジニア	1.1%	銀行員・金融関係	0.8%	キャビンアテンダント	1.2%
消防士、救急隊、レスキュー隊	0.8%	自衛官	0.6%	農業、林業、漁業をする人	0.8%	コンピューター関係の仕事	1.2%
医師	0.8%	医師	0.6%	アナウンサー	0.8%	銀行員・金融関係	0.6%
自動車、電車の運転手	0.8%	銀行員・金融関係	0.6%	調理師、コックなど料理を作る人	0.8%	弁護士、警察官、裁判官など	0.6%
学校の先生	0.8%	保育園、幼稚園の先生	0.6%	警察官	0.0%	建築士、設計士	0.6%
キャビンアテンダント	0.8%	政治家	0.6%	自衛官	0.0%	学者、研究者	0.6%
弁護士、検察官、裁判官など	0.8%	弁護士、検察官、裁判官など	0.6%	学校の先生	0.0%	通訳、翻訳家	0.6%
美容師、理容師	0.8%	美容師、理容師	0.6%	公務員	0.0%	自衛官	0.0%
パイロット	0.8%	農業、林業、漁業をする人	0.6%	自動車、電車の運転手	0.0%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
建築士、設計士	0.0%	パイロット	0.6%	政治家	0.0%	自動車、電車の運転手	0.0%
看護師	0.0%	看護師	0.0%	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%
銀行員・金融関係	0.0%	自動車、電車の運転手	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%	政治家	0.0%
アナウンサー	0.0%	アナウンサー	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
警察官	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	パイロット	0.0%	農業、林業、漁業をする人	0.0%
政治家	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%	パイロット	0.0%
評論家	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%

問10 次の中から、「将来こんな人になりたい」と思うものを1つ選んでください。

【小学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=314	男子 n=137	女子 n=177	全体 n=354	
リーダー的な人	6.1%	8.0%	4.5%	6.2%	-0.2%
尊敬される人	9.2%	9.5%	9.0%	7.6%	1.6%
自分の意見をきちんと言える人	7.3%	8.8%	6.2%	2.5%	4.8%
いろんなことにチャレンジする人	8.0%	13.1%	4.0%	9.6%	-1.6%
優しく思いやりのある人	22.3%	18.2%	25.4%	20.6%	1.7%
家族や友達を大切にする人	16.6%	10.2%	21.5%	14.7%	1.9%
自ら進んで行動を起こせる人	1.9%	2.9%	1.1%	2.8%	-0.9%
ユニークで想像性が豊かな人	1.9%	0.0%	3.4%	3.4%	-1.5%
夢、目標を持っている人	2.5%	3.6%	1.7%	5.9%	-3.4%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.0%	5.8%	9.6%	4.5%	3.4%
人をサポートできる人	1.3%	2.2%	0.6%	3.4%	-2.1%
相手の立場に立って考えられる人	1.6%	1.5%	1.7%	2.8%	-1.2%
信頼される人	6.7%	5.8%	7.3%	5.4%	1.3%
その他	1.3%	1.5%	1.1%	1.4%	-0.1%
わからない	5.4%	8.8%	2.8%	4.0%	1.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	-5.1%

【中学生】	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=255	男子 n=131	女子 n=124	全体 n=349	
リーダー的な人	3.9%	1.5%	6.5%	0.3%	3.6%
尊敬される人	10.2%	13.7%	6.5%	3.4%	6.8%
自分の意見をきちんと言える人	5.1%	6.9%	3.2%	4.0%	1.1%
いろんなことにチャレンジする人	5.1%	6.9%	3.2%	5.2%	-0.1%
優しく思いやりのある人	23.1%	22.9%	23.4%	23.5%	-0.4%
家族や友達を大切にする人	9.4%	9.2%	9.7%	8.0%	1.4%
自ら進んで行動を起こせる人	2.4%	0.0%	4.8%	2.9%	-0.5%
ユニークで想像性が豊かな人	5.9%	4.6%	7.3%	4.0%	1.9%
夢、目標を持っている人	2.7%	2.3%	3.2%	5.4%	-2.7%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	6.3%	6.1%	6.5%	8.3%	-2.0%
人をサポートできる人	4.3%	5.3%	3.2%	3.2%	1.2%
相手の立場に立って考えられる人	2.0%	3.1%	0.8%	4.3%	-2.3%
信頼される人	12.5%	11.5%	13.7%	11.2%	1.4%
その他	1.2%	0.0%	2.4%	2.9%	-1.7%
わからない	5.9%	6.1%	5.6%	5.4%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	-8.0%

【割合の高い順 小学生】

男 子				女 子			
令和5年度	割合	平成30年度	割合	令和5年度	割合	平成30年度	割合
優しく思いやりのある人	18.2%	優しく思いやりのある人	17.8%	優しく思いやりのある人	25.4%	優しく思いやりのある人	24.5%
いろんなことにチャレンジする人	13.1%	いろんなことにチャレンジする人	11.4%	家族や友達を大切に する人	21.5%	家族や友達を大切に する人	21.2%
家族や友達を大切に する人	10.2%	家族や友達を大切に する人	9.9%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	9.6%	いろんなことにチャレ ンジする人	7.3%
尊敬される人	9.5%	尊敬される人	9.4%	尊敬される人	9.0%	尊敬される人	5.3%
自分の意見をきちんと 言える人	8.8%	リーダー的な人	7.4%	信頼される人	7.3%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	5.3%
リーダー的な人	8.0%	夢、目標を持っている人	7.4%	自分の意見をきちんと 言える人	6.2%	信頼される人	5.3%
信頼される人	5.8%	信頼される人	5.4%	リーダー的な人	4.5%	リーダー的な人	4.6%
自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	5.8%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	4.0%	いろんなことにチャレ ンジする人	4.0%	ユニークで想像性が豊か な人	4.0%
夢、目標を持っている人	3.6%	人をサポートできる人	4.0%	ユニークで想像性が豊か な人	3.4%	夢、目標を持っている人	4.0%
自ら進んで行動を起こ せる人	2.9%	自ら進んで行動を起こ せる人	3.0%	夢、目標を持っている人	1.7%	自分の意見をきちんと 言える人	2.6%
人をサポートできる人	2.2%	ユニークで想像性が豊か な人	3.0%	相手の立場に立って考 えられる人	1.7%	自ら進んで行動を起こ せる人	2.6%
相手の立場に立って考 えられる人	1.5%	相手の立場に立って考 えられる人	3.0%	自ら進んで行動を起こ せる人	1.1%	相手の立場に立って考 えられる人	2.6%
ユニークで想像性が豊か な人	0.0%	自分の意見をきちんと 言える人	2.5%	人をサポートできる人	0.6%	人をサポートできる人	2.0%

【割合の高い順 中学生】

男 子				女 子			
令和5年度	割合	平成30年度	割合	令和5年度	割合	平成30年度	割合
優しく思いやりのある人	22.9%	優しく思いやりのある人	18.2%	優しく思いやりのある人	23.4%	優しく思いやりのある人	28.7%
尊敬される人	13.7%	信頼される人	10.8%	信頼される人	13.7%	信頼される人	11.7%
信頼される人	11.5%	家族や友達を大切に する人	8.5%	家族や友達を大切に する人	9.7%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	8.8%
家族や友達を大切に する人	9.2%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	8.0%	ユニークで想像性が豊か な人	7.3%	家族や友達を大切に する人	7.6%
いろんなことにチャレ ンジする人	6.9%	夢、目標を持っている人	6.8%	リーダー的な人	6.5%	相手の立場に立って考 えられる人	6.4%
自分の意見をきちんと 言える人	6.9%	いろんなことにチャレ ンジする人	5.7%	尊敬される人	6.5%	自分の意見をきちんと 言える人	5.3%
自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	6.1%	尊敬される人	5.1%	自分の頭で考え、判断 し、行動できる人	6.5%	いろんなことにチャレ ンジする人	4.7%
人をサポートできる人	5.3%	ユニークで想像性が豊か な人	5.1%	自ら進んで行動を起こ せる人	4.8%	夢、目標を持っている人	4.1%
ユニークで想像性が豊か な人	4.6%	人をサポートできる人	4.0%	自分の意見をきちんと 言える人	3.2%	自ら進んで行動を起こ せる人	3.5%
相手の立場に立って考 えられる人	3.1%	自分の意見をきちんと 言える人	2.8%	いろんなことにチャレ ンジする人	3.2%	ユニークで想像性が豊か な人	2.9%
夢、目標を持っている人	2.3%	自ら進んで行動を起こ せる人	2.3%	夢、目標を持っている人	3.2%	人をサポートできる人	2.3%
リーダー的な人	1.5%	相手の立場に立って考 えられる人	2.3%	人をサポートできる人	3.2%	尊敬される人	1.8%
自ら進んで行動を起こ せる人	0.0%	リーダー的な人	0.6%	相手の立場に立って考 えられる人	0.8%	リーダー的な人	0.0%

3. 職員意識調査

II 男女の職業生活に対する考え方について

問4 あなたは、男性が育児休業や介護休暇を取ることにについてどう思いますか。①②のそれぞれについて、(ア)～(オ)の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。

①育児休業制度

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
積極的に取った方がよい	69.6%	66.7%	73.8%	49.2%	20.4%
どちらかといえば取った方がよい	26.2%	28.8%	22.6%	36.9%	-10.7%
どちらかといえば取らない方がよい	1.7%	2.1%	1.2%	4.9%	-3.2%
取らない方がよい	0.2%	0.4%	0.0%	0.9%	-0.7%
わからない	2.2%	2.1%	2.4%	7.9%	-5.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	-0.2%

②介護休暇制度

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
積極的に取った方がよい	70.3%	67.9%	73.8%	54.5%	15.8%
どちらかといえば取った方がよい	25.2%	27.1%	22.6%	36.2%	-10.9%
どちらかといえば取らない方がよい	1.7%	2.5%	0.6%	2.3%	-0.6%
取らない方がよい	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%
わからない	2.5%	2.1%	3.0%	6.5%	-4.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	-0.2%

問5 あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。①②のそれぞれについて (ア)～(エ)の中から1つずつ選んでください。

①育児休業制度

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
利用したことがある	19.6%	4.6%	41.1%	16.0%	3.6%
利用したことはないが、必要があれば今後利用したい	65.2%	73.3%	53.6%	54.8%	10.4%
利用したいが抵抗がある	11.3%	16.3%	4.2%	13.2%	-2.0%
利用したくない	3.9%	5.8%	1.2%	8.1%	-4.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	-7.9%

②介護休暇制度

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
利用したことがある	3.7%	2.1%	6.0%	1.6%	2.1%
利用したことはないが、必要があれば今後利用したい	85.5%	82.9%	89.3%	80.3%	5.3%
利用したいが抵抗がある	8.8%	11.7%	4.8%	10.4%	-1.6%
利用したくない	2.0%	3.3%	0.0%	5.8%	-3.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	-1.9%

問6 あなたが、育児休業・介護休暇制度を利用する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。3つまで選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
休業中、担当業務の遂行に支障がないように措置することが難しい	62.5%	66.3%	57.1%	64.7%	-2.2%
即戦力となる代替要員の確保が難しい	38.0%	35.0%	42.3%	44.8%	-6.8%
他の職員の負担が増える	78.7%	76.3%	82.1%	88.6%	-10.0%
休業することで昇任・昇格などに不利になる	6.1%	6.3%	6.0%	5.1%	1.0%
利用することに対する職場内での理解が十分でない	17.9%	22.9%	10.7%	15.3%	2.6%
休業することで経済的に厳しくなる	23.0%	15.4%	33.9%	29.0%	-6.0%
わからない	2.2%	2.1%	2.4%	3.0%	-0.8%
その他	3.4%	4.2%	2.4%	1.4%	2.0%

問7 あなたは、職場で仕事をする上で、性別による差別を感じますか。1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
特に感じない	63.5%	57.9%	71.4%	60.8%	2.7%
時々感じる	27.2%	30.0%	23.2%	29.0%	-1.8%
よく感じる	9.3%	12.1%	5.4%	9.0%	0.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

問8 問7で「②時々感じる、③よく感じる」と答えた方にお聞きます。あなたはどのようなことについてそう感じますか。次の中から一番実感するものを1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=149	男性 n=101	女性 n=48	全体 n=164	
職務分担が男女で偏っている	45.0%	52.5%	29.2%	55.5%	-10.5%
昇進、昇格（管理職、係長等への登用等）で男女差がある	8.1%	5.0%	14.6%	7.9%	0.1%
セクシャルハラスメントと思われる行動を受ける	6.7%	5.9%	8.3%	2.4%	4.3%
時間外勤務で男女差がある	2.0%	2.0%	2.1%	4.3%	-2.3%
育児・介護休暇取得で男女差がある	24.8%	22.8%	29.2%	19.5%	5.3%
その他	10.1%	7.9%	14.6%	7.3%	2.8%
無回答	3.4%	4.0%	2.1%	3.0%	0.3%

問 9 あなたが、職場で男女平等を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが今、一番取り組みが必要と思われるものを1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
適正な人事配置や職務分担の改善をはかる	47.8%	47.9%	47.6%	42.9%	4.9%
女性職員の管理職への登用を進める	4.4%	4.6%	4.2%	4.9%	-0.5%
女性職員と男性職員とが対等なパートナーと認識するような意識啓発を進める	10.3%	10.4%	10.1%	14.2%	-3.9%
残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる	12.0%	8.3%	17.3%	13.0%	-1.0%
育児休業・介護休暇制度などの社会的条件の整備を進める	15.0%	17.9%	10.7%	11.4%	3.6%
わからない	6.9%	5.4%	8.9%	6.3%	0.6%
その他	3.7%	5.4%	1.2%	3.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	-3.7%

Ⅲ 男女共同参画社会に関する法制度等について

問 10 あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から1つずつ選んでください。

① 男女共同参画社会基本法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	19.9%	19.6%	20.2%	10.7%	9.2%
聞いたことがある	72.5%	72.5%	72.6%	71.9%	0.6%
知らない	7.6%	7.9%	7.1%	15.3%	-7.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	-2.1%

② 男女雇用機会均等法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	30.6%	30.0%	31.5%	24.6%	6.0%
聞いたことがある	66.2%	67.1%	64.9%	71.0%	-4.8%
知らない	3.2%	2.9%	3.6%	3.5%	-0.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	-0.9%

③ 育児・介護休業法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	29.4%	21.3%	41.1%	25.8%	3.6%
聞いたことがある	61.8%	68.3%	52.4%	64.5%	-2.7%
知らない	8.8%	10.4%	6.5%	8.6%	0.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

④ 女性活躍推進法

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	(未調査)	
内容まで知っている	10.0%	9.6%	10.7%	—	—
聞いたことがある	60.0%	64.2%	54.2%	—	—
知らない	29.9%	26.3%	35.1%	—	—
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	—	—

⑤ ドメスティック・バイオレンス（DV）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	61.3%	55.8%	69.0%	59.9%	1.4%
聞いたことがある	36.8%	41.3%	30.4%	35.7%	1.1%
知らない	2.0%	2.9%	0.6%	3.0%	-1.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

⑥ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	4.9%	6.7%	2.4%	2.8%	2.1%
聞いたことがある	35.8%	37.9%	32.7%	30.2%	5.6%
知らない	59.3%	55.4%	64.9%	65.4%	-6.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	-1.6%

⑦ リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	7.1%	5.0%	10.1%	4.4%	2.7%
聞いたことがある	27.9%	28.8%	26.8%	21.6%	6.3%
知らない	65.0%	66.3%	63.1%	71.9%	-6.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	-2.1%

⑧ L G B T ・性的少数者

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	48.8%	43.8%	56.0%	26.5%	22.3%
聞いたことがある	45.3%	47.5%	42.3%	43.4%	1.9%
知らない	5.9%	8.8%	1.8%	28.8%	-22.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

⑨ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	42.4%	37.1%	50.0%	34.6%	7.8%
聞いたことがある	47.5%	51.7%	41.7%	49.9%	-2.4%
知らない	10.0%	11.3%	8.3%	14.6%	-4.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	-0.9%

⑩ 新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	11.5%	11.3%	11.9%	12.5%	-1.0%
聞いたことがある	51.5%	51.7%	51.2%	49.4%	2.1%
知らない	37.0%	37.1%	36.9%	36.7%	0.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

⑪ 審議会等における女性委員の登用の促進

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	17.2%	15.8%	19.0%	14.4%	2.8%
聞いたことがある	52.7%	54.6%	50.0%	44.3%	8.4%
知らない	30.1%	29.6%	31.0%	39.4%	-9.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	-1.9%

⑫ 阿賀野市男女共同参画プラン

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
内容まで知っている	20.8%	18.8%	23.8%	20.9%	-0.1%
聞いたことがある	63.7%	63.3%	64.3%	63.3%	0.4%
知らない	15.4%	17.9%	11.9%	14.4%	1.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	-1.4%

問 1 1 あなたは、阿賀野市役所が「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」に登録していることをご存知ですか。1つ選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
知っている	23.0%	20.8%	26.2%	25.3%	-2.3%
知らない	77.0%	79.2%	73.8%	73.5%	3.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	-1.2%

IV 阿賀野市での男女共同参画の推進について

問12 当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
3つまで選んでください。

	令和5年度			平成30年度	対 比
	全体 n=408	男性 n=240	女性 n=168	全体 n=431	
教育の場において男女共同参画社会に対する学習 機会の充実を図る	40.9%	46.3%	33.3%	42.7%	-1.8%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を 深めるための啓発を行う	24.8%	30.0%	17.3%	21.3%	3.4%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極 的に登用する	20.6%	25.4%	13.7%	23.9%	-3.3%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積 極的に働きかける	46.1%	36.3%	60.1%	41.5%	4.5%
セクハラ・DVなどに関する専門的知識を持った カウンセラーの設置、相談窓口の充実	17.9%	16.7%	19.6%	13.5%	4.4%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの 養成に力を入れる	11.3%	13.8%	7.7%	20.6%	-9.4%
保育、介護サービスの充実を図る	38.2%	25.8%	56.0%	44.5%	-6.3%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る	14.5%	13.3%	16.1%	15.3%	-0.9%
健康対策などの充実を図る	15.2%	14.6%	16.1%	17.9%	-2.7%
その他	3.9%	5.0%	2.4%	3.5%	0.4%

令和 5 年度

男女共同参画に関する意識調査報告書

編集・発行 阿賀野市 総務部 企画財政課 企画係
〒959-2092
新潟県阿賀野市岡山町 10 番 15 号
TEL (0250) 62-2510(代)

発 行 日 令和 6 年 1 月